令　和　6　年　度　決　算

主　要　施　策　成　果　報　告　書

第七次鳴門市総合計画 実施計画

令和６年(2024年)度－令和８年(2026年)度

実績 兼 評価シート まとめ

鳴　　門　　市

目　次

1．主要施策成果報告書及び第七次鳴門市総合計画実施計画における令和６年度実績及び令和７年度行政評価について

（１）主要施策成果報告書 ・・・・・・・・・・・・ 4

（２）鳴門市総合計画実施計画 令和６年度実績 ・・・・・・・・・・・・ 4

（３）令和７年度　鳴門市行政評価 ・・・・・・・・・・・・ 5

（４）総合計画体系図 ・・・・・・・・・・・・ 6

2．令和６年度決算の概要

（１）各会計の決算額の状況 ・・・・・・・・・・・・ 7

（２）普通会計決算の概要 ・・・・・・・・・・・・ 8

① 普通会計決算規模等 ・・・・・・・・・・・・ 8

② 各種財政指標の推移 ・・・・・・・・・・・・ 11

【参考】入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧 ・・・・・ 12

3．実施計画兼評価シート

（１）実施計画兼評価シートの見方 ・・・・・・・・・・・・ 13

（２）掲載事業一覧表 ・・・・・・・・・・・・ 15

（３）各実施計画兼評価シート ・・・・・・・・・・・・ 17

- 基本目標１　豊かな人を育むまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 17
- 基本目標２　持続発展可能なまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 37
- 基本目標３　安全安心のまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 59
- 基本目標４　誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり ・・・ 70
- 基本目標５　活力あふれるまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 84
- 基本目標６　みんなで創る自立したまちづくり ・・・・・・・・ 98

１.主要施策成果報告書及び第七次鳴門市総合計画実施計画における令和６年度実績及び令和７年度行政評価について

（１）主要施策成果報告書

地方自治法第２３３条第５項に基づき、「決算に係る主要施策の成果報告書」を議会に提出するものである。主要施策の個別事業は、本市の最上位計画である第七次鳴門市総合計画に基づき、令和６年度末時点における実績や進捗状況、今後の方向性等を明示し、従来の成果報告の内容に、PDCAサイクルの考え方を踏まえ、進捗管理の要素を加えた総合計画実施計画兼評価シートとして取りまとめたものである。

（２）鳴門市総合計画実施計画　令和６年度実績

本市では、第七次鳴門市総合計画に基づき、計画的かつ効率的な行財政運営を進めるため、具体的施策・事業を示した実施計画を策定している。実施計画の進捗状況を把握し、必要に応じ所要の見直しを行うため、総合計画実施計画兼評価シートにより令和６年度末時点の進捗状況をまとめたものである。

◆推進体制

①事務事業担当部署による内部評価
事業担当課が総合計画実施計画兼評価シートを作成する。
②総合計画策定委員会による内部評価
総合計画実施計画兼評価シートを策定委員会において審議し、内部評価の最終決定とする。
③総合計画審議会による外部評価
策定委員会を経た後、総合計画審議会において外部の視点からの評価を受ける。
④市議会への報告による外部評価
市議会において外部評価を受ける。
⑤最終的な評価の決定
策定委員会及び総合計画審議会等の結果をもとに、評価の決定を行う。

（３）令和７年度　鳴門市行政評価

◆ねらい

継続的な点検評価サイクルを確立し、成果主義の考え方に基づき行政活動の課題や問題点を明確化し、今後の改善策を打ち出すとともに、評価結果を市民に公表することにより、市民ニーズの市政への反映につなげる。

＜鳴門市行政評価の4つのねらい＞
①市民の視点に立ち、成果を重視した行政運営
②市民への説明責任を果たすことによる行政運営の透明性の向上
③事業の効果的で効率的な執行
④職員の意識改革による政策形成能力の向上

◆令和７年度実施方針

① 公正の確保と透明性向上のため、市民との情報の共有化を推進する。
② 鳴門市自治基本条例第２５条に定める行政評価結果を予算編成に反映させる。
③ 市民にとって分かりやすく、シンプルな行政評価を実施する。
ⅰ 評価の対象：事務事業
ⅱ 評価の機関：内部
ⅲ 評価の時期：令和６年度に実施した事務事業に対する事後評価

◆評価対象となる事務事業

令和６年度総合計画実施計画に掲載されている事務事業　　４５事業

◆令和８年度の予算及び事業の推進との関係

行政評価結果については、令和８年度の予算編成及びその事業の推進に反映する。

◆評価結果の公表

市議会及び市公式ウェブサイト等にて公表する。

（4） 総合計画体系図

将来都市像

ひとが輝き　持続可能な未来をひらく　あらたな なると

基本目標	基本方針	主要施策
基本目標 1 豊かな人を育むまちづくり	1 子育てしやすいまちづくり	①出会いから結婚、妊娠、出産、育児の切れ目ない支援の充実 ②子育て支援の充実 ③子育て環境の充実
	2 豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	①自ら学ぶ力を育む教育の推進 ②おもいやりの心を育む教育の推進 ③健やかな身体を育む教育の推進 ④教育環境の充実 ⑤生涯にわたる学習環境の充実
	3 スポーツの推進	①スポーツ活動の推進 ②スポーツ施設の充実
	4 芸術・文化の振興	①特色ある鳴門文化の発掘・発信と活用 ②文化・芸術に接する機会の提供
	5 国際・国内交流の推進	①国際・国内交流の推進
基本目標 2 持続発展可能なまちづくり	1 計画的な土地利用と都市拠点整備の充実	①計画的な土地利用の促進
	2 持続可能な公共交通網の実現	①運行効率の改善による持続可能な公共交通体系の構築 ②利用者ニーズに適応した公共交通サービスの提供 ③新たな需要の創出に向けた公共交通利用の促進
	3 快適で暮らしやすい都市環境の整備	①住環境の整備 ②景観の保全 ③公園・河川の整備 ④安全で強靭な水道の持続 ⑤生活排水処理の促進 ⑥道路網の整備
	4 移住・定住の促進	①移住交流の促進 ②定住の促進
	5 環境にやさしいまちづくり	①環境保全の促進 ②循環型社会の形成
基本目標 3 安全安心のまちづくり	1 災害などに強いまちづくり	①防災減災対策の推進 ②総合的な危機管理の推進
	2 消防・救急体制の充実	①消防体制の充実 ②救急体制の充実
	3 市民安全対策の充実	①交通安全の推進 ②消費者保護の充実 ③防犯対策の充実
基本目標 4 誰もが健康で いきいきと暮らせるまちづくり	1 健康づくりの推進と医療体制の確保	①健康づくりの推進 ②医療体制の充実及び地域医療の確保
	2 地域福祉の充実	①支え合い助け合うまちづくり ②安心して暮らせる環境づくり ③ネットワークの強化
	3 高齢者が暮らしやすいまちづくり	①地域包括ケアシステムの深化・推進
	4 障がい者が暮らしやすいまちづくり	①障がい者の自立支援の充実 ②障がい者の社会参加の促進
	5 社会保障の確保	①社会保障の充実
基本目標 5 活力あふれるまちづくり	1 活力ある商工業の振興	①地場産業の育成振興 ②新たな産業の振興 ③企業誘致の推進 ④就業支援対策の充実
	2 魅力ある農林水産業の振興	①農業の振興 ②畜産業の振興 ③林業の振興 ④水産業の振興
	3 地域資源を活かした観光のまちづくり	①観光交流のまちづくり ②戦略的な情報発信 ③観光客の受入環境整備
基本目標 6 みんなで創る 自立したまちづくり	1 地域コミュニティの活性化と みんなで取り組むまちづくり	①地域コミュニティの活性化 ②市民活動の支援と協働の推進 ③広聴広報の充実
	2 お互いを尊重し、 誰もが活動できる社会づくり	①人権に関する教育と、誰もが活躍できる社会づくり ②男女共同参画の推進
	3 効率的・効果的な行財政運営の推進	①効率的な行財政運営の推進 ②開かれた市政の推進と個人情報の保護 ③組織力の強化

（４） 総合計画体系図

将来都市像

ひとが輝き　持続可能な未来をひらく　あらたな なると

基本目標	基本方針
基本目標 1 豊かな人を育むまちづくり	1 子育てしやすいまちづくり 2 豊かな学力と生きる力を育む教育の充実 3 スポーツの推進 4 芸術・文化の振興 5 国際・国内交流の推進
基本目標 2 持続発展可能なまちづくり	1 計画的な土地利用と都市拠点整備の充実 2 持続可能な公共交通網の実現 3 快適で暮らしやすい都市環境の整備 4 移住・定住の促進 5 環境にやさしいまちづくり
基本目標 3 安全安心のまちづくり	1 災害などに強いまちづくり 2 消防・救急体制の充実 3 市民安全対策の充実
基本目標 4 誰もが健康で いきいきと暮らせるまちづくり	1 健康づくりの推進と医療体制の確保 2 地域福祉の充実 3 高齢者が暮らしやすいまちづくり 4 障がい者が暮らしやすいまちづくり 5 社会保障の確保
基本目標 5 活力あふれるまちづくり	1 活力ある商工業の振興 2 魅力ある農林水産業の振興 3 地域資源を活かした観光のまちづくり
基本目標 6 みんなで創る 自立したまちづくり	1 地域コミュニティの活性化と みんなで取り組むまちづくり 2 お互いを尊重し、 誰もが活動できる社会づくり 3 効率的・効果的な行財政運営の推進

主要施策

①出会いから結婚、妊娠、出産、育児の切れ目ない支援の充実　②子育て支援の充実　③子育て環境の充実

①自ら学ぶ力を育む教育の推進　②おもいやりの心を育む教育の推進　③健やかな身体を育む教育の推進　④教育環境の充実
⑤生涯にわたる学習環境の充実

①スポーツ活動の推進　②スポーツ施設の充実

①特色ある鳴門文化の発掘・発信と活用　②文化・芸術に接する機会の提供

①国際・国内交流の推進

①計画的な土地利用の促進

①運行効率の改善による持続可能な公共交通体系の構築　②利用者ニーズに適応した公共交通サービスの提供
③新たな需要の創出に向けた公共交通利用の促進

①住環境の整備　②景観の保全　③公園・河川の整備　④安全で強靭な水道の持続　⑤生活排水処理の促進　⑥道路網の整備

①移住交流の促進　②定住の促進

①環境保全の促進　②循環型社会の形成

①防災減災対策の推進　②総合的な危機管理の推進

①消防体制の充実　②救急体制の充実

①交通安全の推進　②消費者保護の充実　③防犯対策の充実

①健康づくりの推進　②医療体制の充実及び地域医療の確保

①支え合い助け合うまちづくり　②安心して暮らせる環境づくり　③ネットワークの強化

①地域包括ケアシステムの深化・推進

①障がい者の自立支援の充実　②障がい者の社会参加の促進

①社会保障の充実

①地場産業の育成振興　②新たな産業の振興　③企業誘致の推進　④就業支援対策の充実

①農業の振興　②畜産業の振興　③林業の振興　④水産業の振興

①観光交流のまちづくり　②戦略的な情報発信　③観光客の受入環境整備

①地域コミュニティの活性化　②市民活動の支援と協働の推進　③広聴広報の充実

①人権に関する教育と、誰もが活躍できる社会づくり　②男女共同参画の推進

①効率的な行財政運営の推進　②開かれた市政の推進と個人情報の保護　③組織力の強化

２．令和６年度決算の概要

令和６年度は、長引く物価高騰やエネルギー価格の高騰による、市民生活への負担を軽減するための支援策に取り組んできた。

物価高騰対策支援事業については、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、高齢者施設や医療機関等に対する支援を実施した。国策である、交付金の給付金・定額減税一体支援枠については、専決予算による緊急的な予算措置により調整給付事業を実施するなど、迅速な事業実施に努めた。

また、０歳児からの保育料無償化実施や、紙おむつの無償宅配事業など、『なると まるごと 子育て応援パッケージ事業』について新たな取り組みを加えるなど内容を進化させ、これまでにない規模で子育て支援事業を推進することで、子育て世代の定住人口の確保を図った。

決算規模については、新庁舎整備事業の本体工事が令和５年度で終了したことが大きく影響し、歳入歳出とも令和５年度と比較して５０億円程度縮小した。

（１）各会計の決算額の状況

（単位：千円）

年　度 / 会計区分	令和６年度			令和５年度		
	歳入決算額	歳出決算額	差引残高	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	30,984,870	29,882,244	1,102,626	36,491,339	35,115,615	1,375,724
特別会計	23,587,475	22,955,719	631,756	23,385,798	22,705,657	680,141
国民健康保険事業特別会計	6,704,224	6,656,785	47,439	7,064,791	7,002,395	62,396
後期高齢者医療特別会計	1,182,980	1,144,035	38,945	1,103,572	1,064,037	39,535
介護保険事業特別会計	7,347,499	6,802,127	545,372	7,315,672	6,737,462	578,210
光熱水費等支出特別会計	802,679	802,679	-	749,812	749,812	-
給与費等管理特別会計	4,996,306	4,996,306	-	4,633,179	4,633,179	-
公債費管理特別会計	2,553,787	2,553,787	-	2,518,772	2,518,772	-
合　計	54,572,345	52,837,963	1,734,382	59,877,137	57,821,272	2,055,865

（２）普通会計決算の概要

① 普通会計決算規模等

令和６年度普通会計（地方財政統計上便宜的に用いられる会計区分として総務省が定めたもの。）の歳入決算額は、約３０９億８千万円であり、前年度に比べて約５５億１千万円の減となった。その主な要因については、地方税の減（約９億円減）、地方交付税の減（約５億１千万円減）、市債借入の減（約２７億４千万円減）、諸収入の減（約１３億円減）などが挙げられる。

歳出決算額は、約２９８億８千万円であり、前年度に比べて約５２億３千万円の減となった。その主な要因は、新庁舎整備事業費の減（約４６億１千万円減）、財政調整基金への積立金の減（約２３億４千万円減）、新型コロナウイルス感染症対策事業費の減などの影響が挙げられる。

以上の要因により、歳入決算額と歳出決算額との差引額である形式収支は約１１億円の黒字、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額である実質収支は約５億６千万円の黒字となった。また、実質収支から前年度実質収支を差し引いた額である単年度収支は約４億８千万円の赤字となっており、単年度収支から実質的な黒字要素や赤字要素を加除した額である実質単年度収支は、約７億５千万円の赤字となった。

積立金残高は約９８億６千万円であり、前年度に比べて約５億８千万円の減となった。その一方で、地方債現在高は文化会館耐震改修事業等の大規模事業に係る借入の影響により、約３２５億６千万円で約８億８千万円の増、臨時財政対策債を除く地方債現在高は約２４０億３千万円であり、約１７億２千万円の増となった。

（単位：千円）

区　分	令和６年度	令和５年度	令和４年度
歳入決算額（A）	30,979,898	36,487,418	30,631,172
歳出決算額（B）	29,877,272	35,111,694	29,454,028
歳入歳出差引額【形式収支】（C） （A）－（B）	1,102,626	1,375,724	1,177,144
翌年度へ繰り越すべき財源（D）	537,881	328,710	300,662
実質収支（E） （C）－（D）	564,745	1,047,014	876,482
単年度収支（F） （E）－前年度（E）	▲ 482,269	170,532	▲ 6,650
財政調整基金への積立（G）	668,118	3,008,250	1,610,745
地方債繰上償還金（H）	-	64,308	-
財政調整基金からの取崩（I）	936,473	1,223,452	925,295
実質単年度収支 （F）＋（G）＋（H）－（I）	▲ 750,624	2,019,638	678,800
積立金残高（年度末時点）	9,863,174	10,443,292	9,502,172
地方債現在高（年度末時点）	32,558,167	31,677,980	28,088,706
※臨時財政対策債除く	24,025,344	22,306,784	17,946,657

◆普通会計歳入決算額

（単位：千円）

区　分	令和６年度 A	構成比	令和５年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
地　方　税	7,629,619	24.6%	8,532,946	▲ 903,327	▲ 10.6%
地方譲与税	207,484	0.7%	207,665	▲ 181	▲ 0.1%
利子割交付金	4,437	0.0%	3,666	771	21.0%
配当割交付金	103,773	0.3%	70,721	33,052	46.7%
株式譲渡所得割交付金	136,677	0.4%	74,963	61,714	82.3%
地方消費税交付金	1,335,855	4.3%	1,263,415	72,440	5.7%
ゴルフ場利用税交付金	50,833	0.2%	50,225	608	1.2%
自動車税環境性能割交付金	19,288	0.1%	22,410	▲ 3,122	▲ 13.9%
法人事業税交付金	123,830	0.4%	126,460	▲ 2,630	▲ 2.1%
地方特例交付金等	256,170	0.8%	42,158	214,012	507.6%
地方交付税	4,459,948	14.4%	4,971,236	▲ 511,288	▲ 10.3%
うち普通交付税	3,968,800	12.8%	4,504,424	▲ 535,624	▲ 11.9%
うち特別交付税	491,148	1.6%	466,812	24,336	5.2%
交通安全対策特別交付金	5,738	0.0%	6,372	▲ 634	▲ 9.9%
分担金及び負担金	33,006	0.1%	59,043	▲ 26,037	▲ 44.1%
使　用　料	140,875	0.5%	142,983	▲ 2,108	▲ 1.5%
手　数　料	96,994	0.3%	100,763	▲ 3,769	▲ 3.7%
国庫支出金	5,076,154	16.4%	5,377,662	▲ 301,508	▲ 5.6%
県支出金	2,169,465	7.0%	2,156,945	12,520	0.6%
財産収入	270,890	0.9%	262,560	8,330	3.2%
寄　附　金	797,349	2.6%	802,852	▲ 5,503	▲ 0.7%
繰　入　金	2,722,377	8.8%	3,024,464	▲ 302,087	▲ 10.0%
繰　越　金	1,375,724	4.4%	1,177,144	198,580	16.9%
諸　収　入	721,712	2.3%	2,026,565	▲ 1,304,853	▲ 64.4%
地　方　債	3,241,700	10.5%	5,984,200	▲ 2,742,500	▲ 45.8%
合　計	30,979,898	100.0%	36,487,418	▲ 5,507,520	▲ 15.1%

◆普通会計歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

区　分	令和６年度 A	構成比	令和５年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
義務的経費	14,864,081	49.8%	14,352,800	511,281	3.6%
人件費	4,978,867	16.7%	4,666,205	312,662	6.7%
扶助費	7,331,427	24.5%	7,167,823	163,604	2.3%
公債費	2,553,787	8.5%	2,518,772	35,015	1.4%
物件費	4,270,724	14.3%	3,959,292	311,432	7.9%
維持補修費	394,366	1.3%	339,733	54,633	16.1%
補助費等	2,054,023	6.9%	2,204,199	▲ 150,176	▲ 6.8%
うち水道事業会計への繰出金	2,180	0.0%	1,698	482	28.4%
うちモーターボート競走事業会計への繰出金	1,878	0.0%	2,915	▲ 1,037	▲ 35.6%
うち下水道事業会計への繰出金	440,518	1.5%	436,989	3,529	0.8%
積立金	2,038,601	6.8%	3,863,449	▲ 1,824,848	▲ 47.2%
うち財政調整基金への積立金	668,118	2.2%	3,008,250	▲ 2,340,132	▲ 77.8%
うち減債基金への積立金	95,107	0.3%	72,729	22,378	30.8%
投資及び出資金・貸付金	918,400	3.1%	688,500	229,900	33.4%
繰出金	2,810,559	9.4%	2,835,373	▲ 24,814	▲ 0.9%
投資的経費	2,526,518	8.5%	6,868,348	▲ 4,341,830	▲ 63.2%
うち普通建設事業費	2,526,518	8.5%	6,868,348	▲ 4,341,830	▲ 63.2%
うち災害復旧事業費	-	-	-	-	-
合　計	29,877,272	100.0%	35,111,694	▲ 5,234,422	▲ 14.9%

◆普通会計歳出決算額（目的別）

（単位：千円）

区　分	令和６年度 A	構成比	令和５年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
議　会　費	237,148	0.8%	237,456	▲ 308	▲ 0.1%
総　務　費	5,922,591	19.8%	11,787,040	▲ 5,864,449	▲ 49.8%
民　生　費	10,979,057	36.7%	10,978,972	85	0.0%
衛　生　費	3,617,100	12.1%	3,275,814	341,286	10.4%
労　働　費	968	0.0%	932	36	3.9%
農林水産業費	566,806	1.9%	626,516	▲ 59,710	▲ 9.5%
商　工　費	255,690	0.9%	476,731	▲ 221,041	▲ 46.4%
土　木　費	2,069,127	6.9%	2,050,606	18,521	0.9%
消　防　費	1,174,047	3.9%	891,300	282,747	31.7%
教　育　費	2,499,073	8.5%	2,264,640	234,433	10.4%
災害復旧費	-	-	-	-	-
公　債　費	2,553,787	8.5%	2,518,772	35,015	1.4%
諸支出金	1,878	0.0%	2,915	▲ 1,037	▲ 35.6%
合　計	29,877,272	100.0%	35,111,694	▲ 5,234,422	▲ 14.9%

② 各種財政指標の推移

区　分	令和６年度	令和５年度	令和４年度
経常収支比率 （財政構造の弾力性。低いほど良い）	97.3%	92.0%	97.8%
財政力指数（３カ年平均） （財政力の強さ。高いほど良い）	0.63	0.61	0.61
実質収支比率 （財政の健全性。３～５％が望ましい）	3.9%	7.6%	6.4%
実質公債費比率（３カ年平均） （地方債返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を表す指標。低いほど良い）	11.6%	11.9%	12.3%
将来負担比率 （地方債など将来負担すべき実質的な負債の現時点での残高を表す指標。低いほど良い）	95.6%	95.2%	89.7%

【参考】入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧

■入湯税

入湯税は地方税法第701条の規定により以下のような費用に充てるものとされています。

- **環境衛生施設の整備**
- **鉱泉源の保護管理施設の整備**
- **消防施設等の整備**
- **観光施設の整備**
- **観光振興**

〈令和６年度　入湯税の使途状況〉

区　分	事　業　名	事　業　費	当　該　事　業　の　財　源　内　訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源等	
						入湯税	その他
観光施設の整備	観光情報センター管理費	24,252	-	-	405	10,928	12,919
観光振興	鳴門市うずしお観光協会補助金	18,000	-	-	-	9,000	9,000
合　計		42,252	-	-	405	19,928	21,919

※「令和３年度地方税制改正・地方税務行政の運営に当たっての留意事項等について」（令和３年１月２０日総務省事務連絡）により、入湯税の趣旨を踏まえ、「入湯税収の具体的事業費への充当について予算書、決算書の事項別明細書あるいは説明資料等において明示することにより、その使途を明確にすること」とあることから、使途を明示するものです。

■引上げ分の地方消費税交付金

引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる「社会保障４経費」、「その他社会保障施策に要する経費」については、次のとおりです。

（歳入）　地方消費税交付金（社会保障財源化分）　740,330 千円

（歳出）　社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費　10,278,818 千円

〈令和６年度　引上げ分の地方消費税交付金の使途状況〉　（単位：千円）

事　業　名		経　費	財　源　内　訳				
			特　定　財　源			一般財源	うち引上げ分の地方消費税交付金
			国県支出金	地方債	その他		
社会福祉	障がい者福祉事業	2,373,053	1,897,925	-	-	475,128	740,330
	高齢者福祉事業	65,250	-	-	10,385	54,865	
	児童福祉事業（母子父子福祉事業含む）	3,274,579	2,278,243	-	1,575	994,761	
	生活保護扶助事業	1,311,740	1,034,428	-	-	277,312	
	小　計	7,024,622	5,210,596	-	11,960	1,802,066	
社会保険	国民健康保険事業	602,636	284,088	-	-	318,548	
	後期高齢者医療事業	1,222,316	197,947	-	-	1,024,369	
	介護保険事業	985,607	61,251	-	-	924,356	
	小　計	2,810,559	543,286	-	-	2,267,273	
保健衛生	救急医療対策事業	49,128	35,360	-	-	13,768	
	予防接種事業	274,395	90,522	-	19,372	164,501	
	母子保健事業	87,319	23,547	-	-	63,772	
	健康増進事業	32,795	1,260	-	595	30,940	
	小　計	443,637	150,689	-	19,967	272,981	
合　計		10,278,818	5,904,571	-	31,927	4,342,320	740,330

※「引上げ分に係る地方消費税収の使途の明確化について」（平成２６年１月２４日総務省通知）により、消費税率の引上げにより増加した地方消費税交付金の充当について、使途を明示したものです。

３.実施計画兼評価シート

（１）実施計画兼評価シートの見方

個別の事業ごとに「実施計画兼評価シート（令和６年度事業分）」により、「計画ベース」と「実績ベース」として整理を行った。

①【計画ベース】の見方

ⅰ　基本情報について

基本目標や目指す姿など、事業の基本的な情報を示している。

ⅱ　事業概要について

事業の実施方針・内容・事業費等を示したもの。なお、令和７年度及び令和８年度の事業費は、実施計画策定時における事業費を示している。また、事業の評価指標となる成果指標等の目標値を示している。

②【実績ベース】の見方

ⅰ　実施結果について

令和６年度に実施した事業の内容、成果、今後の目標等について示したもの。

ⅱ　進捗状況欄の評価区分について

令和６年度に実施した事業の内容、結果についての評価を示したもの。なお、「今年度の進捗状況欄」及び「事業全体の進捗状況欄」における進捗状況の区分については、次のとおりである。

⑴ 前倒し実施
次年度以降の目標を前倒しで達成したもの

⑵ 計画どおり
当初の取組目標や計画内容が、達成されたもの
（事業全体の進捗状況については、「達成に向かっているもの」と読み替える）

⑶ ほぼ計画どおり
当初の予定よりは達成状況がやや下回っているが、目標や計画内容の達成が見込まれるもの

⑷ 未達成
取組目標や計画内容が達成できなかったもの

⑸ 未着手
計画内容に着手できなかったもの

⑹ 完了
令和６年度で事業が完了したもの

⑺ 終了
事業の見直し等を行い、令和６年度で事業が終了したもの

ⅲ　成果指標に対する評価区分について(成果指標の目標達成率目安)

A:目標を達成できた(１００％以上のもの)

B:概ね目標を達成できた(７０％を上回るもの)

C:あまり目標を達成出来なかった(５０％～７０％のもの)

D:目標を達成出来なかった(５０％を下回るもの)

ⅳ　今後の方向性について

令和６年度の事業全体の課題を記入するとともに、向こう２年間の事業の方向性を下記の４区分により示したもの。

1.廃止：事業の廃止を検討するもの。

2.要改善：事業の対象・目標・内容が適切でなく、見直し（縮小）の必要があるもの。

3.現状維持：事業の対象・目標・内容等が概ね適切であるもの。

4.拡充：成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡大又は充実すべきもの。

令和６年度実績まとめ　掲載事業一覧表（体系順）

総事業数（再掲事業除く）	45事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	23事業
ほぼ計画どおり	22事業
未達成	0事業
未着手	0事業
完了	0事業
終了	0事業

成果指標に対する評価（再掲事業除く）		今後の方向性（再掲事業除く）	
A	24事業	廃止	0事業
B	22事業	要改善	0事業
C	2事業	現状維持	35事業
D	2事業	拡充	10事業
		令和6年度完了（終了）事業	0事業

NO	ページ	基本目標	基本方針	事業番号	担当課	事務事業名	R6年度事業費計画ベース（円）	R6年度事業費決算額（円）	今年度の進捗状況	成果指標に対する評価	今後の方向性
1	17	1	1	①	子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター・健康増進課・社会福祉課・戦略企画課・教育総務課・学校教育課・商工政策課	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業	358,179,000	321,664,443	ほぼ計画どおり	B	拡充
2	19			②	こども保育教育課	就学前教育・保育環境の充実	178,119,000	169,313,150	計画どおり	B	拡充
3	21			③	子育て支援課・こども保育教育課	子ども・子育て家庭の居場所づくり	80,977,000	80,041,000	計画どおり	A	現状維持
4	23			④	こども家庭センター	子育て世代包括支援事業	87,385,000	81,980,833	ほぼ計画どおり	B	現状維持
5	25		2	①	学校教育課・教育支援室	学校教育充実事業	85,311,000	79,893,491	ほぼ計画どおり	D D A	現状維持
6	27			②	総合教育人権課	生涯学習推進事業	38,206,000	36,725,031	ほぼ計画どおり	B	現状維持
7	29		3	①	スポーツ課	スポーツ活動推進事業	11,578,000	10,712,670	ほぼ計画どおり	A C	現状維持
8	31		4	①	文化交流推進課・学校教育課	「なると第九」ブランド化推進事業	9,420,000	8,848,870	計画どおり	A	現状維持
9	33			②	文化交流推進課	文化財保存活用事業	5,516,000	4,605,431	計画どおり	A	現状維持
10	35		5	①	文化交流推進課	国際・国内交流事業	14,443,000	11,875,391	計画どおり	A	現状維持
11	37	2	1	①	観光振興課・戦略企画課	四国のゲートウェイ推進事業	11,651,000	6,114,000	計画どおり	B	現状維持
12	39		2	①	地域交通推進室	公共交通対策事業	167,310,000	156,697,411	ほぼ計画どおり	B	現状維持
13	41		3	①	まちづくり課	住環境整備事業	119,559,000	99,188,004	ほぼ計画どおり	B	拡充
14	43			②	土木課	道路・河川整備事業	210,000,000	169,703,422	計画どおり	A	現状維持
15	45			③	公園緑地課	公園活用整備事業	3,837,000	3,803,574	ほぼ計画どおり	B	現状維持
16	47			④	水道企画課・水道事業課	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	3,457,777,000	3,457,776,300	計画どおり	A	現状維持
17	49			⑤	下水道課	公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業	813,721,000	457,764,599	ほぼ計画どおり	B	現状維持
18	51		4	①	商工政策課	移住交流促進事業	9,211,000	5,530,721	計画どおり	A	拡充
19	53			②	子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター・健康増進課・社会福祉課・戦略企画課・教育総務課・学校教育課・商工政策課	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業（再掲）					
20	55		5	①	環境政策課・クリーンセンター廃棄物対策課	環境保全推進事業	25,010,000	22,484,127	計画どおり	A	現状維持
21	57			②	環境政策課・クリーンセンター廃棄物対策課	ごみ対策事業	86,418,000	72,088,690	計画どおり	A	現状維持
22	59	3	1	①	危機管理局	災害対策事業	46,818,000	13,998,390	計画どおり	A	拡充
23	61			②	土木課	排水機場・樋門整備事業	400,400,000	355,368,400	ほぼ計画どおり	A	拡充
24	63			③	特定事業推進課・戦略企画課	耐震化・施設整備等推進事業	1,125,859,000 218,094,000 22,178,000	759,528,285 110,180,702 1,909,052	計画どおり	A A B	現状維持
25	66		2	①	消防総務課・警防課	消防・救急体制強化事業	167,126,000	9,664,936	ほぼ計画どおり	A	拡充
26	68		3	①	市民協働推進課	市民安全対策事業	19,595,000	18,675,223	ほぼ計画どおり	C	現状維持
27	70	4	1	①	保険課	特定健診・特定保健指導事業	67,883,000	39,620,945	ほぼ計画どおり	B	現状維持
28	72			②	健康増進課	市民の健康づくり対策事業	29,785,000	29,178,495	計画どおり	B	拡充
29	74			③	健康増進課	地域医療確保事業	92,942,000	58,588,828	計画どおり	A	現状維持
30	76		2	①	社会福祉課	包括的な支援体制整備事業	171,000	15,000	計画どおり	A	現状維持
31	78		3	①	長寿介護課	地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）	246,582,000	215,380,086	ほぼ計画どおり	B	現状維持
32	80		4	①	社会福祉課	地域生活支援事業	99,983,000	91,362,903	計画どおり	A	現状維持
33	82		5	①	社会福祉課	生活困窮者自立支援事業	29,765,000	28,454,185	計画どおり	A	現状維持
34	84	5	1	①	戦略企画課	地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業（ふるさと納税寄附金等推進事業）	553,724,000	439,073,099	ほぼ計画どおり	B	拡充
35	86			②	商工政策課	企業誘致推進事業	13,890,000	9,437,204	計画どおり	A	拡充
36	88		2	①	農林水産課	鳴門ブランド強化事業（農業）	62,751,000	31,390,540	ほぼ計画どおり	B	現状維持
37	90			②	農林水産課・水産振興室	鳴門ブランド強化事業（水産）	24,658,000	15,215,015	ほぼ計画どおり	B	現状維持
38	92		3	①	観光振興課	観光振興事業	12,082,000	9,281,086	計画どおり	A	現状維持
39	94			②	観光振興課・戦略企画課	四国のゲートウェイ推進事業（再掲）					
40	96			③	地域交通推進室	サイクリング推進事業	12,471,000	7,751,768	ほぼ計画どおり	B	現状維持
41	98	6	1	①	市民協働推進課	市民協働のまちづくり推進事業	19,656,000	19,118,731	計画どおり	A	現状維持
42	100			②	秘書広報課	広報戦略推進事業	26,700,000	23,948,999	計画どおり	B	現状維持
43	102		2	①	人権推進課・人権福祉センター	人権啓発推進事業	2,286,000	1,662,021	ほぼ計画どおり	B	現状維持
44	104			②	総合教育人権課	人権教育推進事業	3,275,000	2,148,625	ほぼ計画どおり	B	現状維持
45	106			③	人権推進課	男女共同参画推進事業	989,000	887,473	ほぼ計画どおり	B	現状維持
46	108		3	①	デジタル戦略課・財政課	「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」推進事業	－	－	計画どおり	A	現状維持
47	110			②	人事課	人材育成推進事業	12,816,000	8,223,860	ほぼ計画どおり	B	現状維持
合計						**４５事業（再掲事業除く）**	9,086,107,000	7,556,875,009			

※成果指標について、事業の取り組み内容の成果をより評価できると考えられるものは、複数の成果指標を設定している。

令和６年度実績まとめ　掲載事業一覧表（組織機構順）

総事業数（再掲事業除く）	45事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	23事業
ほぼ計画どおり	22事業
未達成	0事業
未着手	0事業
完了	0事業
終了	0事業

成果指標に対する評価（再掲事業除く）		今後の方向性（再掲事業除く）	
A	24事業	廃止	0事業
B	22事業	要改善	0事業
C	2事業	現状維持	35事業
D	2事業	拡充	10事業
		令和6年度完了（終了）事業	0事業

	NO	ページ	基本目標	基本方針	事業番号	担当課	事務事業名	R6年度事業費計画ベース（円）	R6年度事業費決算額（円）	今年度の進捗状況	成果指標に対する評価	今後の方向性
危機管理局	22	59	3	1	①	危機管理局	災害対策事業	46,818,000	13,998,390	計画どおり	A	拡充
企画総務部	47	110	6	3	②	人事課	人材育成推進事業	12,816,000	8,223,860	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	42	100	6	1	②	秘書広報課	広報戦略推進事業	26,700,000	23,948,999	計画どおり	B	現状維持
	46	108	6	3	①	デジタル戦略課・財政課	「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」推進事業	－	－	計画どおり	A	現状維持
	34	84	5	1	①	戦略企画課	地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業（ふるさと納税寄附金等推進事業）	553,724,000	439,073,099	ほぼ計画どおり	B	拡充
	12	39	2	2	①	地域交通推進室	公共交通対策事業	167,310,000	156,697,411	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	40	96	5	3	③	地域交通推進室	サイクリング推進事業	12,471,000	7,751,768	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	24	63	3	1	③	特定事業推進課・戦略企画課	耐震化・施設整備等推進事業	1,125,859,000	759,528,285	計画どおり	A	現状維持
								218,094,000	110,180,702		A	
								22,178,000	1,909,052		B	
市民生活部	26	68	3	3	①	市民協働推進課	市民安全対策事業	19,595,000	18,675,223	ほぼ計画どおり	C	現状維持
	41	98	6	1	①	市民協働推進課	市民協働のまちづくり推進事業	19,656,000	19,118,731	計画どおり	A	現状維持
	7	29	1	3	①	スポーツ課	スポーツ活動推進事業	11,578,000	10,712,670	ほぼ計画どおり	A	現状維持
											C	
	8	31	1	4	①	文化交流推進課・学校教育課	「なると第九」ブランド化推進事業	9,420,000	8,848,870	計画どおり	A	現状維持
	9	33	1	4	②	文化交流推進課	文化財保存活用事業	5,516,000	4,605,431	計画どおり	A	現状維持
	10	35	1	5	①	文化交流推進課	国際・国内交流事業	14,443,000	11,875,391	計画どおり	A	現状維持
共生環境部	20	55	2	5	①	環境政策課・クリーンセンター廃棄物対策課	環境保全推進事業	25,010,000	22,484,127	計画どおり	A	現状維持
	21	57	2	5	②	環境政策課・クリーンセンター廃棄物対策課	ごみ対策事業	86,418,000	72,088,690	計画どおり	A	現状維持
健康福祉部	27	70	4	1	①	保険課	特定健診・特定保健指導事業	67,883,000	39,620,945	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	28	72	4	1	②	健康増進課	市民の健康づくり対策事業	29,785,000	29,178,495	計画どおり	B	拡充
	29	74	4	1	③	健康増進課	地域医療確保事業	92,942,000	58,588,828	計画どおり	A	現状維持
	31	78	4	3	①	長寿介護課	地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）	246,582,000	215,380,086	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	43	102	6	2	①	人権推進課・人権福祉センター	人権啓発推進事業	2,286,000	1,662,021	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	45	106	6	2	③	人権推進課	男女共同参画推進事業	989,000	887,473	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	30	76	4	2	①	社会福祉課	包括的な支援体制整備事業	171,000	15,000	計画どおり	A	現状維持
	32	80	4	4	①	社会福祉課	地域生活支援事業	99,983,000	91,362,903	計画どおり	A	現状維持
	33	82	4	5	①	社会福祉課	生活困窮者自立支援事業	29,765,000	28,454,185	計画どおり	A	現状維持
こども未来創造部	1	17	1	1	①	子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター・健康増進課・社会福祉課・戦略企画課・教育総務課・学校教育課・商工政策課	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業	358,179,000	321,664,443	ほぼ計画どおり	B	拡充
	19	53	2	4	②							
	2	19	1	1	②	こども保育教育課	就学前教育・保育環境の充実	178,119,000	169,313,150	計画どおり	B	拡充
	3	21	1	1	③	子育て支援課・こども保育教育課	子ども・子育て家庭の居場所づくり	80,977,000	80,041,000	計画どおり	A	現状維持
	4	23	1	1	④	こども家庭センター	子育て世代包括支援事業	87,385,000	81,980,833	ほぼ計画どおり	B	現状維持
建設部 都市	13	41	2	3	①	まちづくり課	住環境整備事業	119,559,000	99,188,004	ほぼ計画どおり	B	拡充
	14	43	2	3	②	土木課	道路・河川整備事業	210,000,000	169,703,422	計画どおり	A	現状維持
	23	61	3	1	②	土木課	排水機場・樋門整備事業	400,400,000	355,368,400	ほぼ計画どおり	A	拡充
	17	49	2	3	⑤	下水道課	公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業	813,721,000	457,764,599	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	15	45	2	3	③	公園緑地課	公園活用整備事業	3,837,000	3,803,574	ほぼ計画どおり	B	現状維持
産業振興部	18	51	2	4	①	商工政策課	移住交流促進事業	9,211,000	5,530,721	計画どおり	A	拡充
	35	86	5	1	②	商工政策課	企業誘致推進事業	13,890,000	9,437,204	計画どおり	A	拡充
	11	37	2	1	①	観光振興課・戦略企画課	四国のゲートウェイ推進事業	11,651,000	6,114,000	計画どおり	B	現状維持
	39	94	5	3	②							
	38	92	5	3	①	観光振興課	観光振興事業	12,082,000	9,281,086	計画どおり	A	現状維持
	36	88	5	2	①	農林水産課	鳴門ブランド強化事業（農業）	62,751,000	31,390,540	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	37	90	5	2	②	農林水産課・水産振興室	鳴門ブランド強化事業（水産）	24,658,000	15,215,015	ほぼ計画どおり	B	現状維持
消防本部	25	66	3	2	①	消防総務課・警防課	消防・救急体制強化事業	167,126,000	9,664,936	ほぼ計画どおり	A	拡充
企業局	16	47	2	3	④	水道企画課・水道事業課	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	3,457,777,000	3,457,776,300	計画どおり	A	現状維持
教育委員会	5	25	1	2	①	学校教育課・教育支援室	学校教育充実事業	85,311,000	79,893,491	ほぼ計画どおり	D	現状維持
											D	
											A	
	6	27	1	2	②	総合教育人権課	生涯学習推進事業	38,206,000	36,725,031	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	44	104	6	2	②	総合教育人権課	人権教育推進事業	3,275,000	2,148,625	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	合計						４５事業	9,086,107,000	7,556,875,009			

※成果指標について、事業の取り組み内容の成果をより評価できると考えられるものは、複数の成果指標を設定している。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.1**

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	1	子育てしやすいまちづくり

めざす姿	「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	なると まるごと子育て応援パッケージ事業	**担当部署**	こども未来創造部 子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター、健康福祉部 健康増進課・社会福祉課、企画総務部 戦略企画課、教育委員会 教育総務課・学校教育課、産業振興部 商工政策課
実施方針	令和4年度から7年度までの4年間を「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置づけ、出会い・結婚・新生活、妊娠・出産、就学前から高校、住宅取得の各ステージの子育て世代を包括的にサポートする「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」をスタートしています。 本市が県内随一の子育て応援都市に生まれ変わり、子育て世代の定住人口の確保を実現していくための切り札として、強力に推進していきます。	**事業費推移（千円）**	令和6年度：350,258 令和7年度：318,598 令和8年度：

事業内容（R6）

①住宅取得
・なると定住促進住宅取得補助金
②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産
・地域婚活支援事業補助金　・地域婚活支援重点事業　・なると結婚新生活支援補助金　・なると新婚世帯家賃補助金
・結婚応援シンポジウム　・結婚支援アイデアコンテスト　・赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト）
・子育て世代のライフプランニング応援事業　・新生児出産祝い金　・不育症治療支援事業　・多胎妊婦健康診査支援事業
・妊娠判定受診費用助成事業　・不妊治療費助成事業　・葉酸摂取サポート事業
③就学前・小学生・中学生・高校生など
・鳴門市版児童手当特例給付事業　・保育料無償化事業　・在宅児応援おむつ粉ミルク等無償配布事業　・乳幼児ねんねケア事業
・就学前の障がい児発達支援無償化事業　・病児・病後児保育広域利用助成事業　・ファミリーサポートセンター利用料助成事業
・小中学校等入学祝い金　・新1年生ランドセル無償化事業　・市内企業おしごと体験事業　・インフルエンザ予防接種費助成事業
・中3生応援給食費無償化事業　・子育て応援手当事業　・高校生等医療費助成事業　・鳴門市奨学金制度
④子育て中
・ママのための学び舎事業”ママビヤ”

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
出生児童数	250	196	270	300		人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	350,258	7,921	358,179

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
	事業実施内容（R6）	①住宅取得　・なると定住促進住宅取得補助金（79世帯） ②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産 ・地域婚活支援事業補助金（2件・40名参加）・地域婚活支援重点事業（1件・24名参加）・なると結婚新生活スタート支援補助金(41世帯）・なると新婚世帯家賃補助金（80世帯）・結婚応援セミナー（70名）・結婚支援アイデアコンテスト（62件）・赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト）2回実施・254名参加・子育て世代のライフプランニング応援事業（3回実施・256名参加）・新生児出産祝い金（給付率100%・198名）・不育症治療支援事業（のべ4名）・多胎妊婦健康診査支援事業（0）・妊娠判定受診費用助成事業（のべ4名）・不妊治療費助成事業（のべ69名）・葉酸摂取サポート事業（20名） ③就学前・小学生・中学生・高校生など ・鳴門市版児童手当特例給付事業（67名）・保育料無償化事業（のべ1,229月分）・おむつ粉ミルク等無償配布事業（給付率97.6%・対象335名のうち324名）・乳幼児ねんねケア事業（利用者26名）・就学前の障がい児発達支援無償化事業（のべ16名）・病児・病後児保育広域利用助成事業（のべ45名）・ファミリーサポートセンター利用料助成事業（229名）・小中学校等入学祝い金（給付率97.6%・対象702名のうち685名）・新1年生ランドセル無償化事業（配布率93.8%・対象352名のうち331名）・市内企業おしごと体験事業（102名）・インフルエンザ予防接種費助成事業（361名）・中3生応援給食費無償化事業（のべ4,267名）・子育て応援手当事業（給付率97.1%・対象1,339名のうち1,300名）・高校生等医療費助成事業（0）・鳴門市奨学金制度（44名） ④子育て中・ママのための学び舎事業”ママビヤ”（23名参加）

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	出生児童数	199	213	240	240	240	人
	目標達成率(実績/目標)		78.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	304,501,241	0	321,664,443	321,664,443	0
財源内訳	国庫支出金	1,440,000	0	3,883,000	3,883,000	0
	県支出金	0	0	1,348,000	1,348,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	45,050,000	0	49,034,310	49,034,310	0
	一般財源	258,011,241	0	267,399,133	267,399,133	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	出生児童数		成果指標に対する所見	パッケージ事業実施後、少子化・晩婚化等による出生数の減少傾向は少しずつ回復傾向にあるとともに、子育て世帯からも各施策に対する高い評価を得ているが、今後も現状の課題に即した施策展開が求められる。
	目標	270	人		
	実績	213	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
	課題	給付金事業は9割を超える高い給付率を達成しているほか、その他の事業においても、子育て世帯へのアンケート調査結果によると一定の高い評価を得ており市民満足度の向上がみられる。しかし、依然として続く若者の転出超過等による人口減少や未婚・晩婚化の進展等による出生数減少などの重要な課題を解決するため、対象者のニーズを把握し、各施策の効果検証及び見直し・改善等を図る必要がある。また、ターゲット層へ的確に届くよう、周知広報やPRについて、その手法の検討や工夫にも注力する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	令和6年度事業に下記事業を追加・拡充。 【追加】①一期一縁プロジェクト（6年度に実施した結婚支援アイデアコンテストの受賞アイデアを事業化）②保育士人材確保推進事業（奨学金返還助成） 【拡充】①不妊治療費助成事業（生殖補助医療・一般不妊治療費の無償化、先進医療も助成対象に拡充）
	令和8年度	これまで続けてきた切れ目のない子育て支援施策を継続するとともに、長期的な視点のもと、各事業の効果検証等を図り、庁内関係部署と連携しながら、現状の課題に即した施策展開を図る。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.2

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	1	子育てしやすいまちづくり

めざす姿	「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。

事業②

事業名	就学前教育・保育環境の充実	**担当部署**	こども未来創造部　こども保育教育課		
実施方針	①就学前教育・保育無償化の推進 ②いきいき保育環境なるっと補助金事業 ③保育所等巡回相談事業 ④保育士人材確保推進事業 ⑤小学校への円滑な接続	**事業費推移（千円）**	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			178,119	178,200	178,200
事業内容（R6）	①就学前教育・保育無償化の推進 ・国が実施する3歳児以上の保育所、認定こども園、幼稚園の利用者負担額（保育料）無償化に加え、市独自に保育料完全無償化を実施。 ②いきいき保育環境なるっと補助金事業 ・市内私立保育所、認定こども園の教育・保育環境充実のための補助メニューを設定し、各施設への補助を実施。 ③保育所等巡回相談事業 ・育児不安を抱える子育て家庭や保育所や認定こども園の職員のスキルアップのため、医師、臨床心理士及び保健師が希望する保育所や認定こども園を訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に応じる。10か所で実施予定 ④保育士人材確保推進事業 ・市内私立保育所や認定こども園に勤務する保育士を対象に、支援金や手当を支給することで、安定した保育士確保に繋げる。 ⑤小学校への円滑な接続 ・『鳴門市就学前教育・保育モデルカリキュラム』をもとに、連携小学校区連絡協議会を開催する等、小学校と就学前教育・保育施設との連携強化を図る。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	就学前教育・保育施設利用率	71.8	75.0	80.0	80.0	80.0	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	178,119	0	178,119

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	①就学前教育・保育無償化の推進 ・国が実施する3歳児以上の保育所、認定こども園、幼稚園の利用者負担額（保育料）無償化に加え、市独自に市内認可外保育所及び認可保育所、認定こども園の保育料完全無償化を実施した。 ②いきいき保育環境なるっと補助金事業 ・市内私立保育所、認定こども園の教育・保育環境充実のための補助メニューを設定し、各施設への補助を実施した。 ③保育所等巡回相談事業 ・育児不安を抱える子育て家庭や保育所や認定こども園の職員のスキルアップのため、医師、臨床心理士及び保健師が希望する保育所や認定こども園を訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に応じた。6か所で実施した。 ④保育士人材確保推進事業 ・市内私立保育所や認定こども園に勤務する保育士を対象に、支援金や手当を支給することで、安定した保育士確保に努めた。 ⑤小学校への円滑な接続 ・『鳴門市就学前教育・保育モデルカリキュラム』をもとに、連携小学校区連絡協議会を開催する等、小学校と就学前教育・保育施設との連携強化を図った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	就学前教育・保育施設利用率	75.7	76.8	80	80	80	%
	目標達成率(実績/目標)		96.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	138,249,000	0	169,313,150	169,313,150	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	9,712,000	0	4,814,000	4,814,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	16,378,000	0	40,129,000	40,129,000	0
	一般財源	112,159,000	0	124,370,150	124,370,150	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	就学前教育・保育施設利用率		成果指標に対する所見	少子化の影響で児童数が減少する一方、就学前教育・保育環境が充実することで、保育施設等の利用率は増加している。保育料無償化事業については市外からの問い合わせも多く、本市の子育て環境の充実を市内外にPRすることができている。
	目標	80.0	%		
	実績	77	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	①就学前教育・保育無償化の推進 ・県も令和7年度9月からの無償化拡充を予定しているが、所得制限等があり、今後も市単独での事業推進が必要。国・県等の動向を注視し事業を継続する。 ②いきいき保育環境なるっと補助金事業 ・保育現場の環境変化や社会情勢に応じて補助メニューの変更・追加を行う必要がある。 ③保育所等巡回相談事業 ・保育施設と指導者である医師や臨床心理士との日程調整を工夫することで、保護者や施設のニーズに可能な限り対応できる体制を整える必要がある。 ④保育士人材確保推進事業 ・市内に勤務する保育士等については、事業が浸透しているが、潜在保育士が保育現場で働きたいと思えるような事業周知が必要。 ⑤小学校への円滑な接続 ・保育所、幼稚園、認定こども園といった施設形態によらず小学校との連携及び情報共有を図る機会に多くの施設が参加できるよう教育委員会と市長部局との連携を密にする必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	保育人材確保を一層推進するため、令和7年度試験的に、『なるとまるごと子育て応援パッケージ』事業として、鳴門市の保育施設に勤務する保育士及び保育教諭を対象に奨学金返還費用の助成を実施する。
	令和8年度	・継続して事業を行う。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.3**

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	1	子育てしやすいまちづくり

めざす姿	「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。

事業③

事業名	子ども・子育て家庭の居場所づくり	**担当部署**	こども未来創造部 子育て支援課・こども保育教育課
実施方針	①地域子育て支援拠点事業 ②子どもの居場所づくり事業 ③子どもの居場所支援事業	**事業費推移（千円）**	令和6年度：80,977 令和7年度：81,000 令和8年度：81,000
事業内容（R6）	①地域子育て支援拠点事業 ・在宅で乳幼児の子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子育てに関する相談を行う場を提供することで、子育て家庭の子育ての負担感の軽減を図る。 ・4か月児がいる家庭を訪問する乳幼児全戸訪問事業を実施し、積極的に子育て支援事業や相談窓口の案内を行う。 ・市内小中学校で赤ちゃん授業を実施し、児童の自己肯定感等を育む。 ②子どもの居場所づくり事業 ・子どもの地域の居場所づくりや子育て支援を目的とした食事や団らん、学習支援等を提供する「子ども食堂」を運営する団体に、初期費用や運営に係る費用を補助することで、貧困の連鎖を断ち切り、子どもたちが健やかに生活できる環境整備を進める。 ③子どもの居場所支援事業 ・経済状況や家庭状況に課題を抱える子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣などを身に付けられるよう、小学生を対象とした居場所の提供を行う。		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
地域子育て支援拠点事業実施箇所数	6	6	7	7	7	箇所

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	80,977	0	80,977

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③		
事業実施内容（R6）	①地域子育て支援拠点事業 ・在宅で乳幼児の子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子育てに関する相談を行う場を提供することで、子育て家庭の子育ての負担感の軽減を図った。 ②子どもの居場所づくり事業 ・「子ども食堂」や「学習支援」など子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを実施する3団体に、初期経費や運営経費の補助を行った。 令和6年度延利用人数：6,114名 ③子どもの居場所支援事業 ・養育環境に課題を抱える子どもたちに対し安心・安全な居場所を提供し、生活習慣の形成や学習のサポート、食事の提供等を行うなど個々の児童の状況に応じた支援を行った。 令和6年度登録人数：22名	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	地域子育て支援拠点事業実施箇所数	6	7	7	7	7	箇所
	目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	71,052,000	0	80,041,000	80,041,000	0
財源内訳	国庫支出金	16,603,000	0	25,650,000	25,650,000	0
	県支出金	29,212,000	0	25,650,000	25,650,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	7,142,000	0	7,767,000	7,767,000	0
	一般財源	18,095,000	0	20,974,000	20,974,000	0

◎評価（CHECK）

事業③	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	地域子育て支援拠点事業実施箇所数		成果指標に対する所見	人口減少に伴う利用者の減や施設の職員確保等の問題があり、今後実施個所数を維持することが課題。
	目標	7	箇所		
	実績	7	箇所		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業③		
課題	①地域子育て支援拠点事業 保育所等を利用せずに在宅で育児をする家庭の交流や相談の場として、子育てに対する不安感や負担感の軽減に繋がっているが、少子化により利用児童数は減少傾向になっていくことが想定されるが、地域の子育て支援の要として支援が必要な家庭と関係機関への接続支援や子育て家庭が必要とする情報の提供等、きめ細やかな事業運営が必要。 ②子どもの居場所づくり事業 地域全体で子どもたちを見守る場所として子ども食堂の箇所数が増えてきていることは喜ばしいことであるが、一方で米などの食材の価格高騰により、食材費の負担が増え、開催頻度の検討や食事の内容を変更したりなど運営への影響も出てきている。今後においても、継続して実施できるよう、実施団体と活動においての困りごと等情報共有を図りながら、安心して子どもたちに過ごしてもらえる居場所づくりに繋げていく必要がある。 ③子どもの居場所支援事業 個々の児童の状況に応じた支援が必要となるため、今後も関係機関と連携しながら支援の在り方について検討していく必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	継続して事業を行う。
	令和8年度	継続して事業を行う。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.4**

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	1	子育てしやすいまちづくり

めざす姿	「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。

事業④

事業名	子育て世代包括支援事業	**担当部署**	こども未来創造部　こども家庭センター
実施方針	安心して子どもを産み育てることができるよう母子保健と子育て支援を一体的に提供し、関係機関と連携を図りながら妊娠期から就学前まで切れ目のない相談支援を実施。	**事業費推移（千円）**	令和6年度 40,580 令和7年度 40,580 令和8年度 40,580
事業内容（R6）	①全ての妊産婦を対象に妊娠届出時、妊娠後期、出生届出後等、継続的に面談対応（オンライン相談含む）する伴走型相談支援の実施。 ②妊娠・出産に伴う心身の不調など妊産婦の負担軽減を図る必要がある場合、各種産前・産後サービスを実施。 ③育児支援者の不在や経済的困窮など生活上、支援を要する場合や子どもの発達支援を要する場合など、関係機関と連携して継続的な支援を実施。 ④子育て世代に対しての情報発信（子育て支援に関する情報）を行う。		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、対処できる方法を知っている保護者の割合	89.9	90.0	91.0	92.0	93.0	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	40,580	46,805	87,385

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業④		
事業実施内容（R6）	①全ての妊産婦を対象に妊娠届出時、妊娠後期、出生届出後等、継続的に面談対応（オンライン相談含む）する伴走型相談支援の実施。 ②妊娠・出産に伴う心身の不調など妊産婦の負担軽減を図る必要がある場合、各種産前・産後サービスを実施。 ③育児支援者の不在や経済的困窮など生活上、支援を要する場合や子どもの発達支援を要する場合など、関係機関と連携して継続的な支援を実施。 ④子育て世代に対して、育児相談を行うとともに、リーフレットの配布などの情報発信（子育て支援に関する情報）を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績 見込	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、対処できる方法を知っている保護者の割合	82.2	84.8	86.0	87.0	88.0	%
	目標達成率(実績/目標)		93.2	－	－	－	%

事業費推移（円）		年度	令和5年度決算 ※令和4年度からの繰越額を含む	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
		計	10,488,692	0	81,980,833	81,980,833	0
	財源内訳	国庫支出金	4,667,000	0	39,910,000	39,910,000	0
		県支出金	2,622,000	0	10,379,000	10,379,000	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,199,692	0	31,691,833	31,691,833	0

◎評価（CHECK）

事業④	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、対処できる方法を知っている保護者の割合	成果指標に対する所見	支援が必要と考えられる妊婦に対して、面接や電話連絡だけでなく、妊娠期から家庭訪問し状況把握を行い、出産後に早期に支援が得られるように支援体制を整えた。
	目標	91.0 %		
	実績	85 %		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業④		
課題	全ての妊婦が継続的に面談等を受けることで、市町村やその他の支援機関とつながりを持つポピュレーションアプローチとして妊娠後期面談を実施しているが、状況把握ができない方が約1割という結果となっている。連絡がつかない方で手厚いフォローが必要な妊産婦が一定数存在することから、妊娠期からの家庭訪問や出産直後からサポート可能な仕組み作りが必要であると考える。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	・産後ケアを含む産前・産後サービスの利用促進・助産師・心理士の相談支援の充実
	令和8年度	継続

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.5

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	2	豊かな学力と生きる力を育む教育の充実

めざす姿	家庭、学校、地域が連携して、豊かな学力と確かな育ちを保障する、安全で充実した教育環境の創出に努めるとともに、社会を生き抜く力や国際的な人材の育成など、社会情勢を鑑みた教育に取り組みます。 また、子どもから高齢者まで誰もがライフステージ、ライフスタイルにあった学びができる環境の充実に努め、生きる喜びを感じることのできるまちをめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	学校教育充実事業	担当部署	教育委員会 学校教育課・教育支援室
実施方針	①学力向上対策推進事業、学園都市化構想連携協力推進事業、学校づくり計画推進事業、鳴門市学校・幼稚園防災対策事業 ②外国語教育推進事業、GIGAスクール構想推進事業	事業費推移（千円）	令和6年度 84,111 令和7年度 84,111 令和8年度 84,111
事業内容（R6）	①学力向上対策推進、学園都市化構想連携協力推進、学校づくり計画推進、鳴門市学校・幼稚園防災対策事業 ・「なると学力調査」事業および認知機能強化トレーニング実施事業の実施、鳴門理数塾開講事業、学力向上推進委員会の開催、Q-Uアンケートの実施、学園都市化構想の推進、瀬戸中学校区での幼小中一貫教育の充実、コミュニティ・スクールの推進、学校防災推進会議および実務者会議の開催 ②外国語教育推進事業、GIGAスクール構想推進事業 ・小学校外国語支援員の配置、プロジェクト型学校間連携の推進、教員研修の充実、WeLoveNarutoコンテスト実施、イングリッシュキャンプ実施、オンライン英会話の導入、英語検定受験料全額補助事業、中学生国内留学体験事業、「学校のICT化に向けた5か年計画」に基づいた校内のICT環境の整備、ICTコラボチームでの研究・開発、「AIドリル」導入、教育DX推進「ハイラブルディスカッション」導入		

	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	全国学力・学習状況調査の平均正答率（小学校） 国語・算数　※（）の数値は全国平均	国語62(65.6) 算数62(63.2)	国語62(67.2) 算数57(62.5)	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	%
成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学校） 国語・数学　※（）の数値は全国平均	国語70(69) 数学53(51.4)	国語66(69.8) 数学46(51)	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	%
成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	中学卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒数の割合	27	40	40	40	45	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	84,111	1,200	85,311

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①

事業実施内容（R6）

①学力向上対策推進、学園都市化構想連携協力推進、学校づくり計画推進、鳴門市学校・幼稚園防災対策事業
・学力向上対策推進においては、同一児童生徒の学力の伸び・変化を継続把握することに適した「なると学力調査」を実施するとともに、学習の土台となっている認知機能の5つの構成要素である記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断を伸ばすコグトレ（認知機能強化トレーニング）を実施した。鳴門理数塾開講事業においては、鳴門教育大学の協力により、中学生が定期的に理数分野に特化した教育を受けられる機会を設け、理数学習へのモチベーションを高め、理数が得意な生徒の能力をさらに伸ばすとともに、理数科目が苦手な生徒向けの講座も開講した。鳴門高校奨学金給付事業を開始。10名を奨学生に認定した。学園都市化構想連携協力推進においては、学習支援サポーター及び部活動支援サポーターの派遣を行い、連携・協力を推進した。瀬戸中学校で体験入学を実施するなど、瀬戸中学校区での幼小中一貫教育の充実、コミュニティ・スクールの推進、学校防災推進会議および実務者会議を開催した。
②外国語教育推進事業、GIGAスクール構想推進事業
・外国語教育推進事業…小学校外国語支援員を継続配置し、学校間連携の推進、教員研修の充実を図った。また、中学2年生を対象としたオンライン英会話、英語検定受験料全額補助事業、中学生国内留学体験事業を実施し、児童生徒の英語力向上に努めた。
・GIGAスクール構想推進事業…「学校のICT化に向けた5か年計画」に基づき校内のICT環境を整備するとともに、「AIドリル」の全校実施を開始した。また、「ハイラブルディスカッション」を導入し教育DXの推進を図った。

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
全国学力・学習状況調査の平均正答率（小学校）国語・算数　※（）の数値は全国平均	国語62(67.2) 算数57(62.5)	国語64(67.7) 算数61(63.4)	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	%
目標達成率(実績/目標)		未達成	－	－	－	%

指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学校）国語・数学　※（）の数値は全国平均	国語66(69.8) 数学46(51)	国語55(58.1) 数学47(52.5)	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	%
目標達成率(実績/目標)		未達成	－	－	－	%

指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
中学卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒数の割合	40.7	42.5	46.5	48.5	50	%
目標達成率(実績/目標)		106.3	－	－	－	%

事業費推移（円）

年度		令和5年度決算 ※令和4年度からの繰越額を含む	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	令和7年度への繰越額
計		46,529,204	0	79,893,491	79,893,491	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	3,100,000	3,100,000	0
	一般財源	46,529,204	0	76,793,491	76,793,491	0

◎評価（CHECK）

事業①

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価

指標名	全国学力・学習状況調査の平均正答率（小学校）国語・算数　※（）の数値は全国平均	
目標	全国平均以上	%
実績	国語64(67.7)算数61(63.4)	%
評価	D:目標を達成できなかった	
指標名	全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学校）国語・数学　※（）の数値は全国平均	
目標	全国平均以上	%
実績	国語55(58.1)数学47(52.5)	%
評価	D:目標を達成できなかった	
指標名	中学卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒数の割合	
目標	40	%
実績	42.5	%
評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見

「学力向上実行プラン等」の作成・実施を通じて、学校ごとに教育活動の検証・改善を一層進めるとともに、各種学力向上施策を実施し、長期的な視点で学力の向上に努める。

「学力向上実行プラン等」の作成・実施を通じて、学校ごとに教育活動の検証・改善を一層進めるとともに、各種学力向上施策を実施し、長期的な視点で学力の向上に努める。

英語検定受験料全額補助事業等の取り組みにより英検受験者が大幅に増加し、これまで英検3級相当の実力を持ちながら英検を取得していなかった生徒の数が可視化され、目標数値を大きく上回った。

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

課題

①鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。
・コミュニティ・スクール「鳴門モデル」推進に向けて継続的な支援を行う体制が必要である。
・甚大な自然災害をはじめ、子どもたちの安全を脅かす事案は、いつ・どこでも起こり得るため、子どもの命を守ることを最優先にフェーズフリーなどの浸透をはかり、困難を乗り越える防災力を育成する必要がある。
・鳴門教育大学との様々な連携を行いながら、教育・保育現場を支援する学生・院生によるボランティアを、就学前教育・保育、学力向上、課外活動、特別支援教育等様々な教育分野において、今後も継続していく。
②ICT活用は全校で進んでいるが、教員が受け持つ授業やクラスによってICT活用の頻度や程度に差ができてしまうことが懸念されている。今後、教員間のICT格差をなくしていくことに加え、取得した知識が授業に反映できるよう支援していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	キャリア教育の充実等を図り、学びに向かう力を高めるとともに、授業改善を進め、子どもたちの学力の確実な定着に取り組む。その際、ICTを積極的に活用する。また、学力向上施策「なると うずっ子 学力向上パッケージ」を実施し、その成果と課題を検証する。
	令和8年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.6**

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	2	豊かな学力と生きる力を育む教育の充実

めざす姿	家庭、学校、地域が連携して、豊かな学力と確かな育ちを保障する、安全で充実した教育環境の創出に努めるとともに、社会を生き抜く力や国際的な人材の育成など、社会情勢を鑑みた教育に取り組みます。 また、子どもから高齢者まで誰もがライフステージ、ライフスタイルにあった学びができる環境の充実に努め、生きる喜びを感じることのできるまちをめざします。

事業②

事業名	生涯学習推進事業	**担当部署**	教育委員会 総合教育人権課
実施方針	①各種学級、公民館短期講座の充実 ②公民館活用の推進 ③放課後子供教室の実施 ④読書環境の充実	**事業費推移（千円）**	令和6年度 38,206 令和7年度 38,206 令和8年度 38,206
事業内容（R6）	①各種学級、公民館短期講座の充実 ・女性学級、成人学級、高齢者学級、公民館短期講座の実施 ②公民館活用の推進 ・地域の特色を活かした運営体制づくり ・学級運営の充実と適切な施設管理による利活用の促進 ③放課後子供教室の実施 ・放課後子供教室の活動内容の充実と指導者・活動場所の確保 ④読書環境の充実 ・鳴門まちなか絵本図書館の充実		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
公民館利用人数	45,969	60,000	67,500	72,500	78,300	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	38,206	0	38,206

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	①女性学級7、成人学級5、高齢者学級9の計21学級を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員や公民館長のコーディネートのもと学級長を中心に自主的な学級運営を行った。社会教育指導員は、各学級に対し、講師の紹介や学習機器の貸し出し等を行い、学習のサポートに努めた。また、公民館短期講座では、ライフスタイル講座、歴史文化講座、スマートフォン講座の3学級を開設した。 ②管理業務の一部を地域団体に委託し、地域住民の意見を尊重した独自性を持った運営を行うとともに、公民館短期講座の継続実施（社会教育指導員及び館長と連携した学級運営）や快適な利用ができるよう必要な施設修繕等を実施した。 ③市内8小学校区で放課後子供教室を開設し、延べ442日実施、12,424人の子どもが利用した。また、放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後子供教室、放課後児童クラブ等の指導者を対象とした合同研修会を開催した。 ④年度内に、新しく5事業所に設置し、計56カ所となった。また、寄付いただいた絵本や絵本回収BOXで回収した絵本・児童書を補修して、まちなか絵本図書館に配架した。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	公民館利用人数	61,520	60,402	72,500	78,300	78,300	人
	目標達成率(実績/目標)		89.5	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	33,790,525	0	36,725,031	36,725,031	0
財源内訳	国庫支出金	120,000	0	0	0	0
	県支出金	3,622,000	0	3,671,000	3,671,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	637,519	0	660,544	660,544	0
	一般財源	29,411,006	0	32,393,487	32,393,487	0

◎評価（CHECK）

事業②					
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	公民館利用人数		成果指標に対する所見	各種学級や講座、公民館でのイベント等も積極的に開催されており、コロナ禍に比べ利用者数は大幅に増加しているが、コロナ禍を契機とした利用者離れや利用者の高齢化、猛暑等の影響により、昨年度より減少となった。
	目標	67,500	人		
	実績	60,402	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	各種学級の運営については、社会教育指導員の助言・サポートが必要不可欠であり、事業の安定した継続には社会教育指導員の資質によるところが大きい。また、高齢化等により学級を閉鎖する地域もあり、学級を主導するリーダーの育成や講座の構成、内容、周知方法の見直しを常に行うことが大切である。公民館については地域の社会教育の拠点として多くの市民に積極的に活用されているが、若い世代の利用が少ないなど、利用者に偏りが見られる。さまざまな年齢や性別の方が利用できるよう、市教委、館長及び地域が一体となって、公民館の利用を促進する必要がある。施設の老朽化もあることから計画的な修繕等により、施設の長寿命化や利用者が快適に利用できる環境整備の構築が求められる。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	各種学級の講座の構成や内容について、学級長等の意見を聞きながら見直しを行い、受講生のニーズに沿った学級の開設をめざすとともに、公民館短期講座を継続的に実施し、生涯学習の機会確保に努める。公民館については、利用者の利便性や施設の長寿命化を図る目的から、蛍光灯のLED化を進めるとともに、館長手当や地域団体への一部業務管理委託料を増額し、公民館の利用促進に関し積極的に連携を図っていただくように依頼する。
	令和8年度	令和7年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.7

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	3	スポーツの推進

めざす姿	子どもには健やかな心身の育成と体力の向上を、大人には自らの健康づくりを目的として、子どもから高齢者までみんなで元気に楽しむスポーツのまちをめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	スポーツ活動推進事業	**担当部署**	市民生活部 スポーツ課
実施方針	①スポーツへの参加機会の拡充と環境の整備 ②スポーツ活動の支援と活性化の推進	**事業費推移（千円）**	令和6年度：12,078 令和7年度：11,837 令和8年度：11,837
事業内容（R6）	①スポーツへの参加機会の拡充と環境の整備 ・（仮）NARUTOスポーツデーや鳴門クロスカントリー大会等のスポーツイベントの開催 ・中学・高校運動部活動の競技力強化や就学前児童及び高齢者の運動能力向上支援を目的としたKOBA式体幹バランストレーニングの実施 ・マルチスポーツの推進 ・障がい者スポーツへの理解促進及び普及・啓発 ・新たなスポーツ施設の基本構想策定 ②スポーツ活動の支援と活性化の推進 ・全国大会等出場激励制度 ・スポーツ少年団の活性化		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
NARUTOスポーツデーへの参加人数	－	－	800	800	800	人
成人の週一回以上のスポーツ実施率（次回調査令和6年度）	－	－	65.0	－	－	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	12,078	△500	11,578

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	スポーツへの参加機会の拡充と環境の整備としては、NARUTOスポーツデーや鳴門クロスカントリー大会等のスポーツイベントを開催したほか、KOBA式体幹バランストレーニングや幼児向けのマルチスポーツの実施、障がい者スポーツへの理解促進及び普及啓発などに取り組んだ。また、新スポーツ施設建設に向けて新スポーツ施設基本構想を策定した。 スポーツ活動の支援と活性化の推進については、前年度に引き続き、全国大会に出場する選手へ鳴門市スポーツ競技全国大会等出場激励金の交付を行ったほか、スポーツ少年団の活動を支援するため、各単位団の紹介パンフレットの作成や資格取得助成などに取り組んだ。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	NARUTOスポーツデーへの参加人数	－	829	800	800	800	人
	目標達成率(実績/目標)		103.6	－	－	－	%
	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	成人の週一回以上のスポーツ実施率	－	41.4	－	－	－	%
	目標達成率(実績/目標)		63.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	9,361,136	0	10,712,670	10,712,670	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,000,000	0	4,000,000	4,000,000	0
	一般財源	6,361,136	0	6,712,670	6,712,670	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	NARUTOスポーツデーへの参加人数		成果指標に対する所見	市内スポーツ団体、地域団体等の協力のもと、お子さまからご高齢の方まで、幅広い世代の方にお楽しみいただける体験メニューを用意したほか、今後の運動のきっかけづくりとなるよう、体力測定会を開催し、多くの市民の皆様にご参加いただいたことから、目標を達成することができた。
	目標	800	人		
	実績	829	人		
	評価	A:目標を達成できた			
	指標名	成人の週一回以上のスポーツ実施率（次回調査令和6年度）			令和6年度に実施した市民アンケートの結果、「成人の週一回以上のスポーツ実施率」については、目標に届かなかった。今後、参加機会の拡充や環境の整備等を通して実施率を上げることができるよう取り組む。
	目標	65	%		
	実績	41	%		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	チャレンジデーから市民に根付いた運動習慣を継続していくため、「NARUTOスポーツデー」を実施した。新たなメニューとして、体力測定を取り入れたことで、幅広い世代の方に参加いただき、大変好評であった。今後も参加団体にご協力いただき、誰でも気軽にスポーツへ参加できる体験メニューを用意し、市民の皆様の運動習慣の継続や心身のリフレッシュ、健康増進につながるようスポーツに親しむ機会の創出に努めていく。また、激励金制度についても継続し、スポーツ競技の普及及び振興を図るとともに、対象となる選手へのもれがないよう引き続き周知に取り組む必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	チャレンジデー事業により地域に根付いた運動習慣を継続してもらうため、令和6年度より新たに実施した「NARUTOスポーツデー」を継続して実施し、引き続き気軽に運動参加できる環境を整えるなど、スポーツへの参加機会の拡充を図る。 また、激励金制度については、広報紙でのPRを通じてより一層の周知を図り、スポーツ競技の普及及び振興を図る。
	令和8年度	今年度の実施状況により次年度以降検討する。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.8**

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	4	芸術・文化の振興

めざす姿	世界に誇れる「鳴門海峡の渦潮」、「四国遍路」、「板東俘虜収容所関係資料」をはじめとする、様々な文化資源の活用や文化振興を図ることにより、魅力あるまちづくりをめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	「なると第九」ブランド化推進事業	**担当部署**	市民生活部 文化交流推進課 教育委員会 学校教育課
実施方針	①「なると第九」ブランドの発信 ②「なると第九」の文化や歴史を学ぶ第九学習の推進 ③「第九」アジア初演の歴史を後世に引き継ぐ取組みの推進 ④教育旅行誘致の取組みの推進	**事業費推移（千円）**	令和6年度 9,420 令和7年度 8,675 令和8年度 8,675
事業内容（R6）	①第40回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会の開催 ②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習の実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会の実施 （全日本「第九を歌う会」連合会への委託事業） ④「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行生の誘致		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
ドイツ館周辺への来訪者数	43,535	47,000	50,000	50,000	50,000	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	9,420	0	9,420

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①第40回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会を開催 ②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習を実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会を実施 （全日本「第九を歌う会」連合会への委託事業） ④「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行生の誘致	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	ドイツ館周辺への来訪者数	47,811	51,053	52,000	52,000	52,000	人
	目標達成率(実績/目標)		102.1	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	34,187,820	0	8,848,870	8,848,870	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	23,700,000	0	0	0	0
	その他	6,353,000	0	1,625,000	1,625,000	0
	一般財源	4,134,820	0	7,223,870	7,223,870	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数		成果指標に対する所見	今年度は目標達成できたが、今後の目標を達成していくためにも、継続的に情報発信していく。
	目標	50,000	人		
	実績	51,053	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	「なると第九」ブランドの認知度の向上や誘致の促進、文化の振興につなげるため、市内外への情報発信や、次世代育成の効果的で効率的な方法について検討する。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	①第41回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会開催、「第九」関連イベントの実施 ②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習の実施 ③「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行生の誘致
	令和8年度	①市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習の実施 ②令和9年度文化会館リニューアルオープンに伴う「第九」関連イベントの検討・準備 ③「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行生の誘致

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

◎基本情報

【計画ベース】 **No.9**

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	4	芸術・文化の振興

めざす姿	世界に誇れる「鳴門海峡の渦潮」、「四国遍路」、「板東俘虜収容所関係資料」をはじめとする、様々な文化資源の活用や文化振興を図ることにより、魅力あるまちづくりをめざします。

事業②

事業名	文化財保存活用事業	**担当部署**	市民生活部 文化交流推進課
実施方針	①国指定重要文化財「福永家住宅」・国指定史跡「鳴門板野古墳群」・国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ②市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ③その他指定文化財等の保存管理と普及活用	**事業費推移（千円）**	令和6年度 4,923 令和7年度 4,923 令和8年度 4,923
事業内容（R6）	①「福永家住宅保存活用計画」に基づき建物修理や整備活用を進める。 ②「鳴門板野古墳群」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ③「板東俘虜収容所跡」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ④収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。 ⑤普及活用事業として地域住民やボランティアと協働し、福永家住宅・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキング等を行う。 ⑥指定文化財の説明板を整備する。 ⑦緊急性の高い修繕事業を実施するなど環境整備事業を継続する。		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
文化財公開事業への参加者数	370	660	650	800	1,000	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	4,923	593	5,516

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
	事業実施内容（R6）	①重要文化財「福永家住宅」について、保存活用計画に基づき、必要な施設修繕や、一般公開などの活用事業を行った。 ②国指定史跡「鳴門板野古墳群」の一般公開や古墳ウォーキングを実施した。 ③国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の解説冊子及び市指定「大麻山の大杉」、「極楽寺の阿弥陀如来石仏」の周知啓発冊子を発行した。 ④市指定「長谷寺のオハツキイチョウ」の文化財説明板を制作設置し、地域文化財の周知活用を進めた。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	文化財公開事業への参加者数	672	712	800	900	1,000	人
	目標達成率(実績/目標)		109.5	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	6,516,768	0	4,605,431	4,605,431	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	33,000	0	33,000	33,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,483,768	0	4,572,431	4,572,431	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	文化財公開事業への参加者数		成果指標に対する所見	近年SNSなどでの情報周知に取り組みつつある中で、公開活用において参加者が増加し、一定の成果をあげた。
	目標	650	人		
	実績	712	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
	課題	史跡指定を受けた「鳴門板野古墳群」・「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けて取り組みを継続するとともに、環境整備事業や史跡を活用した周知啓発事業を継続していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	①「福永家住宅保存活用計画」に基づき建物修理や整備活用を進める。 ②「鳴門板野古墳群」・「板東俘虜収容所跡」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ③収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。 ④普及活用事業として地域住民やボランティアと協働し、福永家住宅・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキング等を行う。
	令和8年度	①「福永家住宅保存活用計画」に基づき建物修理や整備活用を進める。 ②「鳴門板野古墳群」・「板東俘虜収容所跡」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ③収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。 ④普及活用事業として地域住民やボランティアと協働し、福永家住宅・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキング等を行う。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.10

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	5	国際・国内交流の推進

めざす姿	姉妹都市や友好都市との交流をより充実させることにより、国際理解を深めることや、交流人口の増加、文化や産業の振興につなげていきます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	国際・国内交流事業	担当部署	市民生活部 文化交流推進課
実施方針	①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流を図る ②中国友好都市との交流を図る ③バングラデシュ・ナラヤンガンジ市との交流を図る ④国内親善都市会津若松市・桐生市との交流を図る ⑤その他姉妹都市・友好都市との交流を推進する	事業費推移（千円）	令和6年度：14,443 令和7年度：4,810 令和8年度：8,416
事業内容（R6）	①第24回鳴門市姉妹都市親善使節団（一般・青少年）をリューネブルク市に派遣する。また、リューネブルク市との姉妹都市盟約締結50周年を記念した各事業を実施する。 ②張家界市からの訪問団を受け入れるなど、相互交流事業を推進し、友好親善を図る。 ③バングラデシュ・ナラヤンガンジ市との連携を深め、交流の促進を目指す。 ④会津まつり等へ訪問し、交流親善を図る。		

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	中国人国際交流員・ドイツ人職員活用事業への参加者数	3,142	2,912	3,000	3,000	3,000	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	14,443	0	14,443

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①第24回鳴門市姉妹都市親善使節団（一般・青少年）をリューネブルク市に派遣した。また、リューネブルク市との姉妹都市盟約締結50周年を記念した11事業を実施した。 ②張家界市も参加するチャイナフェスティバルへの参加等、相互交流事業を推進し、友好親善を図った。 ③バングラデシュ・ナラヤンガンジ市との友好都市協定締結1周年記念セレモニーに参画するなど、さらなる交流を促進した。 ④国内交流都市を訪問し、物産等のPRや交流親善を図った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	中国人国際交流員・ドイツ人職員活用事業への参加者数	3,267	3,716	3,800	3,800	3,800	人
	目標達成率(実績/目標)		123.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	6,963,396	0	11,875,391	11,875,391	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,963,396	0	11,875,391	11,875,391	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	中国人国際交流員・ドイツ人職員活用事業への参加者数	成果指標に対する所見	国際交流員等が積極的に様々な市内イベント等において活動するとともに、ターゲットにあわせた広報媒体を活用して情報発信を行うことにより、多くの方々に参加いただくことができた。
	目標	3,000 人		
	実績	3,716 人		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	リューネブルク市親善使節団受入れ事業をはじめとした国際交流事業について、訪問団の相互派遣や、オンライン通信等を活用し、若い世代も取り込んで積極的に国際交流の推進を図る必要がある。	
今後の方向性	☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	①第24回リューネブルク市一般親善使節団を受入れ、両市民の交流の場を創出する。 ②第24回リューネブルク市青少年親善使節団の受入れ、次世代を担う人材育成を図る。 ③国内外のその他友好都市との連携を深め、交流の促進を目指す。
	令和8年度	①第25回鳴門市姉妹都市親善使節団（一般）をリューネブルク市に派遣し、両市民の友好親善を図る。 ②第25回鳴門市姉妹都市親善使節団（青少年）をリューネブルク市に派遣し、次世代を担う人材育成を図る。 ③国内外のその他友好都市との連携を深め、交流の促進を目指す。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.11**

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	1	計画的な土地利用と都市拠点整備の充実

めざす姿	本市の将来の発展動向を踏まえ、自然環境との調和のもと、鳴門中心部ではコンパクトにまとまった都市機能の立地を促すとともに、安全で安心できる居住地形成を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	四国のゲートウェイ推進事業	**担当部署**	産業振興部 観光振興課 企画総務部 戦略企画課
実施方針	①四国内外からの交流人口の増加 ②市内の賑わい創出	**事業費推移（千円）**	令和6年度：11,700 令和7年度：11,700 令和8年度：6,200
事業内容（R6）	①四国のゲートウェイ推進イベントの共催 ・民間団体等と四国内外から集客できるイベントを共催する ②ナイトタイムコンテンツ造成推進事業補助金 ・事業者及び団体等が実施するナイトタイムコンテンツ造成事業に対し補助金を交付 ※鳴門市イルミネーション事業補助金と統合 ③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業 ・本プロジェクトの中核施設とし設置された交流拠点施設（ゲート）などが実施する施設整備・改修・イベント等に対し補助金を交付		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
交流人口の数（イベント・ナイトタイムコンテンツ）	15,000	37,000	40,000	40,000	40,000	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	11,700	△ 49	11,651

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）		**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** ・四国内外からの交流人口の増加を図るため、（一社）鳴門板野青年会議所と共催でキッチンカー等が出店する「鳴門グルメカーニバルBAR」及び徳島県キッチンカー協会と「防災体験」を開催した。 **②ナイトタイムコンテンツ造成推進事業補助金** ・滞在型観光の推進及び観光における消費の拡大を図るため、ナイトタイムコンテンツを造成する事業者等に対し補助金を交付し、夜の観光コンテンツの充実を図った。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** ・音楽を楽しむとともに、鳴門の魅力のPRや観光促進など誘客に繋げるJAZZライブイベントに対し、補助金を交付した。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	交流人口の数（イベント・ナイトタイムコンテンツ）	29,058	38,570	―	―	―	人
	目標達成率(実績/目標)		96.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	9,696,000	0	6,114,000	6,114,000	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	8,700,000	0	500,000	500,000	0
	一般財源	996,000	0	5,614,000	5,614,000	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	交流人口の数（イベント・ナイトタイムコンテンツ）		成果指標に対する所見	各事業については計画どおりに実施することができ、概ね目標を達成することができた。
	目標	40,000	人		
	実績	38,570	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** ・今後は民間主体での開催に移行し、事業費の支援に替えて、広報協力や会場の提供などの支援を継続する。 **②ナイトタイムコンテンツ造成事業補助金** ・ナイトタイムコンテンツに加えてモーニングタイムコンテンツも支援対象とし、より継続的なものとなるよう、新規出店や新業態への進出等についても支援を実施したい。また、宿泊を促すことを目的とする趣旨から、対象となる時間帯をモーニングタイム（～10時）まで拡充する。R7年度から観光振興事業に移行。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** ・事業効果を高められるよう、制度の活用にあたっては引き続き交流拠点施設（ゲート）等を運営する事業者と十分に協議を行い、事業計画段階からの支援に努める。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	**②ナイト/モーニングタイムコンテンツ造成事業補助金** ・ナイト/モーニングタイムコンテンツ造成事業を観光振興事業に移行する。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** ・交流拠点施設（ゲート）などが実施する施設整備・改修・イベント等に対し補助金を交付する。
	令和8年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.12

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	2	持続可能な公共交通網の実現

めざす姿	地域公共交通計画に基づき、多様化する利用者ニーズに適応した公共交通サービスを提供するとともに、持続可能な公共交通ネットワークの実現を図る。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	公共交通対策事業	担当部署	企画総務部 地域交通推進室
実施方針	地域公共交通計画に基づき、路線バスなどの既存の公共交通手段を活用するとともに、新たな移動手段の導入などに努めます。	事業費推移（千円）	令和6年度 167,096 令和7年度 167,096 令和8年度 167,096
事業内容（R6）	①地域バス・路線バス 利用状況の把握に努め、必要に応じて運行内容の見直し等を行う。 ②新たな移動手段の導入 (株)鳴門自動車教習所の送迎車両を活用した移動支援事業について、実証運行から本格運行へ移行する。 鳴門市企業等送迎車両活用事業支援補助金を活用するなど、新たな移動手段の導入を検討する。		

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	公共交通カバー人口比率の引き上げ（次回調査令和8年度）	79.4	—	—	—	85.0	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	167,096	214	167,310

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	・路線バス（協定路線）において、鳴門大麻線の発着地・経由地の変更を含む路線・ダイヤの見直しを実施した。 ・令和5年9月より実証運行を開始した「矢倉地区」での(株)鳴門自動車教習所の送迎車両を活用した移動支援事業について、アンケート結果や利用状況を踏まえ、本格運行へ移行した。 ・公共交通空白地域である「島田地区」において、令和6年10月からNPO法人ふれあい福祉の会山びこへるぷの協力のもと、島田島から最寄りのバス停までの移動支援を目的とした実証運行を実施した。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	公共交通カバー人口比率の引き上げ（次回調査令和8年度）		－	－	85	－	%
	目標達成率(実績/目標)		―	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	166,915,103	0	156,697,411	156,697,411	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	914,893	0	1,009,463	1,009,463	0
	一般財源	166,000,210	0	155,687,948	155,687,948	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	公共交通カバー人口比率の引き上げ（次回調査令和8年度）		成果指標に対する所見	矢倉地区や島田地区における移動支援事業の実施により公共交通空白地域の解消につなげた。
	目標	―	%		
	実績	－	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	交通事業者の運転者不足に加え、今後の高齢化の進展により、移動困難者の増加が予測されることから、地域公共交通計画に基づき、新たな移動手段の導入を検討するなど、多様化する移動ニーズや地域特性に対応した持続可能な公共交通ネットワークの実現に努める必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	地域公共交通計画に基づき、限られた財源や人材を有効活用し、公共交通空白地域の解消に向けた取り組みを検討する。
	令和8年度	継続

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.13

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	住環境整備事業	担当部署	都市建設部 まちづくり課
実施方針	①公営住宅の計画的な改善等の推進 ②木造住宅の耐震化促進 ③住環境向上・良好な住宅ストック形成の促進 ④老朽化し危険な空き家の除却促進	事業費推移（千円）	令和6年度：112,799 令和7年度：112,799 令和8年度：112,799
事業内容（R6）	①公営住宅改善事業 ・公営住宅等長寿命化計画に基づく長寿命化改善・維持管理等の実施 ②木造住宅耐震化促進事業 ・耐震診断・耐震改修等への支援 ③住宅安心リフォーム支援事業 ・住宅リフォームへの支援 ④老朽危険空き家除却支援事業 ・老朽危険空き家の除却支援		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
空き家除却実施戸数（補助・減免によるもの）	25	30	35	35	35	戸

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	112,799	6,760	119,559

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①公営住宅改善事業 ・公営住宅等長寿命化計画に基づく長寿命化改善・維持管理等の実施 ②木造住宅耐震化促進事業 ・耐震診断・耐震改修等への支援 ③住宅安心リフォーム支援事業 ・住宅リフォームへの支援 ④老朽危険空き家等除却支援事業 ・老朽危険空き家の除却支援	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	空き家除却実施戸数（補助・減免によるもの）	33	32	35	35	35	戸
	目標達成率(実績/目標)		91.4	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	72,006,716	11,612,000	87,576,004	99,188,004	15,014,400
財源内訳	国庫支出金	28,703,000	5,975,000	27,593,000	33,568,000	6,217,000
	県支出金	8,971,000	3,135,000	10,552,050	13,687,050	4,398,600
	地方債	15,500,000	0	25,100,000	25,100,000	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	18,832,716	2,502,000	24,330,954	26,832,954	4,398,800

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	空き家除却実施戸数（補助・減免によるもの）	成果指標に対する所見	目標までは少し届かなかったが、前年度同様、比較的多く空き家の除却支援を行うことができた。
	目標	35 戸		
	実績	32 戸		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	・公営住宅改善事業については、公営住宅等長寿命化計画に基づき、段階的に適切な改修等を検討していく必要がある。 ・各支援制度は、継続的な需要があるため、より多くの方に事業を活用いただけるよう周知するとともに、制度拡充も検討していく必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善 □ 3.現状維持 ☑ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	・公営住宅改善事業については、桑島第2団地B棟浴室等改修を実施する。 ・各支援制度を引き続き実施しつつ、制度のさらなる周知を図る。また、国・県制度の動向を注視しながら、ニーズに合わせた制度拡充を検討していく。
	令和8年度	・R7年度に生じた課題に対し、改善を行う。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.14

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

事業②

事業名	道路・河川整備事業	**担当部署**	都市建設部 土木課
実施方針	①道路舗装修繕計画に基づく舗装補修 ②道路補修担当者会議に基づく舗装補修 ③緊急を要する舗装補修及び土木工事 ④地域住民の要望に基づく、緊急性の高いものを中心とした河川整備 以上、4つの事業で、舗装等の健全化を図る。	**事業費推移（千円）**	令和6年度：170,000 令和7年度：192,000 令和8年度：192,000
事業内容（R6）	①道路舗装修繕計画に基づく舗装補修 「川崎池谷線」「矢倉東西線」「北泊北山手線」「池谷浜田1号線」「市場墓地公園線」「中島田室線」「室山手線」「萩原板東北条線」「小桑島大桑島線」「池谷萩原春日橋線」「桧東中央線」「高島南46号線」「板東中央線」の13路線の舗装補修を実施する。 ②地域住民の要望を精査し、以下の地区を中心に全9箇所の河川改良・補修工事に着手する。 ・南浜地区　・徳長地区　・明神地区　・島田地区　・立岩地区　・桧地区他		

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	道路舗装修繕計画に基づく舗装・河川の工事着手率	100	100	100	100	100	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	170,000	40,000	210,000

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	①道路舗装修繕計画に基づく舗装補修 「川崎池谷線」「北泊南山手線」「北泊北山手線」「池谷浜田１号線」「市場墓地公園線」「中島田室線」「室山手線」「萩原板東北条線」「小桑島大桑島線」「池谷萩原春日橋線」「桧東中央線」「高島南４６号線」「板東中央線」の１３路線の舗装補修を実施した。 ②地域要望を精査し、市内全域で河川改良・補修工事を実施 ・徳長排水路改良工事・島田地区護岸改良工事・明神地区排水路改良工事・明神小学校水路改良工事 ・吉永地区排水路改良工事・堂浦地区排水路改良工事・陰ヶ谷川護岸改良工事・大代地区排水路改良工事・川崎地区排水路改良工事	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	道路舗装修繕計画に基づく舗装・河川の工事着手率	100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	189,338,901	0	169,703,422	169,703,422	40,000,000
財源内訳	国庫支出金	3,650,000	0	7,393,000	7,393,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	53,300,000	0	64,100,000	64,100,000	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	132,388,901	0	98,210,422	98,210,422	40,000,000

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	道路舗装修繕計画に基づく舗装・河川の工事着手率	成果指標に対する所見	計画通りに、舗装補修が実施できた。 継続して、計画的に舗装補修を実施する。
	目標	100 %		
	実績	100 %		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	①道路舗装修繕計画に基づく舗装補修において、活用している社会資本整備総合交付金の内示率が今後も低い場合、交付金の内示額相当の発注となるため、事業の進捗に遅れが生じる可能性がある。 ②地域住民から、未整備水路の整備や老朽化した水路の改修などの要望が多く寄せられている。 このため、地域の現状などを検討し計画的に整備を進めたい。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	①道路舗装修繕計画において、優先順位の高い路線から順次、舗装補修工事に着手する。 ②要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。
	令和8年度	①道路舗装修繕計画において、優先順位の高い路線から順次、舗装補修工事に着手する。 ②要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

◎基本情報

【計画ベース】 **No.15**

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

事業③

事業名	公園活用整備事業	**担当部署**	都市建設部 公園緑地課		
実施方針	①子どもを対象とした事業の実施 ②公園利用者を拡大する事業の実施	**事業費推移（千円）**	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			3,630	3,630	3,630
事業内容（R6）	①子どもを対象とした事業の実施 ・U－10フットサル大会 ・鳴門ウチノ海総合公園季節イベント　夏・冬パーク ②公園利用者を拡大する事業の実施 ・七夕まつり、パークセンターギャラリー				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	活動（イベント）への参加人数	1,910	10,000	10,000	10,000	10,000	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	3,630	207	3,837

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③								
事業実施内容（R6）	①U-10フットサル大会は中止となったが、鳴門ウチノ海総合公園季節イベントは8月にわくわく夏パーク、12月にわくわく冬パークを実施。 ②七夕まつり、パークセンターギャラリーは「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」と連携して実施。							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位	
	活動（イベント）への参加人数	9,761	8,548	10,000	10,000	10,000	人	
	目標達成率(実績/目標)		85.5	－	－	－	%	

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算 ※令和4年度からの繰越額を含む	令和6年度決算			令和7年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	3,683,006	0	3,803,574	3,803,574	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	3,683,006	0	3,803,574	3,803,574	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

事業③	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	活動（イベント）への参加人数		成果指標に対する所見	成果指標としては昨年より若干下がっているものの、大型イベントの実施により概ねの目標達成ができた。今後も子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントの実施を模索していく。
	目標	10,000	人		
	実績	8,548	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業③					
課題	鳴門ウチノ海総合公園の活用を推進するためには、利用者ニーズへの適切な対応が公園の利用増につながるため、モニタリングを通じて利用者ニーズの把握・分析を行うとともに、「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」の意見も聞きながら、業務改善や新たな企画を立案していく必要がある。 また、イベントを開催するにあたっては、事故やけがをしないように十分に注意をはらうと共に、公園施設の日常点検等を実施して、安全管理の強化に努め、事故防止を徹底することが重要である。 なお、令和8年度以降の指定管理について、県の動向も注視しながら検討を進める。				
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和7年度	状況に合わせたイベントを実施するとともに、子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントを模索していく。 令和8年度以降の指定管理について、県の動向も注視しながら検討を進める。			
	令和8年度	状況に合わせたイベントを実施するとともに、子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントを模索していく。			

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.16**

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

事業④

事業名	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	**担当部署**	企業局 水道企画課・水道事業課
実施方針	水道事業の根幹となる浄水場を、南海トラフ地震等に備えた防災対策を講じる必要があることから、下記の方針のもと整備を実施 ① 鳴門市浄水場を耐震性のある災害に強い施設に更新 ② 老朽化が進む浄水場の更新を、北島町と共同で実施	**事業費推移（千円）**	令和6年度 3,457,777 令和7年度 1,708,267 令和8年度 1,442,550
事業内容（R6）	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ① 整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式） 主な整備内容は、浄水処理棟などの躯体工事、機械・電気設備工事など ② 整備事業の施工監理業務 ※ 物価上昇等に伴う債務負担行為限度額（追加分）として１２億円（令和7年度～令和8年度）を設定		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
浄水場の更新	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	3,457,777	0	3,457,777

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業④		
事業実施内容（R6）	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ① 整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式） 主な整備内容は、浄水処理棟などの躯体工事、機械・電気設備工事など ② 整備事業の施工監理業務 ※ 物価上昇等に伴う債務負担行為限度額（追加分）として12億円（令和7年度～令和8年度）を設定	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	浄水場の更新	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	-	
	目標達成率(実績/目標)		―	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	2,565,733,500	0	3,457,776,300	3,457,776,300	0
財源内訳	国庫支出金	515,054,000	0	861,472,000	861,472,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	650,300,000	0	876,300,000	876,300,000	0
	その他	1,400,134,800	0	1,719,586,400	1,719,586,400	0
	一般財源	244,700	0	417,900	417,900	0

◎評価（CHECK）

事業④	今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	浄水場の更新	成果指標に対する所見	建設工事を当初の計画どおりに進捗
	目標	建設工事等の実施		
	実績	建設工事等の実施		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業④		
課題	現施設を稼働しながら新施設を建設（複雑な工程、限られた敷地活用） 工期の遵守（施工時期の制限など） 令和7年度下半期に試運転を実施（新浄水場の機能確認） 供用開始後の共同浄水場の維持管理（北島町と共同で運転管理）	
今後の方向性	□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式）を実施 ②整備事業の施工監理業務
	令和8年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式）を実施 令和8年4月に共同浄水場を供用開始 ②整備事業の施工監理業務

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.17**

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

事業⑤

事業名	公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業	**担当部署**	都市建設部 下水道課
実施方針	公共下水道整備（汚水） ①下水道管渠整備の推進 公共下水道整備（雨水） ②災害の未然防止に向けた施設の耐震・耐津波化 ③ストックマネジメント計画に基づいた適正な維持管理 合併処理浄化槽普及促進事業 ④合併処理浄化槽への転換促進	**事業費推移（千円）**	令和6年度：536,954 令和7年度：536,954 令和8年度：536,954
事業内容（R6）	公共下水道整備（汚水） ①下水道管渠整備の推進 ・第3期事業計画区域の整備の推進 ・供用開始区域拡大による下水道普及率の向上 公共下水道整備（雨水） ②施設の耐震・耐津波化 ・ポンプ場施設の耐震・耐津波化対策事業の実施 ③ストックマネジメント計画による維持管理 ・ストックマネジメント計画に基づくポンプ場および管渠の長寿命化対策の実施 合併処理浄化槽普及促進事業 ④合併処理浄化槽への転換促進 ・合併処理浄化槽への転換補助の実施		

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	下水道普及率	11.6	12.0	12.6	13.1	13.7	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	536,954	276,767	813,721

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業⑤

事業実施内容（R6）

【1】汚水下水道事業
①国庫補助金（社会資本整備総合交付金）を活用し、第3期事業区域の管渠整備に取り組んだ
【2】雨水下水道事業
②国庫補助金（社会資本整備総合交付金）を活用し、ストックマネジメント計画に基づく管渠の老朽化対策に取り組んだ
③ポンプ場施設の耐震・対津波化を実施するとともに適宜修繕を行い機能維持に努めた
④雨水出水浸水想定区域図を策定し、ソフト面での浸水対策を実施した。
【3】合併処理浄化槽普及促進事業
⑤接続促進キャンペーンを継続し、転換事業を推進した
⑥パンフレットやウェブサイトを利用した転換事業の普及や、県と連携した出前授業などによる啓発活動を行った

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
下水道普及率	11.8	12.1	13.1	13.7	14.3	%
目標達成率(実績/目標)		96.0	―	―	―	%

事業費推移（円）

年度		令和5年度決算 ※令和4年度からの繰越額を含む	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
計		529,270,308	276,664,300	181,100,299	457,764,599	353,640,000
財源内訳	国庫支出金	202,910,350	133,042,300	47,907,900	180,950,200	165,834,500
	県支出金	5,850,000	0	6,334,000	6,334,000	0
	地方債	250,700,000	75,100,000	67,500,000	142,600,000	183,800,000
	その他	35,489,679	0	17,550,500	17,550,500	0
	一般財源	34,320,279	68,522,000	41,807,899	110,329,899	4,005,500

◎評価（CHECK）

事業⑤

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価

指標名	下水道普及率	
目標	12.6	%
実績	12.1	%
評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見

一部事業が繰越となったが、下水道普及率の達成状況からB評価とした

◎今後の方向性(ACTION)

事業⑤

課題

【1】汚水下水道事業
事業を効率的かつ効果的に実施するために国庫補助金等の財源確保。資材費等の高騰。
【2】雨水下水道事業
耐震化及び老朽化対策を優先順位を付けて実施するとともに、現施設の機能維持を行う。資材費等の高騰。
【3】合併処理浄化槽普及促進事業
転換には個人負担が伴うほか設置スペースの確保も必要となる。また水環境に対する理解向上と補助制度等の周知が重要。

今後の方向性

☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容

令和7年度	【1】汚水下水道事業 事業計画や国庫補助の内示額を基準とし、第3期事業区域の整備を進めるとともに、第4期事業の設計を行う。 【2】雨水下水道事業 全国特別重点調査を速やかに行うともに、優先度の高い施設から耐震化及び老朽化対策を実施する。 【3】合併処理浄化槽普及促進事業 普及啓発活動を行うとともに、補助金を交付するなど合併処理浄化槽への転換を進める
令和8年度	【1】汚水下水道事業 事業計画や国庫補助の内示額を基準とし、第3期事業区域及び第4期事業区域の整備を進める。 【2】雨水下水道事業 優先度の高い施設から耐震化や老朽化対策を実施するとともに、災害の未然防止や施設の適正な維持管理を行う。 【3】合併処理浄化槽普及促進事業 水環境の改善を目的とした、合併処理浄化槽の転換や普及啓発活動に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.18**

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	4	移住・定住の促進

めざす姿	令和7年度までを「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置付け、「子どもファースト」の視点から各種施策を積極的かつ包括的に推進し、県内随一の子育て応援都市と子育て世代の定住人口の確保をめざします。また、移住を希望する人に対し、移住交流支援センターを中心としたワンストップ支援体制のもと、将来的な移住・定住を推進します。 さらに定住に関しては、若年層や子育て世帯へのアプローチを強化し、将来のまちづくりに欠かせない世代の流出を抑制していきます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	移住交流促進事業	**担当部署**	産業振興部 商工政策課
実施方針	①「移住交流支援センター」等における移住相談業務の実施 ②ウェブメディアの積極的な活用による若年層に向けた情報発信 ③「半農半X」「移住起業」の推進など、移住交流促進に向けたブランディング ④「移住交流PR大使」との連携	**事業費推移（千円）**	令和6年度 9,261 令和7年度 9,261 令和8年度 9,261
事業内容（R6）	①「移住交流支援センター」等における移住相談業務の実施 ・移住希望者に対してワンストップ窓口により、暮らしの情報や各種支援制度などを案内 ・徳島県等が主催する移住相談会に参加 ②ウェブメディアの積極的な活用による若年層に向けた情報発信 ・「移住交流PR大使」との連携 ・移住系大手民間サイト等とのメディアミックスなど、移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」での情報発信 ③「半農半X」「移住起業」の推進など、移住交流促進に向けたブランディング ・2週間程度の農業アルバイトを体験する「半農半X」推進シェアハウス事業を年間を通して実施 ・移住起業アカデミー「NARUTO BOOT CAMP」の実施 ④鳴門教育大学職員宿舎の有効活用 ・お試し居住やUIJターンインターンシップ、スタートアップ支援など、移住交流促進・関係人口拡大に向けた有効活用		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
移住者数（転入者アンケート集計数）	356	360	370	380	390	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	9,261	△50	9,211

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	・「移住交流支援センター」において、暮らしの情報や各種支援制度の案内など、移住希望者の相談業務を実施した。 ・「おいでや！いなか暮らしフェア2024」をはじめ、各種移住相談会に参加した。 ・全国から参加者を募集し、2週間の農業体験を行う「半農半X」推進シェアハウス事業について、これまでの「鳴門らっきょ編」「なると金時編」に加え、「いちご編」を実施した。 ・「（株）おてつたび」と自治体としては初となる連携協定を締結し、新たにホテルなど観光業での受け入れを開始した。 ・オンライン講座や本市での短期合宿を行う移住起業アカデミー「NARUTO BOOT CAMP 2024」を開催した。 ・「移住交流PR大使」である里崎智也氏と連携し、氏のSNSや動画での情報発信を通じて本市の魅力をPRした。 ・移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」をはじめ、WEBメディアを積極的に活用し、情報発信を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	移住者数（転入者アンケート集計数）	453	703	470	480	490	人
	目標達成率(実績/目標)		190.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算			令和7年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	4,817,097	0	5,530,721	5,530,721	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	450,000	0	450,000	450,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	155,000	0	149,000	149,000	0
	一般財源	4,212,097	0	4,931,721	4,931,721	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	移住者数（転入者アンケート集計数）		成果指標に対する所見	「半農半X」の推進によるブランディングがすすむとともに、WEBメディアを積極的に活用した情報発信により、目標を達成できた。
	目標	370	人		
	実績	703	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	移住のメインターゲットとなる20代～30代の若年層へのアプローチには、WEBメディアを活用した情報発信が有効であり、移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」の更なる認知拡大が重要である。 「半農半X」推進シェアハウス事業は、参加者・受け入れ農家ともに満足度の高い事業となっているが、農業や観光業だけでなく、医療・介護・保育などの福祉関連や製造業・サービス業など、幅広い業種で受け入れを拡大し、移住交流の促進・関係人口創出と合わせて、市内事業所の人手不足解消につなげる必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	・「移住交流支援センター」における移住相談業務の実施、徳島県等が主催する移住相談会への参加 ・「移住交流PR大使」との連携や移住系大手民間サイト等とのメディアミックスなど、移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」での積極的な情報発信 ・「半農半X」推進シェアハウス事業及び移住起業アカデミー「NARUTO BOOT CAMP」の実施 ・「(株)おてつたび」と連携したUIJインターンシップ事業の実施
	令和8年度	・前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.19**

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	4	移住・定住の促進

めざす姿	令和7年度までを「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置付け、「子どもファースト」の視点から各種施策を積極的かつ包括的に推進し、県内随一の子育て応援都市と子育て世代の定住人口の確保をめざします。また、移住を希望する人に対し、移住交流支援センターを中心としたワンストップ支援体制のもと、将来的な移住・定住を推進します。 さらに定住に関しては、若年層や子育て世帯へのアプローチを強化し、将来のまちづくりに欠かせない世代の流出を抑制していきます。

◎事業概要（PLAN）

事業②

事業名	なると まるごと子育て応援パッケージ事業（再掲）	**担当部署**	こども未来創造部 子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター、健康福祉部 健康増進課・社会福祉課、企画総務部 戦略企画課、教育委員会 教育総務課・学校教育課、産業振興部 商工政策課
実施方針	令和4年度から7年度までの4年間を「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置づけ、出会い・結婚・新生活、妊娠・出産、就学前から高校、住宅取得の各ステージの子育て世代を包括的にサポートする「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」をスタートしています。 本市が県内随一の子育て応援都市に生まれ変わり、子育て世代の定住人口の確保を実現していくための切り札として、強力に推進していきます。	**事業費推移（千円）**	令和6年度：350,258 令和7年度：318,598 令和8年度：
事業内容（R6）	**①住宅取得** ・なると定住促進住宅取得補助金 **②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産** ・地域婚活支援事業補助金　・地域婚活支援重点事業　・なると結婚新生活支援補助金　・なると新婚世帯家賃補助金 ・結婚応援シンポジウム　・結婚支援アイデアコンテスト　・赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト） ・子育て世代のライフプランニング応援事業　・新生児出産祝い金　・不育症治療支援事業　・多胎妊婦健康診査支援事業 ・妊娠判定受診費用助成事業　・不妊治療費助成事業　・葉酸摂取サポート事業 **③就学前・小学生・中学生・高校生など** ・鳴門市版児童手当特例給付事業　・保育料無償化事業　・在宅児応援おむつ粉ミルク等無償配布事業　・乳幼児ねんねケア事業 ・就学前の障がい児発達支援無償化事業　・病児・病後児保育広域利用助成事業　・ファミリーサポートセンター利用料助成事業 ・小中学校等入学祝い金　・新1年生ランドセル無償化事業　・市内企業おしごと体験事業　・インフルエンザ予防接種費助成事業 ・中3生応援給食費無償化事業　・子育て応援手当事業　・高校生等医療費助成事業　・鳴門市奨学金制度 **④子育て中** ・ママのための学び舎事業”ママビヤ”		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
出生児童数	250	196	270	300		人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	350,258	7,921	358,179

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
	事業実施内容（R6）	①住宅取得　・なると定住促進住宅取得補助金（79世帯） ②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産 ・地域婚活支援事業補助金（2件・40名参加）・地域婚活支援重点事業（1件・24名参加）・なると結婚新生活スタート支援補助金(41世帯）・なると新婚世帯家賃補助金（80世帯）・結婚応援セミナー（70名）・結婚支援アイデアコンテスト（62件）・赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト）2回実施・254名参加・子育て世代のライフプランニング応援事業（3回実施・256名参加）・新生児出産祝い金（給付率100%・198名）・不育症治療支援事業（のべ4名）・多胎妊婦健康診査支援事業（0）・妊娠判定受診費用助成事業（のべ4名）・不妊治療費助成事業（のべ69名）・葉酸摂取サポート事業（20名） ③就学前・小学生・中学生・高校生など ・鳴門市版児童手当特例給付事業（67名）・保育料無償化事業（のべ1,229月分）・おむつ粉ミルク等無償配布事業（給付率97.6%・対象335名のうち324名）・乳幼児ねんねケア事業（利用者26名）・就学前の障がい児発達支援無償化事業（のべ16名）・病児・病後児保育広域利用助成事業（のべ45名）・ファミリーサポートセンター利用料助成事業（229名）・小中学校等入学祝い金（給付率97.6%・対象702名のうち685名）・新1年生ランドセル無償化事業（配布率93.8%・対象352名のうち331名）・市内企業おしごと体験事業（102名）・インフルエンザ予防接種費助成事業（361名）・中3生応援給食費無償化事業（のべ4,267名）・子育て応援手当事業（給付率97.1%・対象1,339名のうち1,300名）・高校生等医療費助成事業（0）・鳴門市奨学金制度（44名） ④子育て中・ママのための学び舎事業”ママビヤ”（23名参加）

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	出生児童数	199	213	240	240	240	人
	目標達成率(実績/目標)		78.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	304,501,241	0	321,664,443	321,664,443	0
財源内訳	国庫支出金	1,440,000	0	3,883,000	3,883,000	0
財源内訳	県支出金	0	0	1,348,000	1,348,000	0
財源内訳	地方債	0	0	0	0	0
財源内訳	その他	45,050,000	0	49,034,310	49,034,310	0
財源内訳	一般財源	258,011,241	0	267,399,133	267,399,133	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	出生児童数		成果指標に対する所見	パッケージ事業実施後、少子化・晩婚化等による出生数の減少傾向は少しずつ回復傾向にあるとともに、子育て世帯からも各施策に対する高い評価を得ているが、今後も現状の課題に即した施策展開が求められる。
	目標	270	人		
	実績	213	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
	課題	給付金事業は9割を超える高い給付率を達成しているほか、その他の事業においても、子育て世帯へのアンケート調査結果によると一定の高い評価を得ており市民満足度の向上がみられる。しかし、依然として続く若者の転出超過等による人口減少や未婚・晩婚化の進展等による出生数減少などの重要な課題を解決するため、対象者のニーズを把握し、各施策の効果検証及び見直し・改善等を図る必要がある。また、ターゲット層へ的確に届くよう、周知広報やPRについて、その手法の検討や工夫にも注力する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	令和6年度事業に下記事業を追加・拡充。 【追加】①一期一縁プロジェクト（6年度に実施した結婚支援アイデアコンテストの受賞アイデアを事業化）②保育士人材確保推進事業（奨学金返還助成） 【拡充】①不妊治療費助成事業（生殖補助医療・一般不妊治療費の無償化、先進医療も助成対象に拡充）
	令和8年度	これまで続けてきた切れ目のない子育て支援施策を継続するとともに、長期的な視点のもと、各事業の効果検証等を図り、庁内関係部署と連携しながら、現状の課題に即した施策展開を図る。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.20**

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	5	環境にやさしいまちづくり

めざす姿	市民・事業者・行政が一体となった地球温暖化防止対策や、環境保全意識の醸成などに取り組むとともに、豊かな自然環境の保全、公害など環境汚染の対策に努めます。また、ごみの減量化を推進し、家庭や事業所から発生する廃棄物の分別徹底や、適正処理の促進に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	環境保全推進事業	**担当部署**	環境共生部 環境政策課・クリーンセンター廃棄物対策課
実施方針	①水質浄化対策 ②環境保全意識の醸成 ③地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定 ④特定外来生物の防除 ⑤公害や環境に関する苦情に関する対応	**事業費推移（千円）**	令和6年度：25,283 令和7年度：10,433 令和8年度：10,433
事業内容（R6）	①水質浄化対策 ・各地区へのEM活性液培養資材の提供と市内各所での水質調査の実施 ②環境保全意識の醸成 ・緑のカーテン作成用ゴーヤ苗の希望者への配布と環境学習館での各種講座の開催 ③地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定 ・地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定、地方公共団体実行計画（事務事業編）及び鳴門市環境基本計画の見直し ④特定外来生物の防除 ・アルゼンチンアリ、ナガエツルノゲイトウ、セアカゴケグモ等の防除 ⑤公害や環境に関する苦情に関する対応 ・電話対応や現地訪問による指導等		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	17,760	20,023	20,023	20,023	－	t

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	25,283	△273	25,010

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①水質浄化対策 ・各地区へのEM活性液培養資材の提供と市内各所での水質調査の実施 ②環境保全意識の醸成 ・緑のカーテン作成用ゴーヤ苗の希望者への配布と環境学習館での各種講座の開催 ③地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定 ・地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定、地方公共団体実行計画（事務事業編）及び鳴門市環境基本計画の見直し ④特定外来生物の防除 ・アルゼンチンアリ、ナガエツルノゲイトウ、セアカゴケグモ等の防除 ⑤公害や環境に関する苦情に関する対応 ・電話対応や現地訪問による指導等	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	17,059	17,529	14,999	14,210	13,452	t
	目標達成率(実績/目標)		114.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	19,395,082	0	22,484,127	22,484,127	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	10,110,000	0	1,709,000	1,709,000	0
	一般財源	9,285,082	0	20,775,127	20,775,127	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）		成果指標に対する所見	温室効果ガス排出量を目標値以下に抑えることができた。
	目標	20,023	t		
	実績	17,529	t		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	①水質浄化対策 ・事業による効果測定が困難である。 ②環境保全意識の醸成 ・コロナ禍で減少した参加者の増加を図る必要がある。 ③地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定 ・温室効果ガス排出量の抑制に向けた効果的な取組みの検討が必要である。 ④特定外来生物の防除 ・一度侵入されると根絶は困難である。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	①水質浄化対策：取り組みを実施する地区増加に向けた働きかけや周知啓発を推進する。 ②環境保全意識の醸成：新規講座実施や内容の見直しを検討し、参加者の増加を図る。 ③地方公共団体実行計画（区域施策編）の推進：再生可能エネルギー設備等普及促進事業補助金事業を実施し、再生可能エネルギー導入目標の達成に向けて取り組む。 ④特定外来生物の防除：生息範囲が広がらないよう防除活動に努める。
	令和8年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.21**

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	5	環境にやさしいまちづくり

めざす姿	市民・事業者・行政が一体となった地球温暖化防止対策や、環境保全意識の醸成などに取り組むとともに、豊かな自然環境の保全、公害など環境汚染の対策に努めます。また、ごみの減量化を推進し、家庭や事業所から発生する廃棄物の分別徹底や、適正処理の促進に取り組みます。

事業②

事業名	ごみ対策事業	**担当部署**	環境共生部 環境政策課・クリーンセンター廃棄物対策課		
実施方針	①ごみの減量や再資源化を図る ②ごみの発生抑制や減量、再利用、再資源化について啓発を行う	**事業費推移（千円）**	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			86,418	86,418	86,418
事業内容（R6）	①ごみ減量対策 ・資源ごみ回収団体の支援、回収量に応じた報奨金交付 ・雑がみ回収を推進するため資源ごみ回収団体に雑がみ回収用紙袋を配布 ・EMボカシの無料交付 ・コンポストの斡旋 ・電気式生ごみ処理機の購入補助 ・指定ごみ袋制度の実施 ②啓発 ・小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布 ・ごみ減量スローガンコンクールを実施 ・オリジナルマイバック作成事業をPR				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）	17,346	17,051	16,729	16,420	16,092	t

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	86,418	0	86,418

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	・資源ごみの回収促進を図るため、資源ごみ回収団体に対して雑がみ回収専用の手提げ袋と缶類を回収するためのビニール袋を提供するとともに、指定品目（新聞・雑誌・段ボール・雑がみ・スチール缶・アルミ缶・古布類）の回収量に応じた報奨金（1kgあたり5円）を交付した。 ・EMボカシ131個の無料交付、コンポスト28個の斡旋、電気式生ごみ処理機18基の購入補助及び5基の貸出しを実施し、生ごみ減量を推進した。 ・市のごみ処理の現状やごみ減量などについてまとめた社会科副読本「くらしとごみ」を、市内の小学4年生に配布するとともに、ごみ減量スローガンコンクールを実施し、児童がごみに関する諸問題に関心を持ち、知識を身につける機会とした。 ・民間事業者と連携し、ペットボトルの水平リサイクルの実施や不要品のリユースに向けた啓発に取り組んだ。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）	16,890	16,269	16,420	16,092	15,776	t
	目標達成率(実績/目標)		102.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	69,104,313	0	72,088,690	72,088,690	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	69,104,313	0	72,088,690	72,088,690	0
	一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）		成果指標に対する所見	継続したごみ減量施策の実施と啓発により、ごみ排出量を目標値以下に抑えるとともに、資源の有効活用につなげることができた。
	目標	16,729	t		
	実績	16,269	t		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	資源ごみの回収について、集団回収団体の高齢化・少子化等による活動の縮小化や、店頭回収を実施している小売店の閉鎖の影響も踏まえ、総回収量が減少する見込みであるため、対策を講じる必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	今後も継続して4Rの推進・啓発の実施によるごみの減量に取り組むとともに、資源ごみ回収に向けた施策についての検討を進める。
	令和8年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.22**

◎基本情報

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	1	災害などに強いまちづくり

めざす姿	災害リスクに応じて、ハード・ソフト両面で計画的な整備を進めるとともに、地域の防災力向上や災害に備えた体制の充実など、防災対策の強化に努めます。 また、様々な危機事象から市民を守るため、フェーズフリーの考えのもと、日頃からおのずと災害に備えることができるまちづくりの実現に向けて地域全体の強靭化を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	災害対策事業	**担当部署**	危機管理局
実施方針	①防災意識の高揚、災害対策の普及啓発 ②自主防災活動の活性化 ③防災用資機材・備蓄物等の整備	**事業費推移（千円）**	令和6年度 16,818 令和7年度 16,818 令和8年度 14,431
事業内容（R6）	①防災意識の高揚、災害対策の普及啓発 ・地域・関係機関等と連携した実践的な訓練等（研修含む）の実施 ・出前講座等を通じた防災学習の推進 ②自主防災活動の活性化 ・地域防災リーダー（防災士）養成講座の実施 ・自主防災組織活動推進事業助成金の効果的活用の促進 ③防災用資機材・備蓄物等の整備 ・備蓄物資・資機材の点検、更新等 ・ローリングストックの考えに基づく備蓄品の更新等にかかる周知・啓発		

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	防災訓練参加者数	890	1,000	1,000	1,000	1,000	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	16,818	30,000	46,818

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①市民等を対象に防災講演会を開催したほか、まちづくり出前講座や学校での防災授業を実施することにより、防災意識の高揚を図った。また、自主防災会を中心に各地域において防災訓練を実施したほか、11月7日に鳴門ウチノ海総合公園を主会場とした徳島県総合防災訓練において避難所開設・設営訓練や物資・物流訓練を実施し、市および関係機関の発災時の対応能力の向上を図った。 ②組織運営や資器材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図った。また、「自主防災会連絡協議会」では、地域防災活動の充実強化につなげるため、災害情報の周知・啓発を図った。 ③県・市の備蓄目標や役割分担を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に基づき、整備している食糧・保存水・粉ミルクなどについて、賞味期限が近い物資から更新を行った。賞味期限が近づいたアルファ化米、保存水などの備蓄物資は、自主防災会などに配布し、地区での防災訓練に活用した。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	防災訓練参加者数	1,000	1,246	1,300	1,400	1,500	人
	目標達成率(実績/目標)		124.6	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	13,411,230	0	13,998,390	13,998,390	30,000,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	15,000,000
	県支出金	919,000	0	936,000	936,000	0
	地方債	4,800,000	0	0	0	15,000,000
	その他	2,000,000	0	4,284,000	4,284,000	0
	一般財源	5,692,230	0	8,778,390	8,778,390	0

◎評価（CHECK）

事業①					
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	防災訓練参加者数		成果指標に対する所見	フェーズフリーフェスティバルを開催するなど、市から継続的に防災に関する情報提供を行うことで、市民の防災意識の高揚と災害対策の普及啓発を図った。
	目標	1,000	人		
	実績	1,246	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		自主防災会連絡協議会を通じて、各地域の活動内容等の情報交換・共有を図り、さらなる地域の防災力の向上に繋げていく。また、自主防災会の活動低下につながらないよう啓発と支援を続け、防災リーダーの創出と市民の主体的な活動を後押しする必要があるとともに、地域全体の防災意識の高揚を図るために、若年層や女性の視点に立ったアプローチの強化に努める、その他、「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に準じた備蓄物資の配備を行う。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　□ 3.現状維持　☑ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	より実践に即した防災訓練を実施する。また、自主防災組織が行う組織運営や資器材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、活動活性化助成金制度の活用を促し組織活動の推進を図る。また、市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の避難所となる小中学校や福祉避難所の備蓄物資の充実を図る。その他、自助・共助（近助）を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待される防災士の養成者数を増やすとともに、防災士取得者と連携した防災訓練などを実施する。
	令和8年度	より実践に即した防災訓練を実施する。また、自主防災組織が行う組織運営や資器材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、活動活性化助成金制度の活用を促し組織活動の推進を図る。また、市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の避難所となる小中学校や福祉避難所の備蓄物資の充実を図る。その他、自助・共助（近助）を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待される防災士の養成者数を増やすとともに、防災士取得者と連携した防災訓練などを実施する。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.23**

◎基本情報

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	1	災害などに強いまちづくり

めざす姿	災害リスクに応じて、ハード・ソフト両面で計画的な整備を進めるとともに、地域の防災力向上や災害に備えた体制の充実など、防災対策の強化に努めます。 また、様々な危機事象から市民を守るため、フェーズフリーの考えのもと、日頃からおのずと災害に備えることができるまちづくりの実現に向けて地域全体の強靭化を図ります。

事業②

事業名	排水機場・樋門整備事業	**担当部署**	都市建設部 土木課
実施方針	①排水機場長寿命化計画に沿って、計画的な維持管理の実施 ②立岩区画排水機場の長期的な改修計画の実施	**事業費推移（千円）**	令和6年度：273,100 令和7年度：270,000 令和8年度：250,000
事業内容（R6）	①排水機場長寿命化計画に沿って、計画的な維持管理の実施 ・明神第五排水機場長寿命化工事 ・明神第一排水機場長寿命化工事 ・藻塩橋排水機場長寿命化工事 ・弁財天排水機場長寿命化工事 ・立岩区画樋門長寿命化工事 ②立岩区画排水機場の長期的な改修計画の実施 ・立岩区画排水機場詳細設計業務		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
排水機場長寿命化計画に基づく新設・改良・更新率	100	100	100	100	100	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	273,100	120,100	400,400

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	①排水機場長寿命化計画に沿って、計画的な維持管理の実施 ・明神第五排水機場長寿命化工事　水中ポンプ（φ500）製作・据付　N=1基 ・明神第一排水機場長寿命化工事　水中ポンプ（φ500）製作・据付　N=1基 ・藻塩橋排水機場長寿命化工事　水中ポンプ（φ500）製作・据付　N=2基 ・弁財天排水機場長寿命化工事　水中ポンプ（φ500）製作・据付　N=1基 ・立岩区画樋門長寿命化工事　樋門機器更新　N=1箇所 ②立岩区画排水機場の長期的な改修計画の実施 ・立岩区画排水機場詳細設計業務　設計業務　N=1式	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	排水機場長寿命化計画に基づく新設・改良・更新率	50	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算 ※令和4年度からの繰越額を含む	令和6年度決算			令和7年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	136,597,000	108,136,800	247,231,600	355,368,400	24,950,200
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	117,100,000	97,300,000	225,300,000	322,600,000	22,400,000
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	19,497,000	10,836,800	21,931,600	32,768,400	2,550,200

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	排水機場長寿命化計画に基づく新設・改良・更新率		成果指標に対する所見	計画通り事業は実施できている。今後も引き続き、計画的に事業を推進していく。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	排水機場整備には大きな予算が必要となっている。 このため、有効な補助金の活用や新たな補助事業の採択を模索しながら事業を推進していく必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止　□ 2.要改善　□ 3.現状維持　☑ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	排水機場長寿命化計画を基に事業を実施する。 また、立岩区画排水機場の長期的な改良工事を実施する。
	令和8年度	排水機場長寿命化計画を基に事業を実施する。 また、立岩区画排水機場の長期的な改良工事を実施する。

◎基本情報　　**【計画ベース】**　　**No.24**

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	1	災害などに強いまちづくり

めざす姿	災害リスクに応じて、ハード・ソフト両面で計画的な整備を進めるとともに、地域の防災力向上や災害に備えた体制の充実など、防災対策の強化に努めます。 また、様々な危機事象から市民を守るため、フェーズフリーの考えのもと、日頃からおのずと災害に備えることができるまちづくりの実現に向けて地域全体の強靭化を図ります。

事業③

事業名	耐震化・施設整備等推進事業	**担当部署**	企画総務部 特定事業推進課・戦略企画課		
実施方針	＜新庁舎整備事業＞ 「鳴門市新庁舎建設基本計画」に掲げた5つの基本方針の実現に向け、新庁舎の整備を推進する。 ＜文化会館改修事業＞ 令和3年4月から休館している文化会館について、耐震性能の確保や早期の再開を目指した整備を推進する。 ＜（仮称）大麻町総合防災センター＞ 「（仮称）大麻町総合防災センター整備基本計画（案）」に掲げた5つの基本方針の実現に向け、整備を推進する。	**事業費推移（千円）**	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			＜新庁舎整備事業＞ 905,859 ＜文化会館改修事業＞ 210,494 ＜（仮称）大麻町総合防災センター＞ 22,178	＜新庁舎整備事業＞ 未定 ＜文化会館改修事業＞ 未定 ＜（仮称）大麻町総合防災センター＞ 未定	＜文化会館改修事業＞ 未定

事業内容（R6）

＜新庁舎整備事業＞
1-1_旧庁舎等解体工事
1-2_共済会館等解体工事
1-3_旧庁舎及び共済会館等解体工事監理業務
1-4_新庁舎整備事業2期外構工事のうち付帯工事 【債務負担行為：R7】
1-5_新庁舎整備事業2期外構工事のうち付帯工事監理等業務 【債務負担行為：R7】
1-6_旧庁舎等解体工事に伴う近隣家屋等事前調査業務 【債務負担行為：R6】
1-7_新庁舎サイン設計・製作設置業務 【債務負担行為：R6】
1-8_新庁舎引越移転業務 【債務負担行為：R6】
1-9_現庁舎等増田建築アーカイブ事業 【債務負担行為：R6】
1-10_市庁舎総合管理業務 【債務負担行為：R8】

＜文化会館改修事業＞
2-1_文化会館耐震改修事業 【継続費：R8】
2-2_文化会館改修工事監修業務
2-3_文化会館耐震改修工事実施設計CM業務 【債務負担行為：R7】
2-4_文化会館耐震改修工事DB対象事業者選定等CM業務 【債務負担行為：R6】

＜（仮称）大麻町総合防災センター＞
3-1_基本設計業務
3-2_埋蔵文化財試掘確認調査

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
新庁舎の建設	実施設計の策定 工事の着手	新庁舎完成	旧庁舎等解体、 外構工事の着手	旧庁舎等解体、 外構工事完了		
文化会館の改修	耐震調査等の実施	基本設計の策定	実施設計の着手	実施設計の策定 工事の着手	工事完了	
（仮称）大麻町総合防災センター	立地診断調査等の実施	基本計画の策定	基本設計の策定	実施設計・建設工事の着手	建設工事	

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	＜新庁舎整備事業＞ 905,859 ＜文化会館改修事業＞ 210,494 ＜（仮称）大麻町総合防災センター＞22,178	＜新庁舎整備事業＞ （前年度からの繰越額）220,000 ＜文化会館改修事業＞ （前年度からの繰越額）7,600 ＜（仮称）大麻町総合防災センター＞ 0	＜新庁舎整備事業＞ 1,125,859 ＜文化会館改修事業＞ 218,094 ＜（仮称）大麻町総合防災センター＞ 22,178

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③

事業実施内容（R6）

【新庁舎の建設】
新庁舎が令和6年1月に竣工してから什器やサイン、各種設備等の設置等を進め、同年4月には開庁式典及び内覧会等のイベントを開催した。その後、計画通り5月に開庁を迎え、6月には旧庁舎及び共済会館のお別れイベントを開催し、解体工事及び駐車場等の整備に着手した。

【文化会館の改修】
デザインビルド方式での事業者選定を行い、大林組・井上建設・亀井組・香山建築研究所特定建設工事共同企業体と令和6年11月に契約し実施設計に着手した。

【（仮称）大麻町総合防災センター】
基本設計業務に係る公募型プロポーザルを実施し、基本設計業務に着手した。
また、文化財保護法に基づき、建設予定地の埋蔵文化財試掘調査を実施した。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）

指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
新庁舎の建設	新庁舎完成	旧庁舎等解体、外構工事の着手	外構工事完了			
目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）

年度		令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
計		5,068,204,261	201,402,191	558,126,094	759,528,285	181,000,000
財源内訳	国庫支出金	273,532,000	0	40,587,000	40,587,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	4,227,600,000	18,700,000	193,900,000	212,600,000	162,900,000
	その他	373,532,000	0	77,611,000	77,611,000	18,100,000
	一般財源	193,540,261	182,702,191	246,028,094	428,730,285	0

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）

指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
文化会館の改修	基本設計の策定	実施設計の着手	実施設計の策定 耐震改修工事の着手	外構工事の着手 耐震改修工事完了	外構工事完了	
目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）

年度		令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
計		93,558,964	7,600,000	102,580,702	110,180,702	99,920,000
財源内訳	国庫支出金	7,786,000			0	
	県支出金				0	
	地方債			81,200,000	81,200,000	93,800,000
	その他	85,560,000			0	20,000
	一般財源	212,964	7,600,000	21,380,702	28,980,702	6,100,000

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）

指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
（仮称）大麻町総合防災センター	基本計画の策定	基本設計の着手	基本設計完了 実施設計の着手	実施設計・建設工事	建設工事完了	
目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）

年度		令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
計				1,909,052	1,909,052	18,150,000
財源内訳	国庫支出金			0	0	0
	県支出金			0	0	0
	地方債			0	0	0
	その他			0	0	0
	一般財源	0	0	1,909,052	1,909,052	18,150,000

◎評価（CHECK）

	今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
事業③	成果指標に対する評価	指標名	新庁舎の建設		成果指標に対する所見	計画どおり令和6年5月に新庁舎が開庁し、旧庁舎等解体、外構工事に着手した。
		目標	旧庁舎等解体、四構工事の着手			
		実績	旧庁舎等解体、四構工事の着手			
		評価	A:目標を達成できた			
		指標名	文化会館の改修			計画どおり令和6年11月より実施設計に着手した。
		目標	実施設計の着手			
		実績	実施設計の着手			
		評価	A:目標を達成できた			
		指標名	（仮称）大麻町総合防災センター			基本設計に着手したが、関係者との調整に時間を要し令和7年度へ繰り越した。
		目標	基本設計の策定			
		実績	基本設計の着手			
		評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業③	課題	【新庁舎の建設】特になし 【文化会館の改修】特になし 【（仮称）大麻町総合防災センター】特になし				
	今後の方向性		☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.拡充
	↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
	実施内容	令和7年度	【新庁舎の建設】 外構工事完了後、5月から駐車場の使用を開始する。 【文化会館の改修】 実施設計を進め、8月に完了した後、改修工事に着手する。 【（仮称）大麻町総合防災センター】 デザインビルド方式での事業者選定を行い、実施設計業務に着手する。			
		令和8年度	【文化会館の改修】 改修工事を進め、令和9年2月竣工を目指す。 【（仮称）大麻町総合防災センター】 引き続き実施設計を進め、建設工事に着手する。			

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.25**

◎基本情報

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	2	消防・救急体制の充実

めざす姿	火災や自然災害などから市民の生命と財産を守る消防体制の充実を図るとともに、緊急時に迅速かつ的確に対応できる救急救命・救助体制の充実を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	消防・救急体制強化事業	**担当部署**	消防本部 消防総務課・警防課
実施方針	①消防本部（団）車両・資機材整備等を計画的に更新し消防力強化を図る ②消防団安全装備品を計画的に整備し消防団員の安全確保を図る ③新規救急救命士の養成を図る	**事業費推移（千円）**	令和6年度：164,969 令和7年度：2,526 令和8年度：122,526
事業内容（R6）	①消防本部（団）車両・資機材等整備事業 ・災害対応特殊屈折はしご付き消防自動車購入 ・消防分団配備の消防ポンプ車及び小型ポンプ付積載車の状況を踏まえた更新 ②消防団安全装備品整備事業 ・豪雨災害等現場活動を実施するため雨衣を整備 ③新規救急救命士養成事業 ・救急救命九州研修所及び就業前病院研修への出向		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
新規救急救命士数	2	2	1	1	1	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	164,969	2,157	167,126

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①消防本部（団）車両・資機材等整備事業 ・災害対応特殊屈折はしご付き消防自動車の入札を実施し、業者発注も行ったが、能登半島地震の影響で部品供給が滞り繰越となった。 ②消防団安全装備品整備事業 ・消防団員が水害等災害業務に従事する際に着用する雨衣を280着を配布した。 ③新規救急救命士養成事業 ・救急救命九州研修所出向（1名）及び就業前病院研修。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	新規救急救命士数	2	1	2	1	1	人
	目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	34,081,249	0	9,664,936	9,664,936	157,437,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	21,800,000	0	0	0	156,600,000
	その他	3,903,900	0	7,095,550	7,095,550	0
	一般財源	8,377,349	0	2,569,386	2,569,386	837,000

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	新規救急救命士数		成果指標に対する所見	今後も継続して救急救命士を育成していきたい。
	目標	1	人		
	実績	1	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	①消防本部（団）車両・資機材等整備事業 今後多くの車両が法規制によるマイナーチェンジの対象となっており、納期内（単年度）で納入が困難となることが予想されるため関係部局及び業者と緊密な協議を行い早期の入札等が必要となる。 ②消防団安全装備品整備事業 本市消防団の災害対応能力を強化するため、火災・救助用資機材の整備をしていく必要がある。 ③新規救急救命士養成事業 救急需要の増大、活動時間の延伸等、救急活動を取り巻く環境は過酷なものとなっており、救急活動全体の質を向上、救急隊員の負担軽減に繋がる救命士2名乗車体制の構築に向け救急救命士養成事業を拡充する必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止　□ 2.要改善　□ 3.現状維持　☑ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	①消防本部（団）車両・資機材等整備事業 災害対応特殊屈折はしご付き消防自動車の早期導入と運用。 ②消防団安全装備品整備事業 火災対応強化を図るため大型水槽及び簡易水槽を導入し、水災害等で着用する救命胴衣を未配布である分団員へ配布する。 ③新規救急救命士養成事業 救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の向上に努める。
	令和8年度	①消防本部（団）車両・資機材等整備事業 救助工作車更新。 ②消防団安全装備品整備事業 大規模災害時に必要な救助用資機材等の整備を進めていく。 ③新規救急救命士養成事業 救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の向上に努める。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.26**

◎基本情報

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	3	市民安全対策の充実

めざす姿	交通事故を防ぐため、交通安全の啓発活動や交通安全施設の計画的な整備に努めます。 また、複雑・多様化する消費者トラブルなどを防ぐため、情報発信や相談体制の強化に努めます。 身近な生活の不安を感じることなく、市民が安心して暮らせるよう、関係機関と連携しながら対策に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	市民安全対策事業	**担当部署**	市民生活部 市民協働推進課		
実施方針	①交通安全、防犯活動の推進 ②消費生活センターの充実 ③消費者教育の推進	**事業費推移（千円）**	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			19,595	19,595	19,595
事業内容（R6）	①交通安全、防犯活動の推進 ・幅広い世代への交通安全教室の実施 ・警察や関係団体等と連携した交通安全、防犯活動の実施 ②消費生活センターの充実 ・啓発グッズ作成等による消費生活センターの周知 ・全国消費者情報ネットワークシステムや国民生活センター教育研修事業を活用した相談員の資質向上 ③消費者教育の推進 ・啓発グッズやフードポスト等を通じたエシカル消費の周知啓発				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	市内における交通死亡事故件数	0	2	0	0	0	件

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	19,595	0	19,595

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①交通安全、防犯活動の推進 ・交通安全講習を市内の幼小中学校で実施したほか、市内企業等にも出向いて実施した。また、道路交通法のR6年度改正をうけ、自転車運転者に対する罰則規程強化等についても同講習にて周知した。（実施回数102回、参加人数4,460人） ・春と秋の交通安全運動のほか、鳴門警察署の交通・防犯キャンペーンに参加するなど、各関係団体との連携を深めた。 ②消費生活センターの充実 ・消費者行政強化交付金を活用して消費生活センターの周知及び消費者被害防止のための啓発グッズを作製した。 ・高齢者が多く集うイベントや消費生活協力団体に対して配布の協力をしていただき、より効果的にPR活動を行った。 ・国民生活センター教育研修事業等の研修について、相談力の向上のため、消費生活相談員が積極的に参加した。（計12回） ③消費者教育の推進 ・啓発グッズ作製のほか、出張フードポストの実施など積極的に食品ロス削減の推進に努めた（食材の年間提供点数2,157点）	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	市内における交通死亡事故件数	2	1	0	0	0	件
	目標達成率(実績/目標)		0.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	18,593,927	0	18,675,223	18,675,223	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	1,911,800	0	1,335,000	1,335,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	16,682,127	0	17,340,223	17,340,223	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	市内における交通死亡事故件数	成果指標に対する所見	関係機関・団体等と連携し、交通安全啓発と意識の高揚に努める。
	目標	0 件		
	実績	1 件		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		・市内での交通死亡事故ゼロを目指し、関係機関と連携して効果的な交通安全啓発・周知に努めるとともに、道路交通法の改正等を注視し、適正な施策を実施する必要がある。 ・複雑化する消費者トラブルに対応するべく、、研修等への参加を通じて相談員のレベルアップを図る必要がある。 ・消費者トラブルを未然に防止するため、市消費生活センターと消費生活協力団体等の各関係機関との連携や情報共有を継続・強化する必要がある。 ・消費者教育の推進・拡充を図るため、地域での出前講座や広報なるとや市公式ウエブサイト 等を活用するなど、理解と取り組みを促進する必要がある。
実施内容	令和7年度	・市内の交通死亡事故ゼロを達成するため、関係機関と連携し、交通安全講習やキャンペーン等を継続するほか、交通事故の現状の把握に努め、効果的な対策を講じていく。 ・見守りネットワークに参画している消費生活協力団体とのネットワークを生かし、特に高齢者を対象とした消費者被害防止のための啓発活動及び消費生活センターの周知をより一層強化する。 ・消費者相談員のレベルアップを図るとともに、市民に対しても出前講座等を通じて消費者教育を推進する。
	令和8年度	令和7年度と同様。

今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充
	☐	☐	☑	☐

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.27

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	1	健康づくりの推進と医療体制の確保

めざす姿	各種健診等の実施、食生活や運動習慣の改善など、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを推進するとともに、市内医療機関の連携や市中核病院の機能充実を図り、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	特定健診・特定保健指導事業	担当部署	健康福祉部 保険課
実施方針	①特定健康診査・特定保健指導の実施 ②ナッジ理論を活用した受診勧奨の実施 ③みなし健診（特定健診情報提供）事業の実施	事業費推移（千円）	令和6年度：67,883 令和7年度：67,883 令和8年度：67,883
事業内容（R6）	①特定健康診査・特定保健指導の実施 対象者に受診券を送付する。また、受診者でﾒﾀﾎﾞﾘｯｸｼﾝﾄﾞﾛｰﾑに該当する又はその予備群の者に対して、特定保健指導を行う。 ②ナッジ理論を活用した受診勧奨の実施 行動経済学（ナッジ理論）の観点から、未受診者の特性に合わせて、特定健康診査への興味や受診意欲を持ってもらえるような案内文書を送付し、受診勧奨を行う。 ③みなし健診事業 生活習慣病などにより治療中の特定健診未受診者に対し、本人の同意のもと、医療機関から検査データの提供を受け、特定健診結果のデータとして活用する。また、みなし健診事業に協力した被保険者に金券を交付することで、利用者の拡大を図る。		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
特定健康診査受診率	38.4	40	45	50	55	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	67,883	0	67,883

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	・対象者に特定健康診査受診券を送付した。また、受診者でメタボリックシンドロームに該当する又はその予備群の方に対して、特定保健指導を行った。 ・みなし健診事業について、対象者を抽出し勧奨通知を送付するとともに、みなし健診協力者に対してはインセンティブとして金券（Quoカード500円分）を進呈した。 ・受診勧奨事業では、過去の受診状況や通院状況等から7つのグループに分類し、勧奨資材を作成した。通知発送後に架電による勧奨も行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	特定健康診査受診率	38.8	40.4	50	55	60	%
	目標達成率(実績/目標)		89.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	39,565,031	0	39,620,945	39,620,945	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	20,275,000	0	21,751,000	21,751,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	19,290,031	0	17,869,945	17,869,945	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	特定健康診査受診率		成果指標に対する所見	受診率は、増加傾向であるが目標値には届いていない状況である。みなし健診の周知を引き続き行うとともに、より効果的な方策を今後も検討する。
	目標	45.0	%		
	実績	40.4	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		特定健診の実施は、各医療保険者には義務付けられているが、被保険者にとって受診は任意である。生活習慣病は初期では自覚症状がないことや、すでに生活習慣病治療中であっても健診対象となることから、受診の必要性が理解されにくい。また、健診対象者の過去の受診歴や通院状況に応じたアプローチを行い、健康意識の醸成や健診受診に向けた行動変容を促す必要がある。治療中の方に対するみなし健診事業は、鳴門市医師会との連携のもと、引き続き制度周知に努める。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	特定健診の受診状況に関するアンケートを実施し、未受診の理由を収集することで現状把握を行う。 また、みなし健診の実施に一部電子申請を取り入れ、被保険者・医療機関双方の利便性の向上を図る。
	令和8年度	これまで実施した受診勧奨の手法、みなし健診の周知や実施方法について効果検証を行い、受診率の向上に繋げる。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.28**

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	1	健康づくりの推進と医療体制の確保

めざす姿	各種健診等の実施、食生活や運動習慣の改善など、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを推進するとともに、市内医療機関の連携や市中核病院の機能充実を図り、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。

事業②

事業名	市民の健康づくり対策事業	**担当部署**	健康福祉部 健康増進課
実施方針	「健康なると21（第三次）」を推進し、市民の健康の維持・向上に取り組む	**事業費推移（千円）**	令和6年度 26,168 / 令和7年度 26,168 / 令和8年度 26,168
事業内容（R6）	健康に対する各意識レベルに応じた事業内容や、ライフステージ・年代別特徴・ライフコースを意識した取組、行動経済学（ナッジ理論）を活用したより効果の高い周知方法の検討など、「健康なると21（第三次）」計画の取組を推進。また、かかりつけ医や関係機関と連携したがん検診の受診勧奨や、無料クーポン券の配布、節目年齢や継続受診のない方への受診勧奨等を継続。		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
平均自立期間（要介護2以上になった年齢）（国保データベースより抽出）	男性79.6 女性84.0	男性79.4 女性84.2	男性80.0 女性84.3	男性80.0 女性84.3	男性80.0 女性84.3	歳

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	26,168	3,617	29,785

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	①健康教育、健康相談、栄養改善事業等の各保健事業を通して「健康なると21（第三次）」の取組を行った。また、かかりつけ医や関係機関と連携し、リーフレットの配布など、がん検診の受診勧奨や、無料クーポン券の配布、節目年齢や一定の年齢の方への検診票の送付等の他、メディアとタイアップした受診勧奨を行った。 ②自殺予防週間や対策強化月間にあわせた市民対象キャンペーンや心の健康づくりをテーマに講演会を開催した。 ③「健康なると21（第三次）」計画の推進にあたり、健康に対する無関心層への取り組みとして、イベント時において、InBody（体組成測定器）を活用した健康測定ブースを設置し、健康意識の向上を図った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	平均自立期間（要介護2以上になった年齢）（国保データベースより抽出）	男性79.6 女性83.4	男性79.7 女性83.6	男性80.0 女性85.0	男性80.0 女性85.0	男性80.0 女性85.0	歳
	目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	33,424,945	0	29,178,495	29,178,495	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	1,086,000	0	870,000	870,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	200,900	0	192,500	192,500	0
	一般財源	32,138,045	0	28,115,995	28,115,995	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	平均自立期間（要介護2以上になった年齢）（国保データベースより抽出）	成果指標に対する所見	男女ともに目標に届かなかったものの、前年度を上回る数値となった
	目標	男性80.0女性84.3　歳		
	実績	男性79.7女性83.6　歳		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	若い世代への情報発信や働きかけができる機会の確保に向けて、イベントや職域との連携など、いろいろな場を活用しながら、若い時からの健康に対する意識の醸成が必要である。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	関係機関や企業と連携した「健康なると21（第三次）」計画の推進
	令和8年度	令和7年度に同じ

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.29**

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	1	健康づくりの推進と医療体制の確保

めざす姿	各種健診等の実施、食生活や運動習慣の改善など、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを推進するとともに、市内医療機関の連携や市中核病院の機能充実を図り、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。

事業③

事業名	地域医療確保事業	**担当部署**	健康福祉部 健康増進課		
実施方針	「鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例」の推進により、市民の健康度の向上や地域医療に対する理解を深める	**事業費推移（千円）**	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			54,622	14,622	14,622
事業内容（R6）	①夜間休日当番医制度の維持および二次救急の確保のため、鳴門市救急医療対策事業・救急医療対策在宅当番医制運営事業の継続実施 ②救急電話相談の周知や小児救急に関するリーフレットの配布、広報誌での記事掲載等救急医療の適正医療に関する啓発の継続実施 ③条例推進のために、条例推進協議会および庁内推進会議を開催・運営 ④医師会等関係機関からなる鳴門市医療懇話会の開催 ⑤徳島県鳴門病院との連携（鳴門病院との連携事業、鳴門市地域医療人材確保事業補助金）				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	電話救急相談利用件数	741	740	750	750	750	件

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	54,622	38,320	92,942

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③		
事業実施内容（R6）	①夜間休日当番医制度の維持および二次救急の確保のため、鳴門市救急医療対策事業・救急医療対策在宅当番医制運営事業を継続実施した ②救急電話相談の周知や小児救急に関するリーフレットの配布、広報誌での記事掲載等救急医療の適正医療に関する啓発について継続実施した ③条例推進のために、条例推進協議会および庁内推進会議を開催・運営。会議時にInBody等による健康チェックの体験コーナーを設置し、組織を通じた活用の周知を行った ④医師会等関係機関からなる鳴門市医療懇話会を開催し、夜間休日当番の現状について共有し、体制の継続に向けて協議を行った ⑤徳島県鳴門病院との連携（鳴門病院との連携事業の実施、鳴門市地域医療人材確保事業補助金の運用）を図った ⑥電気料金や食材費をはじめとした物価高騰の影響を受けている医療機関等に対し、物価高騰対策支援を行った	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	電話救急相談利用件数	1,155	1,108	800	800	800	件
	目標達成率(実績/目標)		147.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	50,650,246	0	58,588,828	58,588,828	0
財源内訳	国庫支出金	35,060,000	0	35,360,000	35,360,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	9,244,000	9,244,000	0
	一般財源	15,590,246	0	13,984,828	13,984,828	0

◎評価（CHECK）

事業③	今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	電話救急相談利用件数	成果指標に対する所見	昨年度同等の利用件数であり、引き続き周知啓発を図る。
	目標	750 件		
	実績	1,108 件		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業③		
課題	市民の安全・安心を守るために救急医療対策事業を継続していくことは重要である。夜間・休日在宅当番医制度の存続に関しては、地域の開業医の高齢化や診療科目の偏在等の問題もあり、可能な限り現状を維持できるよう、引き続き市医師会と協議を進めていくことが必要である。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	令和6年度に同じ
	令和8年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.30**

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	2	地域福祉の充実

めざす姿	誰もがいつまでも安心して快適に暮らせる地域づくりを確立するため、隣近所の助けあい、支えあいなどの地域における住民活動を基盤とし、安心して暮らせる環境を住民みんなの力で築き上げ、地域共生社会の実現を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	包括的な支援体制整備事業	**担当部署**	健康福祉部 社会福祉課
実施方針	①庁内横断的な相談会議の設置 ②重層的支援体制整備事業の検討 ③第2期鳴門市地域福祉計画の推進	**事業費推移（千円）**	令和6年度：171 令和7年度：171 令和8年度：171
事業内容（R6）	①庁内横断的な相談会議の設置 ・誰ひとり取り残さない相談支援体制を整備するため、属性、世代、相談内容に関わらず、庁内関係部署間等の横断的な情報共有の会議を実施する。 ②重層的支援体制整備事業の検討 ・地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する断らない包括的な支援体制を整備するため、国が創設している「重層的支援体制整備事業」実施について検討を行う。 ③第2期鳴門市地域福祉計画の推進（進捗管理） ・令和5年度からを計画期間とする「第2期鳴門市地域福祉計画」について、地域住民・団体からなる評価委員等の意見をもとに進捗を図る。		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
庁内横断的な相談会議の開催	－	1	1	1	1	回

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	171	0	171

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①庁内横断的な相談会議の設置 ・誰ひとり取り残さない相談支援体制を整備するため、属性、世代、相談内容に関わらず、庁内関係部署間等の横断的な情報共有の会議を開催し、関係部署における事例等を紹介しながら、庁内関係部署間での連携強化が図れるよう各役割や個人情報の取り扱い等についての確認を行った。 ②重層的支援体制整備事業の検討 ・地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する断らない包括的な支援体制を整備するため、国が創設している「重層的支援体制整備事業」について、事業計画策定に向けた研究や調査等を行った。 ③第2期鳴門市地域福祉計画の推進（進捗管理） ・「第2期鳴門市地域福祉計画」の評価会議を開催し、現状の取り組みについて報告を行い、地域住民・団体からなる評価員等から意見等を聴取し、評価指標について確認を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	庁内横断的な相談会議の開催	1	1	1	1	1	回
	目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	21,000	0	15,000	15,000	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	21,000	0	15,000	15,000	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	庁内横断的な相談会議の開催		成果指標に対する所見	誰ひとり取り残さない相談支援ネットワーク会議を開催し、市民からの相談に実際に対応している市職員同士の横のつながりと、鳴門市内で様々な相談に対応している相談支援機関同士のつながり、また庁内・庁外のつながりを作ることにより、連携体制の基礎を作ることができた。
	目標	1	回		
	実績	1	回		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	各相談支援ネットワークの調整機能の強化などを通して、高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者という縦割りの分野を超えて、様々な相談を包括的に受け止め、関係部署や関係機関が一体となって必要な支援を行うことが出来るよう、関係部署の役割の再確認や各ケース事の個人情報等の取り扱いについて、支援体制の整備を進める必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	誰ひとり取り残さない相談支援ネットワーク会議を定期開催し、市民からの相談に実際に対応している市職員同士の横のつながりと、鳴門市内で様々な相談に対応している相談支援機関同士のつながり、また庁内・庁外のつながりを深め、連携を深めつつ相談支援にあたる。
	令和8年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.31

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	3	高齢者が暮らしやすいまちづくり

めざす姿	高齢者が住み慣れた地域で、みんなで支え合いながら健康で安全安心な暮らしを自分らしくいきいきと尊厳をもって送ることができるまちづくりを推進します。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）	担当部署	健康福祉部 長寿介護課
実施方針	①介護予防・生活支援サービス事業を推進する ②効果的な介護予防事業を展開する	事業費推移（千円）	令和6年度：243,734 令和7年度：243,734 令和8年度：243,734
事業内容（R6）	①介護予防・生活支援サービス事業の推進 多職種による訪問介護・生活支援サービスを推進する。 ②効果的な介護予防事業の展開 ・住民主体の通いの場である「いきいきサロン」の開設及び活動の活性化を支援する。 ・データ分析に基づく介護予防推進事業を実施するなど、効果的な介護予防事業の充実を図る。 ③鳴門市版フレイル予防の推進 フレイルサポーターの活用を図るとともに、フレイルチェックや体成分分析装置による筋肉・栄養状態の分析、個別指導を行い、フレイル予防の推進を図る。		

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	要介護（要支援）認定率を20%以内にする	18.8	18.8	19.0	19.0	19.0	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	243,734	2,848	246,582

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①多職種と連携して介護予防・日常生活支援総合事業の充実化を図った。 ②公民館で活動している団体等へ出向き、サロン活動の周知を行い、体力測定やInBody測定を実施するとともに通いの場に参加することで健康寿命が延伸すること、医療費や介護費が抑制されることを説明するなどして新規開設サロン2か所及びコロナ禍からの再開1か所を含む市内61か所のいきいきサロンに対して、専門職等の派遣、栄養士による講座を行うなど活動を支援した。また、前期高齢者や男性をメインターゲットに新たな趣味系介護予防教室として、浜内千波氏を講師に招いて栄養×シニアの健活、メイクアップ＆写真撮影体験会、コーヒーの淹れ方教室等を開催した。 ③フレイルの兆候が見られる方へ個別指導を実施し、いきいきサロンへの復帰に繋げた。フレイルサポーターをいきいきサロン、一般介護予防事業での活動に加え、イベント等での体力測定、フレイルチェックを実施し活用した。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	要介護（要支援）認定率を20%以内にする	19.2	19.8	19.8	19.8	19.8	%
	目標達成率(実績/目標)		96.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算 ※令和4年度からの繰越額を含む	令和6年度決算			令和7年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	203,799,012	0	215,380,086	215,380,086	0
財源内訳	国庫支出金	79,168,600	0	73,396,839	73,396,839	0
	県支出金	28,496,000	0	26,801,149	26,801,149	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	53,748,613	0	56,375,733	56,375,733	0
	一般財源	42,385,799	0	58,806,365	58,806,365	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	要介護（要支援）認定率を20%以内にする		成果指標に対する所見	全体的な数値は達成できているが、より効果的な予防活動の実施、方法等について検討し実施する必要がある。
	目標	19.0	%		
	実績	19.8	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		医療保険・介護保険・介護予防事業等のデータ分析・活用により、本市高齢者の特性や課題などの分析結果やエビデンスに基づき、介護予防事業の効果検証を行うとともに、新たな視点・アプローチによる介護予防事業に取り組むことで、要介護認定率の低位安定や新規介護認定の平均年齢の引き上げに繋げる必要がある。 また、介護予防事業は後期高齢者が参加者の主であるが、今後は前期高齢者の参加を促し、運動習慣をつけること等により、健康寿命の延伸を図る必要がある。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	健康無関心層や介護予防事業未参加者への新たなアプローチとして、アプリを活用し、一定の活動に対しポイントを付与するインセンティブ事業を実施するとともに、引き続き、各種介護予防教室の開催や住民主体の通いの場「いきいきサロン」への支援に加え、前期高齢者の参加を促す介護予防教室を開催するなど、通いの場への参加者数の増加に取り組み、要介護認定率の低位安定や新規介護認定の平均年齢の引き上げを目指す。
	令和8年度	引き続き、介護予防事業の推進に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.32**

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	4	障がい者が暮らしやすいまちづくり

めざす姿	障がい者が住み慣れた地域で、安心して社会生活を営むことができるよう、相談体制の充実や障害福祉サービス等の提供、就労支援、障がい児支援の充実を図ります。また、生活しやすい環境づくりや支え合う体制づくりを推進することで、障がい者の社会参加を促進します。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	地域生活支援事業	**担当部署**	健康福祉部 社会福祉課
実施方針	①必須事業として、相談支援事業や理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業等を実施する。 ②任意事業として、日常生活支援に関する事業や社会参加支援に関する事業を実施する。	**事業費推移（千円）**	令和6年度 98,243 令和7年度 98,243 令和8年度 98,243
事業内容（R6）	①必須事業 相談支援事業（基幹相談支援センター）、障がい者相談支援事業（委託相談支援等）、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等 ②任意事業 日中一時支援、訪問入浴サービス、レクリエーション活動等支援、声の広報等発行等		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所（3カ所）における相談件数	9,000	9,000	10,000	10,000	10,000	件

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	98,243	1,740	99,983

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①必須事業・・・相談支援事業、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等。 ②任意事業・・・日中一時支援,、福祉ホーム事業、声の広報制作事業等。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所（3カ所）における相談件数	12,239	12491	13,000	13,000	13,000	件
	目標達成率(実績/目標)		124.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	91,422,297	0	91,362,903	91,362,903	0
財源内訳	国庫支出金	13,611,000	0	13,389,000	13,389,000	0
	県支出金	6,789,000	0	6,678,000	6,678,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	71,022,297	0	71,295,903	71,295,903	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所（3カ所）における相談件数	成果指標に対する所見	相談者に対して障がい特性や状況に合わせた対応が実施できている。複雑な事案についても、基幹相談支援センターを中心に対応できており、目標は達成している。
	目標	10,000 件		
	実績	12,491 件		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	○ 共生社会の実現に向け、障がい者への理解促進に向けた啓発活動が必要。 ○ 困難事例も含めた増加し続ける多様な相談に対応できる相談支援体制の強化が必要。 ○基幹相談支援センターを中心とした 地域生活支援拠点の機能の強化が必要。 ○障がい者等の権利擁護及び意思決定支援の推進が必要	
今後の方向性	□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	現在実施している事業を継続実施していくとともに、基幹相談支援センターを中心に障がい者への相談支援体制を強化を図る。また、障がい者への理解促進に向けた研修等を実施する。
	令和8年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.33**

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	5	社会保障の確保

めざす姿	国民健康保険など各種社会保険制度の安定的な運営に努めるとともに、国民年金制度の周知・啓発にも取り組んでいきます。また、生活保護受給世帯や生活困窮世帯等、経済的に困窮している方々が安定した生活を送ることが出来るように、自立に向けて適切な支援を行っていきます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	生活困窮者自立支援事業	**担当部署**	健康福祉部 社会福祉課		
実施方針	①自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的実施 ②住居確保給付金の支給 ③子どもの学習・生活支援事業の実施	**事業費推移（千円）**	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			29,765	29,765	29,765
事業内容（R6）	①必須事業である自立相談支援事業（鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」）に加え、任意事業である就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的実施 ②離職等により住居を失った又はその恐れがある者への住居確保給付金の支給 ③子どもの学習・生活支援事業の実施 【対象者】市内の中学生、小学5．6年生の内、次の条件に当てはまる者とその保護者 1．生活保護受給世帯　2．自立相談支援センターへの相談者が属する世帯　3．ひとり親世帯のうち非課税世帯　4．児童養護施設入所者世帯 5．児童扶養手当受給世帯　6．就学援助受給世帯　7．その他市長が認める世帯				

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
「よりそい」における新規相談件数	166	130	130	130	130	件

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	29,765	0	29,765

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
	事業実施内容（R6）	①必須事業である自立相談支援事業（鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」）に加え、任意事業である就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的実施 ・自立相談支援事業を軸に、相談者の課題に応じ就労準備支援事業（長期無職）家計改善支援事業（家計の収支バランスが悪い等）を一体的に実施することで、より効果的な相談支援を行うとともに、ハローワーク・生活保護制度・障がいサービス相談機関等への繋ぎ、協働による支援を実施。さらに外出が困難な相談者には、訪問支援や加えて複雑・複合化した課題を抱える相談者には、支援プランを策定。また、関係機関との強化・連携を図るため、個別支援調整会議を月1回開催。 ・その他の取り組みとして、食糧支援活動（フードバンク）や無料弁護士相談を実施。 ②離職等により住居を失った又はその恐れがある者への住居確保給付金の支給 ・制度活用の相談支援は「よりそい」で実施し、計4件の相談があったが、いずれも支給要件を満たさず申請に至らなかった。 ③子どもの学習・生活支援事業の実施 ・週1回、市内5か所において、子どもに対する、学校の勉強の復習、宿題の習慣づけに加え、保護者にも家庭における学習環境を整えるための助言等の支援を実施 ・R6年度は30名の生徒利用があり、中学卒業者の進路実績（進学率）は100%を達成。また生活支援として食事交流会（調理実施含む）を実施し、21名の利用があった。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	「よりそい」における新規相談件数	136	176	180	180	180	件
	目標達成率(実績/目標)		135.4	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	31,212,000	0	28,454,185	28,454,185	0
財源内訳	国庫支出金	20,606,000	0	18,587,500	18,587,500	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	10,606,000	0	9,866,685	9,866,685	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	「よりそい」における新規相談件数		成果指標に対する所見	新庁舎開庁に伴う相談室「よりそい」の移転により、物理的なアクセス向上が図られたほか、デジタルサイネージの活用、関係機関へのチラシ配布などの広報活動の強化により、生活自立相談支援センター「よりそい」の認知度が高まり、相談に繋がる機会が増加したと考える。
	目標	130	件		
	実績	176	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
	課題	生活困窮者の相談は特に中高年層が多く、複合的な課題を抱えるケースが目立っており、複雑・多様化した社会問題、孤立や生活不安などが背景に潜んでいる。課題解決には長期間にわたる伴走型支援の継続、アウトリーチ支援の体制が重要である。また、自立相談支援事業に加え、就労準備支援事業・家計改善支援事業を一体的に実施しているものの、障がいや疾病により医療や福祉サービスの活用が同時に必要となる場合もあることから、他機関との連携により課題解決を図る体制整備も必要である。 相談件数の増加は、社会的孤立や長期的な収入不安定、物価高騰などの社会情勢に影響されるなか、市民や庁内外関係機関に対して継続的に「よりそい」の活動を周知し、生活困窮者の自立に向けた丁寧な支援を積み重ねることが必要である。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	現在の実施している各事業を継続実施していくとともに、国・県が実施する研修への積極的な参加により専門性を高めるほか、支援調整会議等を通じて他機関との連携を強化するなど、複雑化・多様化した生活困窮者が抱える諸課題に対応できる相談支援体制を構築していく。 住居確保給付金制度の改正により、新たに転居費用が補助対象に追加され、生活困窮者に対し、家賃負担軽減を通じて、安定した生活の確保と自立の促進を図っていく。
	令和8年度	令和7年度の実施状況に応じて明らかになる課題に対し、専門性の強化や他機関連携により、より強固な相談支援体制を構築していく。 また必要に応じ、国の補助事業を最大限に活用しつつ、新たな支援事業の導入を研究していく。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.34

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	1	活力ある商工業の振興

めざす姿	新商品開発や販路拡大など地元企業の新たなチャレンジ、生産性向上・業務効率化といった経営基盤強化への取組を支援するとともに、企業間連携を促進することにより、地元企業が成長するビジネス環境を整え、地域経済の活性化を図ります。 サテライトオフィスをはじめ、企業誘致に積極的に取り組み、雇用創出や税収の確保はもちろん、地域課題の解決や交流人口・関係人口の拡大など、地域活性化につなげます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業（ふるさと納税寄附金等推進事業）	担当部署	企画総務部 戦略企画課
実施方針	①道の駅「くるくる なると」管理運営事業者との連携 ②商品開発による記念品拡充と地場産品のPR推進 ③ポータルサイト等での情報発信の強化	事業費推移（千円）	令和6年度：460,653 令和7年度：591,824 令和8年度：657,582
事業内容（R6）	①道の駅との業務連携 ・道の駅と連携し、地場産品を活用した商品開発を推進する ・ふるさと納税業務の委託による業務円滑化や寄附者対応の柔軟性向上により、効率的な事業体制を構築する ②記念品の拡充による鳴門の地場産品PRの推進 ・市内事業者等への新規掲載提案を行う ・地場産品を用いた新規商品ブランドの開発および展開に注力する ③ポータルサイト等での情報発信の強化 ・サイト内プロモーションやキャンペーン等による、市全体のシティプロモーションや地場産品のPRを行う ④寄附金の事業化の推進 ・ガバメントクラウドファンディング事業の実施検討等、寄附者の意向に基づく適正な事業化を推進する		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
ふるさと納税寄附金額	481,000	700,000	800,000	900,000	1,000,000	千円

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	460,653	93,071	553,724

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①道の駅（地域商社）と連携し、道の駅の売れ筋品をふるさと納税返礼品として取り扱った。 ②継続的に事業者からの提案を受け入れ、記念品の拡充を行うことで、鳴門の地場産品PRの推進を図った。 ③ポータルサイト内の情報発信力強化を目的としたSEO対策、サムネイル改善を継続して実施したり、 利用可能なポータルサイトを拡充したりするなど、幅広い寄附者層の獲得に取り組んだ。 ④2件のクラウドファンディング型ふるさと納税事業を採択し、寄附金の事業化を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	ふるさと納税寄附金額	730,640	714,130	900,000	1,000,000	1,100,000	千円
	目標達成率(実績/目標)		89.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	448,818,070	0	439,073,099	439,073,099	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	448,818,070	0	439,073,099	439,073,099	0
	一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ふるさと納税寄附金額		成果指標に対する所見	目標額を下回っているものの、ふるさと納税の制度改正による駆け込み需要により寄附額が大きく増加した令和5年度実績と比較して同等規模の実績を維持している。引き続き寄附金額増加に向けた取り組みを進める。
	目標	800,000	千円		
	実績	714,130	千円		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	寄附金の実績に関して、県内では上位に位置するものの全国的に見ると高い水準とは言えないので、 今後も魅力ある商品の開発や情報発信の強化などに継続して取り組む必要がある。	
今後の方向性	☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☐ 3.現状維持　☑ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	ふるさと納税の制度改正等に対応しつつ、引き続き寄附金の拡充に向けた施策を進める。
	令和8年度	ふるさと納税の制度改正等に対応しつつ、引き続き寄附金の拡充に向けた施策を進める。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.35**

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	1	活力ある商工業の振興

めざす姿	新商品開発や販路拡大など地元企業の新たなチャレンジ、生産性向上・業務効率化といった経営基盤強化への取組を支援するとともに、企業間連携を促進することにより、地元企業が成長するビジネス環境を整え、地域経済の活性化を図ります。 サテライトオフィスをはじめ、企業誘致に積極的に取り組み、雇用創出や税収の確保はもちろん、地域課題の解決や交流人口・関係人口の拡大など、地域活性化につなげます。

事業②

事業名	企業誘致推進事業	**担当部署**	産業振興部 商工政策課
実施方針	①企業誘致活動の実施 ②企業立地候補地のリスト化・条件整備 ③サテライトオフィス誘致 ④立地企業への支援	**事業費推移（千円）**	令和6年度：13,890 令和7年度：13,890 令和8年度：13,890
事業内容（R6）	①企業誘致活動の実施 ・徳島県や金融機関、デベロッパー等との連携、県内・市内企業訪問の実施 ・製造業だけでなく、情報通信関連産業、地域活性化につながる商業施設など、幅広く誘致活動を展開 ②企業立地候補地のリスト化・条件整備 ・宅建協会と連携し、企業立地候補地のリスト化や土地利用にかかる所有者の意向確認を進めるなど、進出検討企業に提案できる条件整備を推進 ・旧大麻学校給食センターなど公共施設の有効活用 ③サテライトオフィス誘致 ・地方進出に興味・関心のある都市部企業とのマッチングイベントに参加 ・都市部企業と地元企業のマッチングにより新たなビジネスを創出 ・地元企業紹介等、企業誘致専用WEBサイト「NARUTO.biz」による情報発信 ④立地企業への支援 ・企業立地奨励条例による税制支援・補助金交付 ・サテライトオフィス等誘致支援事業補助金の交付 ⑤スタートアップ誘致 ・スタートアップ企業の実証実験の場として本市での事業活動を支援		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
企業誘致件数（サテライトオフィス含む）	3	3	2	2	2	件

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	13,890	0	13,890

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	・徳島県や金融機関等と連携し、さまざまな業種の立地検討企業へ情報提供・相談対応を行うなど、幅広く誘致活動を展開した。 ・製造業の企業立地に向け、製造系人材派遣サービス企業の教育・研修施設誘致を行った。 ・公共施設の有効活用として、旧大麻学校給食センター施設を活用した企業誘致を行った。 ・宅建協会と連携し、企業立地候補地のリスト化や土地利用にかかる所有者の意向確認など、進出検討企業に候補地を提案できるよう条件整備を行った。 ・サテライトオフィス誘致に向け、マッチングイベントに参加し、オンライン商談、視察受入れを通じて立地促進を図った。 ・スタートアップの本市進出に向け、市内での事業活動を検討してもらうプログラム「NARUTO CONNECT」を開催した。 ・立地企業への支援として、企業立地奨励条例の奨励事業所として1社を指定するとともに、1社にサテライトオフィス等誘致支援事業補助金を交付した。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	企業誘致件数（サテライトオフィス含む）	3	3	2	2	2	件
	目標達成率(実績/目標)		150.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	16,376,640	0	9,437,204	9,437,204	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	3,000,000	3,000,000	0
	一般財源	16,376,640	0	6,437,204	6,437,204	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	企業誘致件数（サテライトオフィス含む）		成果指標に対する所見	企業立地奨励条例の指定事業所として1社を指定するとともに、サテライトオフィス2社を誘致し、目標を達成できた。
	目標	2	件		
	実績	3	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	本市に2箇所ある産業団地は全区画分譲済であり、新たに企業立地が可能な候補地についてリストアップをすすめるとともに、土地利用にかかる所有者の意向確認をはじめ、検討企業に提案できる条件整備を行っていく必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止　□ 2.要改善　□ 3.現状維持　☑ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	・徳島県や金融機関等と連携し、製造業や商業施設、情報通信関連産業など幅広く誘致活動を展開 ・協定を締結した製造系人材派遣サービス企業と連携し、製造業の企業誘致を推進 ・宅建協会と連携し、立地候補地のリスト化や土地利用にかかる所有者の意思確認を実施 ・マッチングイベントへの参加やオンライン商談・視察受入れなど、サテライトオフィスを誘致 ・企業立地奨励条例・サテライトオフィス等誘致支援事業補助金による税制支援・補助金の交付 ・スタートアップ誘致に向け、インキュベーション施設を運営するとともに、マッチングイベントを開催
	令和8年度	・前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.36**

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	2	魅力ある農林水産業の振興

めざす姿	農業・水産業の生産性の向上や生産基盤の保全・利用促進をはじめ、農水産物のブランド化、六次産業化など、販売促進や販路開拓・拡大に向け積極的に取り組みます。 また、地産地消を推進し、地元農水産物の普及に努めます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	鳴門ブランド強化事業（農業）	**担当部署**	産業振興部 農林水産課
実施方針	①地域農業の担い手の育成・確保 ②農産物のブランド化の推進	**事業費推移（千円）**	令和6年度 55,703 令和7年度 55,703 令和8年度 55,703
事業内容（R6）	①地域農業の担い手の育成・確保 ・認定農業者の育成・確保、新規就農者への支援 ②農産物のブランド化の推進 ・鳴門ブランドの推進 ・農産物の六次産業化への支援 ・コウノトリブランド認証制度の推進		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
認定農業者数	415	424	429	434	439	件

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	55,703	7,048	62,751

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①地域農業の担い手の育成・確保 ・市内各JA・県・農業支援センターと連携し、認定農業者の認定更新の推進を行い、また、新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。 ・国の補助制度を活用しながら、新規就農者への支援に総合的に取り組んだ。 ②農産物のブランド化の推進 ・鳴門ブランド農産品を確立、ブランド産地の生産振興を図るため、「れんこん食害対策」への取組や「鳴門市ブランド産地振興補助金」による、かんしょ・れんこん栽培農家への支援を行った。また、「鳴門市経営基盤強化支援事業補助金」により、JAや担い手への支援を実施した。 ・「農漁業六次産業化推進支援事業補助金」により、農産物の販売促進や農産物の加工品への開発支援を行った。また、関西方面への市場や百貨店でのフェアを実施した。 ・コウノトリブランド認証制度の周辺対策事業として協議会と連携し、巣周辺を点検・見回りし、観察マナーの周知看板の修繕や追加設置を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	認定農業者数	427	420	434	439	444	件
	目標達成率(実績/目標)		97.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	21,827,000	0	31,390,540	31,390,540	20,000,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	20,000,000
	県支出金	14,999,000	0	19,500,000	19,500,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	500,000	0	1,851,655	1,851,655	0
	一般財源	6,328,000	0	10,038,885	10,038,885	0

◎評価（CHECK）

事業①					
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	認定農業者数		成果指標に対する所見	目標到達することができたが、今後も各JA・県・農業支援センターと連携しながら、認定農業者数の増加に向けた取組を進めていく
	目標	429	件		
	実績	420	件		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	本市農業の課題である、「地域農業の担い手の育成・確保」に向け、市内JAや県、支援センターと連携し、引き続き取組を進めていく必要がある。また、「農産物のブランド化の推進」についても、課題解決に向け、引き続き対策を進めていく必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	令和4年3月に策定した「鳴門市農業振興計画」に基づき、「地域農業の担い手の育成・確保」、「農産物のブランド化の推進」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。
	令和8年度	令和4年3月に策定した「鳴門市農業振興計画」に基づき、「地域農業の担い手の育成・確保」、「農産物のブランド化の推進」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.37**

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	2	魅力ある農林水産業の振興

めざす姿	農業・水産業の生産性の向上や生産基盤の保全・利用促進をはじめ、農水産物のブランド化、六次産業化など、販売促進や販路開拓・拡大に向け積極的に取り組みます。 また、地産地消を推進し、地元農水産物の普及に努めます。

事業②

事業名	鳴門ブランド強化事業（水産）	**担当部署**	産業振興部 農林水産課・水産振興室		
実施方針	①担い手の育成・確保 ②水産資源の保全 ③漁業経営の安定化とブランド化の推進 ④漁業生産基盤の整備	**事業費推移（千円）**	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			20,771	20,771	20,771
事業内容（R6）	①担い手の育成確保 ・鳴門市うずしお漁業者青年部の活動支援 ②水産資源の保全 ・掃海事業の実施 ・海岸漂着ごみ対策 ・種苗放流等への支援 ③漁業経営の安定化とブランド化の推進 ・ブランド化の推進 ・地産地消の推進 ④漁業生産基盤の整備 ・漁業施設の維持管理 ・漁協への支援				

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
養殖漁業経営体数（わかめ・魚類等）	198	190	190	190	190	件

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	20,771	3,887	24,658

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	①担い手の育成確保 ・「鳴門市若手漁業者人材育成事業」として、市内の若手漁業者で組織する「鳴門市うずしお漁業者青年部」の活動支援を行った。 （三重県大紀町・三重県栽培漁業センターへの先進地視察を実施） ②水産資源の保全 ・掃海事業を実施し、漁業者による日々の持ち帰りごみの処理に対する支援を行った。 ・水産多面的機能発揮対策事業として、海岸漂着ごみの清掃作業に対する支援を行った。 ・徳島県漁業協同組合連合会や市内漁協が実施する種苗放流事業に対し、支援を行った。 ③漁業経営の安定化とブランド化の推進 ・国内親善都市である群馬県桐生市や、道の駅くるくるなるとにおいて、鳴門わかめのPRを行った。 ・鳴門ウチノ海新鮮市の開催支援を行うことにより、地産地消の推進を図った。 ④漁業生産基盤の整備 ・市内漁協が実施する共同利用施設の整備に対し支援を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	養殖漁業経営体数（わかめ・魚類等）	190	178	178	178	178	件
	目標達成率(実績/目標)		93.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算			令和7年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	45,189,799	0	15,215,015	15,215,015	6,400,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	6,400,000
	県支出金	3,578,000	0	1,379,000	1,379,000	0
	地方債	29,000,000	0	0	0	0
	その他	3,930,260	0	2,633,960	2,633,960	0
	一般財源	8,681,539	0	11,202,055	11,202,055	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	養殖漁業経営体数（わかめ・魚類等）		成果指標に対する所見	漁業者の高齢化による経営体数の減少は進んでいるが、各種施策の推進により、経営体数の維持を図ることができた。
	目標	190	件		
	実績	178	件		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題		市内水産業における課題である、「担い手の育成確保」、「水産資源の保全」、「漁業経営の安定化とブランド化の推進」、「漁業生産基盤の整備」に対し、市内漁協や徳島県、徳島県漁業協同組合連合会とも連携し、引き続き対策を進める必要がある。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	令和4年3月に策定した「鳴門市水産振興計画」に基づき、「担い手の育成確保」、「水産資源の保全」、「漁業経営の安定化とブランド化の推進」、「漁業生産基盤の整備」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。
	令和8年度	令和4年3月に策定した「鳴門市水産振興計画」に基づき、「担い手の育成確保」、「水産資源の保全」、「漁業経営の安定化とブランド化の推進」、「漁業生産基盤の整備」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.38**

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	3	地域資源を活かした観光のまちづくり

めざす姿	豊かな自然や歴史、文化など地域資源を活かし、観光地の魅力向上や賑わいと交流を創出するとともに、各種情報媒体を活用したプロモーション強化を図ることにより、観光振興を推進します。 また、外国人を含めた観光客の受入環境整備を推進します。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	観光振興事業	**担当部署**	産業振興部 観光振興課
実施方針	①滞在型観光の推進 ②情報発信強化 ③国内外観光客の受入環境整備	**事業費推移（千円）**	令和6年度 13,682 令和7年度 13,682 令和8年度 13,682
事業内容（R6）	①滞在型観光推進事業 ・世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業 地域事業者が主体となったグルメ開発、人材育成等の実施 ・レンタカー利用者宿泊助成事業 ②情報発信強化事業 ・観光案内所リモートシステム導入等に向けた試験的運用業務 ・多言語観光情報サイト改修業務 ・SNS等を活用した国内外への情報発信及びメディア向け情報発信業務 ③受入環境整備事業 ・大阪・関西万博に向けた観光客受入環境整備推進事業		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
鳴門市観光入込客数	247	260	280	320	320	万人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	13,682	△ 1,600	12,082

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）		**①滞在型観光推進事業** ・世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業 ・滞在型観光の推進を図るため、南あわじ市及び両市の事業者等と共同で「食」を通じた誘客事業を実施し、R6年度からは参画事業者による自走化を図っており、「うずの幸グルメ」、「カップイングルメ」のプロモーション、地域の食を語る人材育成に取組んだ。 ・レンタカー利用者宿泊助成事業 ・市内二次交通の充実や市内での宿泊を促すため、レンタカー利用者への宿泊費助成事業を実施した。 **②情報発信強化事業** ・鳴門駅前観光案内所及び鳴門市観光情報センターに、リモート接客システムを設置し、リモートによる観光案内の試験導入を実施した。 ・市公式観光サイトの改修業務を実施した。 ・スマホでの閲覧をしやすくするとともに、訪日外国人メディアと連携し、インバウンドに向けて積極的に情報発信を行える体制づくりに取組んだ。 **③受入環境整備の推進** ・観光関連事業者の観光客受入環境整備や誘客事業に活用できる補助事業を実施した。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	鳴門市観光入込客数	322	345	340	340	350	万人
	目標達成率(実績/目標)		123.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算			令和7年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	30,504,541	0	9,281,086	9,281,086	0
財源内訳	国庫支出金	11,488,399	0	1,350,000	1,350,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	7,269,000	0	2,314,000	2,314,000	0
	一般財源	11,747,142	0	5,617,086	5,617,086	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市観光入込客数		成果指標に対する所見	各事業については計画どおり実施することができ、目標を達成することができた。
	目標	280	万人		
	実績	345	万人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		**①滞在型観光推進事業** ・広域観光ブランディング事業は、参画事業者等による自走ができるよう引き続き支援を行う。 また、レンタカー利用者宿泊助成事業については、利用者増加に向けて参画宿泊事業者を増やすとともに、利用者への周知を図る。 **②情報発信強化事業** ・市公式観光サイトの情報を充実させるとともに、分かりやすく見やすいサイトとなるよう改修することで、本市への来訪につなげる。 ・より鮮度の高い情報発信を行うため、市公式観光Instagram等を活用し、タイムリーな情報発信を実施する。 **③受入環境整備事業** ・観光客受入環境整備や観光誘客に積極的に取り組む事業者に対して支援することで、観光客の満足度向上、リピーターの獲得に繋げる。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3. 現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	**①滞在型観光推進事業** ・世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業 地域事業者が主体となったグルメ開発、人材育成等の実施を支援 ・レンタカー利用者宿泊助成事業 **②情報発信強化事業** ・リモート接客システムを活用した観光案内の充実 ・市公式観光サイト、SNS等を活用した国内外への情報発信 **③受入環境整備事業** ・観光関連事業者の観光客受入環境整備等を支援
	令和8年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.39**

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	3	地域資源を活かした観光のまちづくり

めざす姿	豊かな自然や歴史、文化など地域資源を活かし、観光地の魅力向上や賑わいと交流を創出するとともに、各種情報媒体を活用したプロモーション強化を図ることにより、観光振興を推進します。 また、外国人を含めた観光客の受入環境整備を推進します。

◎事業概要（PLAN）

事業②

事業名	四国のゲートウェイ推進事業（再掲）	**担当部署**	産業振興部 観光振興課 企画総務部 戦略企画課
実施方針	①四国内外からの交流人口の増加 ②市内の賑わい創出	**事業費推移（千円）**	令和6年度：11,700 令和7年度：11,700 令和8年度：6,200
事業内容（R6）	①四国のゲートウェイ推進イベントの共催 ・民間団体等と四国内外から集客できるイベントを共催する ②ナイトタイムコンテンツ造成推進事業補助金 ・事業者及び団体等が実施するナイトタイムコンテンツ造成事業に対し補助金を交付 ※鳴門市イルミネーション事業補助金と統合 ③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業 ・本プロジェクトの中核施設とし設置された交流拠点施設（ゲート）などが実施する施設整備・改修・イベント等に対し補助金を交付		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
交流人口の数（イベント・ナイトタイムコンテンツ）	15,000	37,000	40,000	40,000	40,000	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	11,700	△ 49	11,651

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）		**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** ・四国内外からの交流人口の増加を図るため、（一社）鳴門板野青年会議所と共催でキッチンカー等が出店する「鳴門グルメカーニバルBAR」及び徳島県キッチンカー協会と「防災体験」を開催した。 **②ナイトタイムコンテンツ造成推進事業補助金** ・滞在型観光の推進及び観光における消費の拡大を図るため、ナイトタイムコンテンツを造成する事業者等に対し補助金を交付し、夜の観光コンテンツの充実を図った。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** ・音楽を楽しむとともに、鳴門の魅力のPRや観光促進など誘客に繋げるJAZZライブイベントに対し、補助金を交付した。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	交流人口の数（イベント・ナイトタイムコンテンツ）	29,058	38,570	―	―	―	人
	目標達成率(実績/目標)		96.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	9,696,000	0	6,114,000	6,114,000	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	8,700,000	0	500,000	500,000	0
	一般財源	996,000	0	5,614,000	5,614,000	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	交流人口の数（イベント・ナイトタイムコンテンツ）		成果指標に対する所見	各事業については計画どおりに実施することができ、概ね目標を達成することができた。
	目標	40,000	人		
	実績	38,570	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題		**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** ・今後は民間主体での開催に移行し、事業費の支援に替えて、広報協力や会場の提供などの支援を継続する。 **②ナイトタイムコンテンツ造成事業補助金** ・ナイトタイムコンテンツに加えてモーニングタイムコンテンツも支援対象とし、より継続的なものとなるよう、新規出店や新業態への進出等についても支援を実施したい。また、宿泊を促すことを目的とする趣旨から、対象となる時間帯をモーニングタイム（～10時）まで拡充する。R7年度から観光振興事業に移行。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** ・事業効果を高められるよう、制度の活用にあたっては引き続き交流拠点施設（ゲート）等を運営する事業者と十分に協議を行い、事業計画段階からの支援に努める。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	**②ナイト/モーニングタイムコンテンツ造成事業補助金** ・ナイト/モーニングタイムコンテンツ造成事業を観光振興事業に移行する。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** ・交流拠点施設（ゲート）などが実施する施設整備・改修・イベント等に対し補助金を交付する。
	令和8年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.40**

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	3	地域資源を活かした観光のまちづくり

めざす姿	豊かな自然や歴史、文化など地域資源を活かし、観光地の魅力向上や賑わいと交流を創出するとともに、各種情報媒体を活用したプロモーション強化を図ることにより、観光振興を推進します。 また、外国人を含めた観光客の受入環境整備を推進します。

事業③

事業名	サイクリング推進事業	**担当部署**	企画総務部 地域交通推進室
実施方針	2027年度完成予定の大鳴門橋自転車道を見据え、サイクリストの裾野拡大や機運醸成、受入環境整備などに取り組みます。	**事業費推移（千円）**	令和6年度 8,921 令和7年度 8,921 令和8年度 8,921
事業内容（R6）	①サイクリストの裾野拡大や機運醸成 ・SNS等を活用したサイクリング情報の周知 ・サイクリスト、企業等団体の活動への支援 ・「なるとサイクリングの日」、「なるとサイクリング月間」、グルメライドなどの実施 ②受入環境整備 ・シェアザロードの周知啓発 ・サイクリスト受入環境整備補助金の活用 ・大鳴門橋自転車道を起点とするサイクリングコースの検討		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
関連イベントへの参加者数	1,439	1,500	2,000	2,000	2,000	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	8,921	3,550	12,471

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③		
事業実施内容（R6）	・公式インスタグラム等によりイベント情報の告知や市内のサイクリングスポットを紹介した。 ・自転車の活用推進に向けた取組みを実施する団体に対し、「ASAサイクリングツーリズム推進事業補助金」を交付した。 ・11月の「なるとサイクリング月間」において、11月3日の「なるとサイクリングの日」にサイクリングイベントを開催し、「株式会社メリダジャパン」と連携したイベントも実施した。 ・シェアザロードに関して、イベントや交通安全週間に合わせて周知・啓発活動を行った。 ・令和6年度よりサイクリスト受入環境整備補助金を創設し、サイクリストの受入環境の整備を行う事業者を支援した。 ・サイクルアンバサダーと連携し、オリジナルサイクリングコース作成に向けて、市内のスポット等を調査した。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	関連イベントへの参加者数	1,613	1,414	2,000	2,000	2,000	人
	目標達成率(実績/目標)		70.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	2,507,275	1,317,546	6,434,222	7,751,768	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	6,091,690	6,091,690	0
	一般財源	2,507,275	1,317,546	342,532	1,660,078	0

◎評価（CHECK）

事業③	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	関連イベントへの参加者数		成果指標に対する所見	鳴門・南あわじ渦潮グルメライドが悪天候により中止となったものの、その他の取組みについては概ね計画どおり実施できた。
	目標	2,000	人		
	実績	1,414	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業③		
課題	大鳴門橋自転車道の完成を見据え、徳島県・兵庫県・南あわじ市をはじめとする関係機関との連携を強化しながら、サイクリストの受入環境の整備や、自転車マナーの向上に向けた啓発活動、効果的な広報、サイクリングイベントの開催等を通じて、「自転車フレンドリーなまちづくり」の実現に向けた各種施策を推進していく必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	・サイクリング情報の発信やイベントの開催などを通じて、サイクリストの裾野拡大や地域全体の機運醸成に向けた取り組みを継続して実施する。 ・2027年度の大鳴門橋自転車道完成に向けて、徳島県や南あわじ市などの関係機関と連携を図りつつ、受入環境の整備を推進する。
	令和8年度	継続

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.41**

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	1	地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり

めざす姿	協働のパートナーとなる自治振興会と連携を図ることで、地域コミュニティ活性化の支援に努めます。また、ボランティアやNPO法人などの市民活動を支援するとともに、市民と行政が協働して取り組むまちづくりを推進します。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	市民協働のまちづくり推進事業	**担当部署**	市民生活部 市民協働推進課
実施方針	①地域コミュニティ活動の活性化 ②協働・参画への意識醸成	**事業費推移（千円）**	令和6年度：19,614 令和7年度：18,851 令和8年度：18,851
事業内容（R6）	①地域コミュニティ活動の活性化 ・「地域づくり事業活性化補助金」等を活用した地域づくり事業の支援 ・コミュニティ研修会や市民活動交流研修会の開催 ・地区自治振興会会長会等の開催による地域との連携強化 ・コミュニティ活動拠点の整備 ②協働・参画への意識醸成 ・市民協働推進本部会議の開催と市民との協働によるまちづくり研修の実施 ・一日鳴門市長体験やコラボ市長室等の市民向け自治基本条例周知啓発事業の実施 ・広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等による情報発信 ・音響機器、テント、車両等の無償貸し出し		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
市民等との協働事業数	161	160	160	160	160	件

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	19,614	42	19,656

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①地域コミュニティ活動の活性化 ・「地域づくり事業活性化補助金」を活用した各地区の地域づくり事業を支援した。 ・新たに「地域づくり強化イベント活性化補助金」を設置し、町内会等への加入促進及び地域の顔の見える関係づくりを支援した。 ・6月3日にコミュニティ研修会を開催、2月1日に他イベントと合同で市民活動交流研修会を開催した。 ・地区自治振興会会長会等を開催し、地域との連携強化・情報共有を行うとともに、鳴門のまつりを子どものまちフェスティバルと同時開催。 ・10月13日、黒崎地区コミュニティセンターをグランドオープン。 ②協働・参画への意識醸成 ・市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、協働取組事業のあり方や課題等について意見交換を行った。 ・広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等を活用し、市民団体の活動予定や状況などの周知を行い、団体活動のサポートを行うなど、まちづくりに関する情報の集約・発信を行った。 ・市民の地域活動を支援するため、公用車、音響機器、テントの備品を貸し出した。 ・子ども（小学6年生）向け自治基本条例パンフレットを市内小学校に提供、また市内在住・在学の小学6年生を対象に一日鳴門市長体験を実施し、今後のまちづくりの担い手となる子どもたちの理解を深めた。 ・新たに「一緒にわきあいあいコラボ市長室」を実施し、市内で活動する団体（2団体）と一緒に活動し、意見交換を行った。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	市民等との協働事業数	161	174	160	160	160	件
	目標達成率(実績/目標)		108.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	16,310,023	0	19,118,731	19,118,731	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,600,000	0	2,300,000	2,300,000	0
	一般財源	14,710,023	0	16,818,731	16,818,731	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	市民等との協働事業数		成果指標に対する所見	今後も、市民との情報共有を図りながら各種事業を進めていきたい。
	目標	160	件		
	実績	174	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		地区自治振興会や町内会・自治会の課題として、役員の高齢化等による担い手不足やアパート・マンションの増、ライフスタイルやコミュニケーションツールの変化による若い世代のコミュニティ活動への参加の減などが大きな課題となっている。 地区自治振興会会長会などを通じて地域と連携し、担い手育成や地域活動への参加促進を図るための効果的な支援や周知、施策等を検討していく必要がある。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	・令和6年度に創設した「地域づくり強化イベント活性化補助金」を活用し、新たな住民交流イベントに対して助成を行う。 ・「町内会加入促進パンフレット」の配布や町内会への取り次ぎを行うなど、加入や地域活動への参加促進に努める。 ・広報紙や市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」等を通じて、まちづくりに関する情報の発信・集約を継続していく。 ・子どもの参画機会拡大のため、小学6年生を対象に一日鳴門市長体験の開催や自治基本条例パンフレットの活用を進める。 ・NPO団体等の活動への支援として、備品貸出や市公式ウェブサイト等への情報発信、コラボ市長室の開催などを行う。
	令和8年度	令和7年度と同様

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.42

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	1	地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり

めざす姿	協働のパートナーとなる自治振興会と連携を図ることで、地域コミュニティ活性化の支援に努めます。また、ボランティアやNPO法人などの市民活動を支援するとともに、市民と行政が協働して取り組むまちづくりを推進します。

事業②

事業名	広報戦略推進事業	**担当部署**	企画総務部 秘書広報課
実施方針	①効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施 ②写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」の実施 ③イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の作成、配布 ④AIチャットボット及び市公式LINEの利便性向上	**事業費推移（千円）**	令和6年度：25,743 令和7年度：25,743 令和8年度：25,743
事業内容（R6）	①効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施 ・市政に関する情報や市内の出来事、動きなどを市民に分かりやすく伝えるため、広報紙・テレビ広報の構成やレイアウトの工夫 ・メディアミックスやクロスメディアなどの手法を活用した情報発信の推進 ・X、YouTubeなどのSNSを活用した、市内外の若い世代への情報発信の推進 ②写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」の実施 ・写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である第9回写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」の実施 ③イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の作成、配布 ・イメージアップ小冊子「鳴門やけん」新刊の発行及び市内外の各施設等への配布、市内の小学校5年生へのダイジェスト版の配布 ④AIチャットボット及び市公式LINEの利便性向上 ・市民により分かりやすく情報発信を行い必要としている情報を効率的に伝えるため、AIチャットボット及び市公式LINEの利便性向上を図る		

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	広報モニターの肯定的評価 （広報紙、テレビ広報、SNSの内容について毎月アンケートを実施しており、各設問に対して、5段階評価のうち「たいへん良い」「良い」と回答した人の割合の平均値）	84.7	84.9	90	90	90	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	25,743	957	26,700

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	①効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動を実施し、市政に関する情報や市内の動きなどを市民に分かりやすく伝えるため、複数の広報媒体を使ったメディアミックスやそれぞれの広報媒体の特性を生かしたクロスメディアなどの手法を活用し情報発信を推進した。 ②第9回写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」を実施し、写真1096点、動画119点の計1215点の応募があった。 ③イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の新刊vol.10、vol.11を発行し、市内外の各施設等への配布、市内の小学校5年生へダイジェスト版を配布した。 ④市民の方へより分かりやすく情報発信を行うため、市公式ウェブサイト上でAIチャットボットを活用している。市イメージキャラクター「にゃるひげ」を使用することで利用者にとって親しみやすい仕様となっている。市公式LINEでは、市政に関する情報や市内の出来事、動きなどを市民に分かりやすい情報発信に努めた。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	広報モニターの肯定的評価 （広報紙、テレビ広報、SNSの内容について毎月アンケートを実施しており、各設問に対して、5段階評価のうち「たいへん良い」「良い」と回答した人の割合の平均値）	79	80.8	90	90	90	%
	目標達成率(実績/目標)		89.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	20,638,275	957,000	22,991,999	23,948,999	0
財源内訳	国庫支出金	545,050	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,735,693	0	2,707,913	2,707,913	0
	一般財源	17,357,532	957,000	20,284,086	21,241,086	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	広報モニターの肯定的評価		成果指標に対する所見	8割を超える肯定的評価をいただいており、目標は概ね達成とする。今後も広報媒体全体の内容を充実させ、市民や広報モニターの評価を向上させるように努力する。
	目標	90	%		
	実績	81	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題		広報媒体全体として、難しい内容や堅苦しいと捉えられる行政情報をいかに分かりやすく伝え、興味を持っていただけるかという点に課題がある。解決策として、広報紙では写真やイラストを多用することで、内容が一目でわかるような紙面作りを心がけ、より効果的な広報活動を実施する必要がある。また、昨年と同様の印象を与えない校正やデザインなど、さらなるレベルアップを図る。 SNS運用では、公式X、公式LINE、公式YouTubeと、それぞれの媒体の特性を生かした発信をし、市政に関する情報や市内の出来事、動きなどを市民に分かりやすく伝えることに努めていく。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。特に、主なターゲットが若年層であるSNSによる情報発信を強化し、鳴門市公式LINE、YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」などの媒体を活用し、即時性のある発信を行う。また、プレスリリース配信サービスPRTIMESを活用することで今まで届かなかった層への情報発信強化にも努める。
	令和8年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。特に、主なターゲットが若年層であるSNSによる情報発信を強化し、鳴門市公式LINE、YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」などの媒体を活用し、即時性のある発信を行う。また、プレスリリース配信サービスPRTIMESを活用することで今まで届かなかった層への情報発信強化にも努める。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.43

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	2	お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり

めざす姿	性別や年代を問わず、個性が輝き、活躍できる社会を実現するため、人権に関する教育と啓発活動の充実に努めます。 また、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	人権啓発推進事業	担当部署	健康福祉部 人権推進課・人権福祉センター
実施方針	①国の人権啓発活動地方委託金を活用した、人権セミナーをはじめとする各種人権啓発事業を実施し、人権意識の高揚や人権課題への理解促進を図る。 ②鳴門市人権文化祭においては、あらゆる年代層に対し、さらなる人権意識の普及・高揚を図るとともに、特に若年層（学生等）の来館者数を確保し、様々な人権問題についての学習の場となるよう努める。	事業費推移（千円）	令和6年度：2,286 令和7年度：2,286 令和8年度：2,286
事業内容（R6）	①第31回鳴門市人権セミナー（計2回） ②人権の花運動 ③人権スポーツ事業 ④人権フェスティバル ⑤第51回人権文化祭開催事業		

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	人権文化祭来場者数	2,776	2,811	3,000	3,000	3,000	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	2,286	0	2,286

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①部落差別と男女共同参画社会をテーマとした人権セミナーを計2回実施した。 ②人権の花運動は、瀬戸中学校区の明神小学校の児童を対象として実施した。 ③堀江南小学校の児童を対象とした人権スポーツ事業を総合型地域スポーツクラブと連携して実施し、人権について幼少期からの意識啓発を行った。 ④市民が親しみやすく、楽しみながら参加できる人権啓発活動として人権フェスティバルを実施した。 ⑤人権文化祭で人権啓発取組パネルや作文・書道などの展示、中学生による人権劇や記念講演会の開催などを通して人権教育・啓発活動を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	人権文化祭来場者数	2,811	2,736	3,000	3,000	3,000	人
	目標達成率(実績/目標)		91.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	1,516,165	0	1,662,021	1,662,021	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	585,000	0	546,000	546,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	931,165	0	1,116,021	1,116,021	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数		成果指標に対する所見	令和5年度と比較すると若干減少したが、学校関係の来場者数は増加に転じたため、引き続き見学バスの実施など来場者数の増加に資する取組や周知啓発に努める。
	目標	3,000	人		
	実績	2,736	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	人権啓発活動地方委託金を活用した人権啓発活動については、他課や各種関係団体等とも連携しながら、幅広い年齢層の市民等が関心を持ちやすい内容を企画することで人権啓発活動の充実を図っていく。また、人権フェスティバル等の集客力を高めるため内容に工夫を凝らすほか、効果的な周知方法を検討する必要がある。 また、今後も人権文化祭開催事業を継続して実施し、より一層の人権意識の普及・高揚を図る。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	引き続き人権啓発活動地方委託金を活用し、現在注目されている人権課題をテーマに人権セミナーを開催するとともに、より多くの市民が気軽に参加できる総合的な人権啓発活動として人権フェスティバルを開催する。各種関係団体等とも連携し、人権の花運動や人権スポーツ事業を実施するなど、人権意識が広く市民等に浸透するように、人権課題に関する取組に努める。 また、人権文化祭開催事業についても、人権に対する気づきや理解の深化等となるよう継続して実施する。
	令和8年度	人権セミナー・人権スポーツ事業・人権フェスティバル・人権文化祭等を開催し、引き続き人権啓発に努める。引き続き人権啓発に関する施策の推進に努める。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.44

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	2	お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり

めざす姿	性別や年代を問わず、個性が輝き、活躍できる社会を実現するため、人権に関する教育と啓発活動の充実に努めます。 また、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成に取り組みます。

事業②

事業名	人権教育推進事業	**担当部署**	教育委員会 総合教育人権課
実施方針	①市主催人権問題研修会等の実施 ②人権教育推進協議会の活動支援 ③その他、人権教育啓発活動の実施	**事業費推移（千円）**	令和6年度：3,275 令和7年度：3,275 令和8年度：3,275
事業内容（R6）	①市主催人権問題研修会等の実施 ・人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ・人権教育研究大会（瀬戸中学校区）の開催 ②人権教育推進協議会の活動支援 ・人権教育推進協議会との連携による啓発活動（研修会等）の実施 ・活動、運営補助 ③その他、人権教育啓発活動の実施 ・「広報なると」を活用した人権啓発記事の掲載等 ・街頭啓発活動の実施		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
人権問題研修会等への参加者数	133	500	900	1,100	1,100	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	3,275	0	3,275

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R6）	○ 人権地域フォーラム（8/16）、ヒューマンライツメッセージなると（11/18）を開催した。 ○ 人権教育推進協議会の活動を総会（5/28）、企業部会総会（6/4）において支援するとともに、人権啓発を協力して行なった。 ○ 人権啓発活動として、「広報なると」での人権啓発記事の掲載を行った。 ○ 鳴門市人権教育研究大会（11/28）を開催し、人権教育推進のための公開授業・公開保育や研究討議を行った。 ○ 企業部会では、障がい者雇用を積極的に行っている企業へ視察に伺い、交流研修を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	人権問題研修会等への参加者数	727	674	900	1,100	1,100	人
	目標達成率(実績/目標)		74.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	2,121,053	0	2,148,625	2,148,625	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	118,000	0	122,000	122,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,003,053	0	2,026,625	2,026,625	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	人権問題研修会等への参加者数		成果指標に対する所見	すべての人権問題解決につなげていく人権教育・啓発の場として各種研修会等がその役割を果たせるよう引き続き取り組んでいるが、参加者の固定化が見られ、新たな参加者を生み出すよう周知・協力を依頼する必要がある。
	目標	900	人		
	実績	674	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	インターネット上やSNSでの人権侵害など人権問題が複雑化・多様化している状況の中、市人権教育推進協議会と連携を強め、人権地域フォーラム、ヒューマンンライツメッセージなると、人権教育研究大会などの人権問題研修会の開催や、広報なるとへの人権啓発記事の掲載、人権フェスティバルとの協働等を実施し、「部落差別解消法」の周知徹底を図るとともに、同和問題をはじめとするすべての人権問題解決につなげていく人権教育や啓発を積極的に推進する。 研修会等への参加者が固定化している現状もあり、差別を許さない市民運動を広げていくためにも、身近でわかりやすく理解しやすい内容とする、産官学の業務研修等に組み込んでいくなど、啓発手法の工夫と改善に取り組む必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	・さまざまな差別事象の抑止に向け、人権啓発活動に引き続き取り組む。 ・あらゆる人権問題に対して、一人ひとりが正しい理解と認識を深め、人権を尊重する行動をとることができるように、研修テーマや方法などの検討を行う。 ・人権啓発記事を広報なるとに掲載するとともに、市公式ウェブサイト等を活用して、市民の人権意識の向上を図る。 ・より多くの市民の人権学習機会の創出のため、人権推進課における人権フェスティバルと協働する形式でヒューマンンライツメッセージなるとを開催する。
	令和8年度	令和7年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.45**

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	2	お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり

めざす姿	性別や年代を問わず、個性が輝き、活躍できる社会を実現するため、人権に関する教育と啓発活動の充実に努めます。 また、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成に取り組みます。

事業③

事業名	男女共同参画推進事業	**担当部署**	健康福祉部 人権推進課
実施方針	①第3次鳴門市男女行動計画に基づき、各種施策の着実な推進を図る。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画についての周知啓発を行う。	**事業費推移（千円）**	令和6年度 1,010 令和7年度 3,865 令和8年度 320
事業内容（R6）	①第3次鳴門市男女行動計画に基づく各種施策の着実な推進を図り、PDCAサイクルによる進捗状況管理を行う。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画について、パンフレットや市公式ウェブサイト等を活用し周知啓発を行う。 ③女性人材バンクへの登録や活用について啓発を行い、審議会等への女性登用率の増加を図る ④第4次鳴門市男女行動計画の策定に向けた市民意識調査の実施		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
鳴門市女性人材バンクの登録者数	15	21	25	30	35	人

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	1,010	△ 21	989

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③		
事業実施内容（R6）	①第3次鳴門市男女行動計画に基づく各種施策について実施状況を確認し、現状や課題の把握に努めた。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画の説明パンフレットを活用し、各種イベント等での配布を行い男女共同参画の周知啓発を行った。 ③鳴門市女性人材バンクへの登録者数向上をめざし、様々な機会を捉えて周知を行った。 ④第4次鳴門市男女行動計画の策定に向けて、市民及び事業所への意識調査を実施した。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	鳴門市女性人材バンクの登録者数	22	22	30	35	40	人
	目標達成率(実績/目標)		88.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	119,550	0	887,473	887,473	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	119,550	0	887,473	887,473	0

◎評価（CHECK）

事業③	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市女性人材バンクの登録者数	成果指標に対する所見	女性人材バンクの周知に努めたが、登録者数を増やすまでには至らなかった。人材バンクへの登録に対してハードルが高くならないよう、周知方法を工夫することで登録者数の増加を図る。
	目標	25 人		
	実績	22 人		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業③		
課題	鳴門市男女共同参画推進条例の周知啓発や、鳴門市男女行動計画による施策を推進することで、性別的役割分担意識をなくし、地域生活や職場において性差なく活躍できる男女共同参画社会の実現をめざす。 また、令和7年度に予定している第4次鳴門市男女行動計画策定に合わせて、既存施策の見直しや新規施策の検討を行う。 審議会等や管理職の女性登用率向上を推進する取組方法を再検討し、政策・方針決定等の場での女性の活躍を図る。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	第3次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。 令和6年度に実施した市民及び事業所への意識調査の結果等を踏まえ、第4次鳴門市男女行動計画の策定を行う。 女性人材バンクへの登録や活用についての啓発を行い登録者数の向上を図るとともに、審議会等への女性登用率を向上させるための取組方法を再検討する。
	令和8年度	新たに策定した第4次鳴門市男女行動計画に基づき、各種施策を推進する。 女性人材バンクへの登録や活用について啓発を行い、登録者数の向上及び審議会等への女性登用率の増加を図る。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】　No.46

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	3	効率的・効果的な行財政運営の推進

めざす姿	予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努めます。 また、デジタル化をはじめとした行政改革に取り組むことで、効率的かつ効果的な行政運営を推進し、職員の能力と意欲の向上や、広報・広聴の充実を図るなど、組織体制の強化を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」推進事業	担当部署	企画総務部　デジタル戦略課・財政課
実施方針	①シン・スーパー改革プランの着実な推進 ②デジタル技術の活用や新庁舎建設を契機とする「市民サービス改革」の推進 ③事務事業の抜本的な見直しとデジタル技術の活用による「行政改革」の推進	事業費推移（千円）	令和6年度：－ 令和7年度：－ 令和8年度：－
事業内容（R6）	①財政健全化に向けて収支不足を補う具体的取組を推進 ・シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目を推進し、取組効果額を確保。 ②デジタル技術を活用した市民サービスの充実 ・様々なデジタル技術を積極的に活用し、「いつでも、どこでも、誰にでも」をキーワードに時間や場所に制約のない行政手続を実現するためのシステム、体制を構築。新庁舎への移転に伴い、書かない窓口の本格運用やLoGoフォームによる「行かない窓口」のさらなる推進を図る。 ③BPR（既存の組織構成から、業務内容や業務プロセスなどを抜本的に見直し、再構築を図る）の取組による業務改革の推進 ・業務の見直しに関する調査を実施するなど、全庁的な業務の見直しに取り組む。 ・新庁舎への移転に伴い、会議や協議のペーパーレス化及び既存システムの活用を一層推進するとともに、国の動向を注視し、令和7年度に向けて自治体情報システムの標準化に対応するべく業務プロセスの見直し等を進める。		

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
普通会計基金残高	9,502	10,045	7,128	9,383	8,606	百万円

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	－	－	－

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R6）	①シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目における取組効果額の令和5年度実績（令和6年度算出）は887百万円であり、目標額の402百万円を超える結果となった。 ②新庁舎への移転に伴い、記載台の設置を廃止し、「書かない窓口」システムを構築した。これにより、窓口で住民票の写し等を請求する際、従来の申請書記入を廃止し、職員がヒアリングを行い、申請書を代行入力後、サインのみで手続きが可能となった。その他、新庁舎内での市民向けFree Wi-Fiを提供、オンライン申請の拡充等、市民の皆様にとってより便利な環境を整備した。 ③BPRの取り組みによる業務改革の推進として、DX推進に関する知見を有する外部人材を招聘し、DXマインド研修及びワークショップを開催した他、全15課において、業務状況ヒアリングを実施し、業務分析及び行政手法の見直しを図った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	普通会計基金残高	10,443	9,863	11,215	9,207	7,552	百万円
	目標達成率(実績/目標)		138.4	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	11,000	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	11,000	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	普通会計基金残高		成果指標に対する所見	シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目の推進など、取組効果額の確保を図ることで、目標値以上の普通会計基金残高を達成することができた。
	目標	7,128	百万円		
	実績	9,863	百万円		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		①財政健全化に向け収支不足を補うため、シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目を推進し取組効果額の確保を図ることで、目標値以上の普通会計基金残高を確保する必要がある。 ②便利で心地よいスマートシティを目指すべく、DX化を推進し、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、経費節減等による歳出抑制につなげていく必要がある。 ③BPRの取組による効率的かつ効果的な行政運営を推進するため、各業務プロセスの見直し、業務の外部委託や事業の改廃など、多岐にわたる行政手法の見直しについて検討を進める必要がある。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和7年度	①目標値以上の普通会計基金残高達成に向け、引き続きシン・スーパー改革プランの着実な遂行により、取組効果額の確保を図る。 ②「シン・スーパー改革プラン」に基づき、様々なデジタル技術の活用にスピード感を持って取り組むことにより、市民の利便性向上や業務効率化を図っていく。また、予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努める。 ③令和7年度末の自治体情報システムの標準準拠システム移行・運用開始に向けて、引き続き、各業務プロセスの見直し等、業務の効率化及び生産性向上に向けた検討を進める。
	令和8年度	①引き続きシン・スーパー改革プランの着実な遂行を図るとともに、臨時的なボートレース事業会計からの繰入金を財政調整基金等に活用することで、普通会計基金残高の確保を図る。 ②「シン・スーパー改革プラン」に基づき、様々なデジタル技術の活用にスピード感を持って取り組むことにより、市民の利便性向上や業務効率化を図っていく。また、予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努める。 ③BPRの実施とデジタル技術の積極的な活用により、業務効率の改善と生産性向上に向けた取り組みを進める。

実施計画兼評価シート（令和6年度事業分）

【計画ベース】 **No.47**

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	3	効率的・効果的な行財政運営の推進

めざす姿	予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努めます。 また、デジタル化をはじめとした行政改革に取り組むことで、効率的かつ効果的な行政運営を推進し、職員の能力と意欲の向上や、広報・広聴の充実を図るなど、組織体制の強化を図ります。

事業②

事業名	人材育成推進事業	**担当部署**	企画総務部 人事課		
実施方針	①研修計画に基づく市主催職員研修の実施 ②県自治研修センター等への派遣研修の実施	**事業費推移（千円）**	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			13,120	13,120	13,120
事業内容（R6）	①市主催職員研修 ・各職階に応じて求められるスキルを養う階層別研修 ・専門的知識を習得する職務別研修 ・公務員として習得すべき課題別研修 ②派遣研修の実施 ・県自治研修センター主催研修の活用 ・市町村・国際文化アカデミー・自治大学校等への派遣				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	受講者アンケートで研修内容が「役立つ」または「やや役立つ」と回答した割合	92	92	95	95	95	%

◎事業費

令和6年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	13,120	△ 304	12,816

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業②		
事業実施内容（R6）	第４次鳴門市『人財』育成基本方針に基づいた研修計画を策定し、接遇研修をはじめ、公務員倫理研修、政策形成研修等、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、県自治研修センターが実施する研修に多くの職員が参加した。 また、集合型研修と、オンライン研修を併用することで、より効率的かつ効果的な研修体制の構築及び職場研修の充実を図るとともに、市町村アカデミー及び自治大学校等の外部研修機関が実施する研修へ職員を派遣し、専門的な知識の習得及び能力の向上を図った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標	令和8年度目標	令和9年度目標	単位
	受講者アンケートで研修内容が「役立つ」または「やや役立つ」と回答した割合	93	94	95	95	95	%
	目標達成率(実績/目標)		98.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和5年度決算（※令和4年度からの繰越額を含む）	令和6年度決算 前年度からの繰越決算額	令和6年度決算 当年度決算額	令和6年度決算 決算額計	令和7年度への繰越額
	計	9,598,383	0	8,223,860	8,223,860	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	799,880	0	292,407	292,407	0
	一般財源	8,798,503	0	7,931,453	7,931,453	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	受講者アンケートで研修内容が「役立つ」または「やや役立つ」と回答した割合	成果指標に対する所見	概ね目標を達成することができたものの、より具体的に職員の研修ニーズを把握し、引き続き必要と思われる研修を効果的かつ効率的に実施していく必要がある。
	目標	95 %		
	実績	94 %		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	より市民満足度の高い行政サービスを提供するためには、専門的な知識の習得及び能力の向上を図ることが不可欠である。 また、外部研修機関への派遣については、知識の習得だけでなく、他の自治体職員との交流を通して得られるものも多いことから、研修への参加の意義やメリット等を積極的に周知するとともに、研修内容の充実や研修機会の提供に努めるなど、より一層効果的かつ効率的な内容の研修を計画し、実施していく必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和7年度	第４次鳴門市『人財』育成基本方針に基づき研修計画を策定し、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、市町村アカデミー等の外部研修機関への職員派遣研修を行う。 また、研修内容の充実を図るとともに、職員が率先して研修を受講するよう各研修の意義及びメリット等の周知を行い、職員が研修で学んだことを業務に役立てることができるよう効果的かつ効率的な研修となるよう今後も検討していく。
	令和8年度	引き続き取り組みを継続する。